

フロンティアサイエンス学部 履修要項

目 次

ポートアイランドキャンパス学年暦	2
I. 甲南大学学則	3
II. ～フロンティアサイエンス学部～基本編	15
・ 学生生活を送る上で知っておいてほしいことー各種手続・窓口案内	17
・ 学生生活を送る上で知っておいてほしいことー施設・設備について	19
・ 学生生活を送る上で知っておいてほしいことーその他編	22
・ 学生生活を送る上で知っておいてほしいことー情報編	23
・ 学籍について	27
・ 学費について	28
III. ～フロンティアサイエンス学部～学修編	31
・ フロンティアサイエンス学部生命化学科専門教育科目表	33
・ はじめに	40
・ カリキュラムについて	40
・ 授業について	42
・ 履修登録について	46
・ 試験について	52
・ 成績について	54
・ 試験・成績・判定のよくある質問 (FAQ)	58
IV. 重要なメッセージ～ポートアイランドキャンパスでの学びについて～	61
V. 時間割	73
VI. ポートアイランドキャンパスF-1号館フロアマップ・岡本キャンパスフロアマップ	81
VII. 関連諸規程	87
VIII. 諸願、届、証明書の事務取扱一覧	111

〔ポートアイランドキャンパス〕平成27年度（2015年度）学年暦

前 期								後 期									
	日	月	火	水	木	金	土		日	月	火	水	木	金	土		
	2015年																
4月				1	2	3	4	1日（水）入学宣誓式	9				17	18	19	19日（土）後期授業開始	
	5	6	7	8	9	10	11	6日（月）授業開始	20	21	22	23	24	25	26	前期末学位記授与式	
	12	13	14	15	16	17	18	18日（土）水曜日の授業実施	27	28	29	30				【21日 敬老の日は授業は実施しない】	
	19	20	21	22	23	24	25	【21日 学園創立記念日は授業実施】	10				1	2	3	【22日 国民の休日は授業は実施しない】	
	26	27	28	29	30			【29日 昭和の日は授業は実施しない】	4	5	6	7	8	9	10	【23日 秋分の日は授業は実施しない】	
5月						1	2	2日（土）水曜日の授業実施	11	12	13	14	15	16	17	10日（土）月曜日の授業実施	
	3	4	5	6	7	8	9		18	19	20	21	22	23	24	【12日 体育の日は授業は実施しない】	
	10	11	12	13	14	15	16		25	26	27	28	29	30	31	31日（土）火曜日の授業実施	
	17	18	19	20	21	22	23		11	1	2	3	4	5	6	7	【3日 文化の日は授業は実施しない】
	24	25	26	27	28	29	30		8	9	10	11	12	13	14	【17日・18日はC期試験】	
31							【30日・1日はA期試験】	15	16	17	18	19	20	21	21日（土） } 大学祭（予定）		
6月	1	2	3	4	5	6		22	23	24	25	26	27	28	23日（月） } ※授業は実施しない		
	7	8	9	10	11	12	13	13日（土）月曜日の授業実施	29	30						28日（土）月曜日の授業実施	
	14	15	16	17	18	19	20		12		1	2	3	4	5	12日（土）水曜日の授業実施	
	21	22	23	24	25	26	27		6	7	8	9	10	11	12	【23日 天皇誕生日は授業実施しない】	
28	29	30						13	14	15	16	17	18	19	22日（火）年内授業一旦終了		
7月				1	2	3	4	4日（土）月曜日の授業実施	20	21	22	23	24	25	26	24日（木）補講予備日	
	5	6	7	8	9	10	11	【20日 海の日は授業は実施しない】	27	28	29	30	31			冬期休業（12月25日～1月3日）	
	12	13	14	15	16	17	18	22日（水）補講予備日	1					1	2	2016年	
	19	20	21	22	23	24	25	23日（木） } 前期試験	3	4	5	6	7	8	9	4日（月）授業再開	
26	27	28	29	30	31		23日（木） } 試験予備日	10	11	12	13	14	15	16	【11日 成人の日は授業を実施しない】		
8月						1	1,3日（土,月） } 試験予備日	17	18	19	20	21	22	23	【16、17日はセンター入試】		
	2	3	4	5	6	7	8	夏期休業（8月4日～9月18日）	24	25	26	27	28	29	30	20日（水）2015年度授業終了	
	9	10	11	12	13	14	15		31							21日（木） } 後期試験	
	16	17	18	19	20	21	22		2	1	2	3	4	5	6	29日（金） } 試験予備日	
	23	24	25	26	27	28	29		7	8	9	10	11	12	13		
30	31						14		15	16	17	18	19	20			
9月			1	2	3	4	5		21	22	23	24	25	26	27		
	6	7	8	9	10	11	12		28	29							
	13	14	15	16				3		1	2	3	4	5			
								6	7	8	9	10	11	12			
								13	14	15	16	17	18	19			
								20	21	22	23	24	25	26	25日（金）学位記授与式		
								27	28	29	30	31					

※注意

- 2015年4月18日（土）は、水曜日の授業を実施いたします。
- 2015年5月2日（土）は、水曜日の授業を実施いたします。
- 2015年6月13日（土）は、月曜日の授業を実施いたします。
- 2015年7月4日（土）は、月曜日の授業を実施いたします。
- 2015年10月10日（土）は、月曜日の授業を実施いたします。
- 2015年10月31日（土）は、火曜日の授業を実施いたします。
- 2015年11月28日（土）は、月曜日の授業を実施いたします。
- 2015年12月12日（土）は、水曜日の授業を実施いたします。

※祝日は授業を実施いたしません。ただし、2015年4月21日（火）の学園創立記念日は授業を実施いたします。

I . 甲南大学学則

甲南大学学則（抄）

第1章 総 則

第1条 本大学は、教育基本法（平成18年法律第120号）及び学校教育法（昭和22年法律第26号）に則り、学術の府として広くかつ深く学芸を教授研究するとともに、学生一人ひとりの天賦の特性を啓発し、人物教育率先の甲南学園建学の理念を実現することを目的とする。

第2章 組 織

第2条 本大学は、学部及び大学院よりなる。

第3条 本大学に次の学部・学科を置く。

学 部	学 科
文 学 部	日 本 語 日 本 文 学 科
	英 語 英 米 文 学 科
	社 会 学 科
	人 間 科 学 科
	歴 史 文 化 学 科
理 工 学 部	物 理 学 科
	生 物 学 科
	機 能 分 子 化 学 科
経 済 学 部	経 済 学 科
法 学 部	法 学 科
経 営 学 部	経 営 学 科
知 能 情 報 学 部	知 能 情 報 学 科
マ ネ ジ メ ン ト 創 造 学 部	マ ネ ジ メ ン ト 創 造 学 科
フ ロ ン テ ィ ア サ イ エ ン ス 学 部	生 命 化 学 科

第3条の2 各学部・学科における人材養成上の目的と学生に修得させるべき能力等の教育目標は、次のとおりとする。

学 部	学 科	人材養成上の目的と学生に修得させるべき能力等の教育目標
文 学 部		幅広く深い教養を基盤に、人文科学の専門分野における調査、研究技量を磨く経験を通して、問題を見出し、考え、成果を言葉で表現する力を形成する。それによって、仕事を含む人生の様々な活動に発生する問題を主体的に解決できる人材を社会に送り出す。
	日 本 語 日本文学科	古典・近現代文学・日本語学・日本語教育学等のバランスの取れた教育・研究を通して、社会での活動の基盤である日本語の理解力・表現力を鍛えることを目標とする。
	英 語 英 米 文 学 科	実践的語学教育と並行して英語学及び英米の文化・文学の教育を行い、英語圏文化の深い理解に裏打ちされた英語運用能力を持つ人材を養成し、国際化する社会の要請に応える。
	社 会 学 科	情報化、国際化の進展によって急速に変化し、多様性や不確実性が高まっている社会の中で必要とされる「自ら調査・分析・表現・発信する実証的・実践的な態度と能力」を涵養する。
	人間科学科	イメージ、言語、身体のコネクトを柱として、人間表現領域（環境・芸術・思想など）及び心理臨床領域の理論と実践を学び、社会の諸問題を多角的に捉え、柔軟に問題解決できる人材育成を目指す。
	歴 史 文 化 学 科	人類がこれまで蓄積してきた有形・無形の文化遺産及び歴史の中における生活の場としての環境と人類との交流について歴史学、地理学・民俗学の分野から探求し、これら各分野を横断する総合的立場から教育を行う。
理 工 学 部		自然科学の強固な学問的土台を身につけて、純粋理学と応用科学を融合させることのできる能力を養い、時代の変化や科学・技術の新たな展開に対応して創造性を発揮できる人材の育成を目指す。
	物 理 学 科	時代の変化や科学・技術の新たな展開に対応して、問題の解決に果敢に挑み、創造性を発揮し、国際社会に貢献できる人材の養成を目的とし、物理学の基本的な知識及び論理的思考法・手法を講義と実験・実習科目による相補的な積み上げ方式によって修得させ、卒業研究を通して総合的な問題解決能力を養う。
	生 物 学 科	今日の社会が直面する生命や環境等に関わる諸問題を正しく理解し、それらの解決に貢献できる国際的視野を持った人材の養成を目的とし、そのために必要な現代生物学の専門知識と技術及びそれらを十分に活用するための思考力を修得させる。
	機 能 分 子 化 学 科	科学技術に携わる者に求められる責任感と倫理観を有し、化学の専門知識並びに自然科学に対する柔軟な思考力を身につけた人材の養成を目的とし、化学の基礎的な知識・豊富な経験に基づく課題設定能力・解決能力を得て、現代社会の要請に応えることのできる能力を獲得させる。
経 済 学 部	経 済 学 科	経済学の学習を通じて、変化の激しい経済社会で充実した活動ができる知性と創造力を備えた人材を養成する。これらの人材養成上、学生が修得すべき能力として、経済・社会問題を的確に捉える能力、筋道を立てて問題を考える能力、自らの力で解決策を示す能力を求める。
法 学 部	法 学 科	法曹・行政・経済をはじめ社会の様々な分野で指導的な役割を担うことができる人材を養成するため、学生の個性尊重を旨として、法及び政治に関する専門知識の修得と思考力の涵養を通じて、個々の学生の論理的な思考力と柔軟な応用力を培うことを教育目標とする。
経 営 学 部	経 営 学 科	ヒト・モノ・カネ・情報等からなる組織（企業）の存続・発展のあり方について、自律的な洞察力を有し、社会に資するビジネスパーソンの養成を目的とする。このために学生が修得すべき能力として、次の各能力を求める。 (1) 幅広い教養に裏付けられた経営学の知識・理解力 (2) 各種スキルと論理的思考力に支えられた経営問題の発見・説明・解決力 (3) ビジネスパーソンに必要な社会的協調力と自発的遂行力及び倫理的責任力 (4) トータルな人間性と豊かな個性に基づいた社会的貢献力

知能情報学 部	知能情報学 科	人間力をベースに、感性・知性で高度国際情報社会におけるリーダーシップがとれる人材の育成を目指す。そのため、数学的基礎学力、知能情報学における専門知識、効果的な発表能力並びにコミュニケーション能力の修得を目標とする。
マネジメント創造学部	マネジメント創造学 科	自ら学ぶ力を涵養し、営利、非営利、パブリックなどいずれの分野にあっても、社会的責任を創造的に果たしていくマネジメント能力を開発し、世界に貢献しうる人物育成を目指す。
フロンティアサイエンス学 部	生命化学科	教育・研究対象の中心に「生命化学」を据え、バイオテクノロジー、ナノテクノロジー及びそれらの融合領域であるナノバイオに関する知識と技能を修得させることにより、社会の発展、福祉の増進のためとくに生命化学分野におけるフロンティア開発に資する人材を養成する。

第4条 省略

第5条 大学院に関する規程は、別に定める。

第3章 授業科目及び履修方法

第6条 本学の授業科目を基礎共通科目、国際言語文化科目、外国語科目、保健体育科目、一般情報科目、単位互換科目、西宮市大学共通単位講座、日本語科目、国際交流科目及び専門教育科目に分ける。

- 2 基礎共通科目、国際言語文化科目、外国語科目、保健体育科目及び一般情報科目の授業科目及び単位数は、文学部、理工学部、経済学部、法学部、経営学部及び知能情報学部における各学部共通とし、別表第1のとおりとする。ただし、基礎共通科目と国際言語文化科目は、そのいずれかを履修するものとする。
- 3 単位互換科目及び西宮市大学共通単位講座の授業科目及び単位数は、別表第1のとおりとする。
- 4 日本語科目及び国際交流科目の授業科目及び単位数は、別表第1のとおりとする。
- 5 文学部、理工学部、経済学部、法学部、経営学部及び知能情報学部における専門教育科目の授業科目、単位数、必修・選択必修等の区別は、別表第2の(1)のとおりとする。
- 6 マネジメント創造学部の授業科目及び単位数は、別表第2の(3)のとおりとする。
- 7 フロンティアサイエンス学部の授業科目及び単位数は、別表第2の(4)のとおりとする。
- 8 卒業に必要な単位数は、別表第2の(1)、別表第2の(3)及び別表第2の(4)のとおりとする。

第7条 本大学の修業年限は、4年とする。

第8条 中学校及び高等学校の教育職員免許状を得るために必要な教職に関する科目、教科又は教職に関する科目の授業科目及び単位数は、別表第3のとおりとする。

第9条 教育職員免許状を得るための資格を得ようとする者は、別に定める教育職員養成課程に関する規程に従い、必要な単位を修得しなければならない。

- 2 本大学において、取得できる免許状の種類及び免許教科は、次のとおりとする。

学 部	学 科	免 許 教 科	免 許 状 の 種 類
文 学 部	日本語日本文学科	国 語	中 学 校 教 諭 一 種 免 許 状
			高 等 学 校 教 諭 一 種 免 許 状
	英語英米文学科	英 語	中 学 校 教 諭 一 種 免 許 状
			高 等 学 校 教 諭 一 種 免 許 状
	社 会 学 科	社 会 公 民	中 学 校 教 諭 一 種 免 許 状
			高 等 学 校 教 諭 一 種 免 許 状
人 間 科 学 科	社 会 地 理 歴 史 公 民	中 学 校 教 諭 一 種 免 許 状	
		高 等 学 校 教 諭 一 種 免 許 状	
歴 史 文 化 学 科	社 会 地 理 歴 史	中 学 校 教 諭 一 種 免 許 状	
		高 等 学 校 教 諭 一 種 免 許 状	
理 工 学 部	物 理 学 科 生 物 学 科 機 能 分 子 化 学 科	理 科	中 学 校 教 諭 一 種 免 許 状 高 等 学 校 教 諭 一 種 免 許 状
経 済 学 部	経 済 学 科	社 会 地 理 歴 史 公 民	中 学 校 教 諭 一 種 免 許 状
			高 等 学 校 教 諭 一 種 免 許 状
法 学 部	法 学 科	社 会 地 理 歴 史 公 民	中 学 校 教 諭 一 種 免 許 状
			高 等 学 校 教 諭 一 種 免 許 状
経 営 学 部	経 営 学 科	社 会 公 民 商 業	中 学 校 教 諭 一 種 免 許 状
			高 等 学 校 教 諭 一 種 免 許 状
知 能 情 報 学 部	知 能 情 報 学 科	数 学 情 報	中 学 校 教 諭 一 種 免 許 状
			高 等 学 校 教 諭 一 種 免 許 状
			高 等 学 校 教 諭 一 種 免 許 状

第 10 条 図書館司書又は学校図書館司書教諭の資格を得ようとする者は、別表第4の(1)に定めるところに従い、必要な専門教育科目の単位を修得しなければならない。

第 10 条の2 博物館学芸員の資格を得ようとする者は、別表第4の(2)に定めるところに従い、必要な専門教育科目の単位を修得しなければならない。

第 11 条 各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもつて構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算する。

- (1) 講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲の授業をもつて1単位とする。
- (2) 実験、実習及び実技については、30時間から45時間までの範囲の授業をもつて1単位とする。
- (3) 一つの授業科目のなかで、講義、演習、実験、実習又は実技のうち2以上の方法の併用により行う場合の授業科目については、その組み合わせに応じ、前2号に規定する基準を考慮して定める時間の授業をもつて1単位とする。

2 前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究及び卒業実験等の授業科目については、これらの学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には、これらに必要な学修等を考慮して単位数を定めることができる。

第 11 条の2 授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。

- 2 本大学は、前項の授業を、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。
 - 3 本大学は、第1項の授業を、外国において履修させることができる。前項の規定により、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させる場合についても、同様とする。
 - 4 本大学は、第1項の授業の一部を、校舎及び附属施設以外の場所で行うことができる。
- 第11条の3 学生に対して、授業の方法及び内容並びに1年間の授業の計画をあらかじめ明示するものとする。
- 2 学修の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっては、客観性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準にしたがって適切に行うものとする。

第4章 試験及び学士の学位

- 第12条 学生は、学期の初めに履修を希望する授業科目を届け出て承認を得なければならない。
- 第12条の2 教育上有益と認めるときは、他の大学（外国の大学を含む。）との協議に基づき、学生に当該大学の授業科目を履修させることがある。
- 2 前項により修得した単位は、60単位を限度として、本大学において修得した単位とみなすことができる。
 - 3 第1項の規定に基づく外国留学（以下「留学」という。）に関しては、この学則に定めるもののほか別に定める。
- 第13条 単位の認定は、試験その他適当な方法による。ただし、実験、実習、演習、体育の実技等は、平常の成績によることができる。
- 2 授業科目の成績の評価は、秀（AA）・優（A）・良（B）・可（C）・不可（D）の5種とし、その評点は、100点を満点として次のとおり定める。
- | | | | | |
|----|------|------------|---|-----|
| 秀 | （AA） | 90点以上 | } | 合格 |
| 優 | （A） | 80点以上90点未満 | | |
| 良 | （B） | 70点以上80点未満 | | |
| 可 | （C） | 60点以上70点未満 | | |
| 不可 | （D） | 60点未満 | | 不合格 |

第14条 試験は、原則として学期末又は学年末に行う。

第15条 削除

第16条 4年以上在学して第6条に掲げられた所定の授業科目及び履修方法により卒業に必要な単位数を修得した者には、学部教授会及び合同教授会の審議を経て、学長が卒業を認定し、卒業証書・学位記を授与する。

- 2 本大学に3年以上在学した学生が、別に定める規程に従い卒業に必要な単位を優秀な成績で修得したと認められる場合には、第7条に規定する修業年限の特例扱いとして学部教授会及び合同教授会の審議を経て、学長が卒業を認定し、卒業証書・学位記を授与することができる。

第 17 条 本大学を卒業した者には、学部及び学科に応じて、次のとおり学士の学位を授与する。

文	学	部	日本語日本文学科	学士（文学）																
			英語英米文学科	学士（文学）																
			社会学科	学士（社会学）																
			人間科学科	学士（文学）																
			歴史文化学科	学士（文学）																
理	工	学	部	物理学科	学士（理学）又は学士（理工学）															
				生物学科	学士（理学）															
				機能分子化学科	学士（理工学）															
経	済	学	部	経済学科	学士（経済学）															
法	学	部	法	学	科	学士（法学）														
経	営	学	部	経	営	学	科	学士（経営学）												
知	能	情	報	学	部	知	能	情	報	学	科	学士（工学）、学士（理学） 又は学士（情報学）								
マ	ネ	ジ	メ	ン	ト	創	造	学	部	マ	ネ	ジ	メ	ン	ト	創	造	学	科	学士（マネジメント）
フ	ロ	ン	テ	ィ	ア	サイ	エ	ン	ス	学	部	生	命	化	学	科	学士（理工学）			

第 5 章 学年、学期及び休業日

第 18 条 学年は、4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

第 19 条 学年は、前期・後期の2学期に分ける。

前期 4月1日～9月16日

後期 9月17日～3月31日

第 20 条 休業日を次のとおり定める。

(1) 日曜日

(2) 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日

(3) 本学園創立記念日（4月21日）

(4) 夏期休業日、冬期休業日は学年暦によるものとする。

2 学長は、学年暦編成上必要ある場合は、前項の休業日を授業日に変更することができる。

3 学長は、必要に応じ臨時に授業を休止又は変更することができる。

第6章 入学、転学部、留学、休学、除籍及び退学

第21条 入学の時期は、学年初めとする。

第22条 本大学の第1年次に入学する資格のある者は、次の各号のいずれかに該当するものとする。

- (1) 高等学校又は中等教育学校の卒業生
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。）
- (3) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）により大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- (7) その他相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると学長が認めた者

第23条 入学は、選考によつて学長が決定する。

第24条 選考によつて入学を決定された者は、所定の期日までに入学に必要な手続をしなければならない。

第25条 本大学への編入学を願い出る者があるときは、選考の上、学長は、これを許可することができる。

2 編入学についての細則は、別に定める。

第26条 本大学を卒業し、さらに本大学の他の学部へ学士入学を願い出る者があるときは、選考の上、学長は、これを許可することができる。

第27条 他の学部へ転学部を願い出る者があるときは、選考の上、学長は、これを許可することができる。

第27条の2 第12条の2の規定に基づく留学を希望する者は、願い出て学長の許可を受けなければならない。

2 前項により留学をした期間は、第16条及び第29条に規定する在学期間に算入する。

第28条 疾病その他やむを得ない理由により休学を願い出る者があるときは、学長は、これを許可することができる。

2 疾病のため修学に適さないと認められる者については、学長が休学を命ずることがある。

3 海外渡航の期間が6箇月以上にわたるときは、休学しなければならない。

4 休学の期間は、継続して2年を、通算して4年を超えることができない。

5 休学期間中に復学を願い出る者があるときは、学長は、これを許可することができる。

6 休学の期間は、第16条及び次条に規定する在学期間に算入しない。

第29条 本大学に在学する期間は、8年を超えることができない。

2 在学期間が8年を超える場合は、除籍する。

第 30 条 学費を納付しない者は、除籍する。ただし、1年以内に復籍を願い出たとき、又は1年経過後再入学を願い出たときは、審議の上、学長は、これを許可することができる。

第 31 条 疾病その他やむを得ない理由によつて退学しようとするときは、学長の許可を受けなければならない。

第 32 条 前条により退学した者が再入学を願い出たときは、選考の上、学長は、これを許可することができる。

第 33 条 他の大学へ入学又は転学を願い出ようとする者は、学長の許可を受けなければならない。

第 7 章 科目等履修生、研究生、聴講生、特別聴講生及び高大連携 聴講生

第 34 条 特定の授業科目について履修を願い出る者があるときは、選考の上、学長は、科目等履修生として許可することができる。

2 科目等履修生規程については、別に定める。

第 34 条の 2 本大学専任教員の指導を受け、特定の事項について研究をしようとする者があるときは、選考の上、学長は、研究生として許可することができる。

2 研究生規程については、別に定める。

第 34 条の 3 特定の授業科目について聴講を願い出る者があるときは、選考の上、学長は、聴講生として許可することができる。

2 聴講生規程については、別に定める。

第 34 条の 4 他の大学との協議に基づき、本大学の授業科目を履修させる場合には、選考の上、学長は、特別聴講生として許可することができる。

第 34 条の 5 甲南高等学校との協議及び教育委員会又は高等学校との協定に基づき、当該高校生が本大学が指定する授業科目の聴講を願い出る場合は、選考の上、学長は、高大連携聴講生として許可することができる。

2 高大連携聴講生については、別に定める。

第 7 章の 2 外国人留学生

第 34 条の 6 出入国管理及び難民認定法（昭和26年政令第319号）に定める留学という在留資格の取得を必要とする者が、本大学に入学しようとする場合は、選考の上、学長は、外国人留学生として、入学を許可することができる。

2 外国人留学生の受入れについては、別に定める。

第8章 賞 罰

第 35 条 学業、人物、文化芸術、運動等の分野において優秀な者は表彰する。

第 36 条 学生に本大学の規則に違反し、又は学生の本分にもとる行為があると認めるときは、合同教授会の審議を経て、学長が懲戒を決定する。

2 学生の懲戒に関する規程は、別に定める。

第 37 条 懲戒処分は、訓告、停学及び退学とする。退学は、次の各号のいずれかに該当する者について行う。

- (1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者
- (2) 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者
- (3) 正当な理由がなくて出席が常でない者
- (4) 本大学の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

第9章 入学受験料、科目等履修生検定料、研究生申請料、聴講生検定料、入学金、授業料、施設設備費、設備充実費、教育充実費、研究資料費、実験費、実習費、復籍料、在籍料、科目等履修料、研究生登録料及び聴講料

第 38 条 本大学に入学を願い出る者は、別表第5に定める入学受験料を納付しなければならない。

2 本大学に科目等履修生を願い出る者は、別表第5に定める科目等履修生検定料を納付しなければならない。

3 研究生を願い出る者は、別表第5に定める研究生申請料を納付しなければならない。

4 聴講生を願い出る者は、別表第5に定める聴講生検定料を納付しなければならない。

第 39 条 本大学に入学を許可された者は、別表第6に定める入学金を納付しなければならない。

第 40 条 学生は、別表第7の(1)に定める授業料及び施設設備費を納付しなければならない。実験又は実習を要する授業科目を履修する者は、別表第7の(2)に定める実験費又は別表第7の(3)に定める実習費を納付しなければならない。

2 理工学部及び知能情報学部学生は、別表第7の(1)に定める設備充実費を納付しなければならない。

3 マネジメント創造学部学生は、別表第7の(1)に定める教育充実費を納付しなければならない。

4 フロンティアサイエンス学部学生は、別表第7の(1)に定める設備充実費及び教育充実費を納付しなければならない。

5 文学部人間科学科1年次学生は、別表第7の(1)に定める研究資料費を納付しなければならない。

6 休学中の者は、別表第7の(4)に定める在籍料を納付しなければならない。

7 第30条により復籍を許可された者は、復籍料を納付しなければならない。

第 41 条 科目等履修生は、別表第7の(5)に定める科目等履修料を納付しなければならない。

第 41 条の2 研究生は、別表第7の(5)に定める研究生登録料を納付しなければならない。

第 41 条の3 聴講生は、別表第7の(5)に定める聴講料を納付しなければならない。

第 42 条 入学金、授業料、施設設備費、設備充実費、教育充実費、研究資料費、実験費、実習費、復籍料、在籍料、科目等履修料、研究生登録料、聴講料等の学費及び入学受験料、科目等履修生検定料、研究生申請料、聴講生検定料の徴収については、別に定める。

第 43 条 既納の学費、入学受験料、科目等履修生検定料、研究生申請料及び聴講生検定料は、返還しない。

2 入学許可を得た者で、指定の期日までに入学手続きの取消しを願い出たものについては、前項にかかわらず、入学金又はこれに相当する金額を除く学費を返還することがある。

(第10章～第19章、別表第1～第7及び附則は省略)

別表第2の(4)については、34ページ以下の項を参照のこと。

Ⅱ. ～フロンティアサイエンス学部～
基 本 編

学生生活を送る上で知っておいてほしいことー各種手続・窓口案内

□ ポートアイランドキャンパス事務室について

皆さんの学生生活をサポートするための様々なサービスを提供しています。書類の提出や各種手続きなど、分からないことがあれば、気軽に相談に来てください。開室時間は以下のとおりです。

平日 8時45分から18時まで（土曜日は8時45分から13時まで）

※日曜日・祝日・年末年始・夏期一斉休務（お盆期間）は閉室。

※夏期休暇期間中の開室時間は平日10時から16時まで。土曜日は閉室。

※春期休暇期間中の開室時間は平日8時45分から17時まで。土曜日は8時45分から13時まで。

□ 証明書の発行について

ポートアイランドキャンパスの学生は岡本キャンパスに行くことなく、各種証明書（在学証明書・成績証明書・学修簿・学割証等）の発行をポートアイランドキャンパス事務室で申請することが可能です。必要な場合は申し出てください。

※なお、岡本キャンパスでも1号館1階エレベータ前に設置している証明書自動発行機で発行可能です。岡本キャンパスでの発行方法は以下のとおりです。

1号館1階エレベータ前にある証明書自動発行機では、各種証明書の発行や各種手数料の支払い(申込書)をすることができます。

《証明書自動発行機で発行できる証明書》

- ・学生割引証明書
- ・健康診断書
- ・学修簿
- ・在学証明書（和文）
- ・成績証明書（和文）
- ・卒業（修了）見込証明書（和文）等

※上記以外の証明書は、教務部（3号館1階）にて対応しますので、お問い合わせください。

☆発行には、学生証とパスワードが必要です。



□ 掲示・「My KONAN」を毎日確認する習慣をつけよう

ポートアイランドキャンパス1階の事務室にある掲示板では、休講・補講等の授業に関するお知らせや奨学金情報など、学生生活に関する情報を掲示しています。また、本学のホームページには学内者専用ポータルサイト「My KONAN」が設置されており、授業に関するお知らせ等、必要な情報を随時掲載しています。学生生活に欠かせない情報を掲載していますので、掲示板・「My KONAN」ともに毎日確認するよう習慣付けてください。

なお、掲示板や「My KONAN」を見なかったことによる不利益についての対応及び電話による問い合わせには、一切応じません。

□ 「My KONAN」のログイン方法

甲南大学のホームページ <http://www.konan-u.ac.jp/> の右にある  をクリック

するか、または以下の URL を直接入力してください。

<https://spoon.adm.konan-u.ac.jp> 深夜 3:00~5:30はメンテナンスのため利用できません。

□ 「My KONAN」の使い方

下はログインした後のポータル画面です。「My KONAN」は、みなさんが大学生活をおくる上で必要な情報にアクセスする窓口として、掲示情報、履修登録、シラバス、時間割照会、課題提出などから構成されるポータルサイトです。

授業に関することはもちろん、大学からの伝達事項や講演会のお知らせなど甲南大学の諸活動を知ることができます。



ポータル クラスプロフィール マイステップ

2014年 8月 本日 スケジュール

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

授業情報

8月7日(木)

- ※必ず掲示等でスケジュールを確認すること
- 夏期休業 [岡本学部]

8月8日(金)

- ※必ず掲示等でスケジュールを確認すること
- 夏期休業 [岡本学部]

お気に入りタイトル

- マイステップ 学生利用マニュアル
- 学生関係規程等
- 課外活動届出様式
- 学年暦・行事予定
- 甲南大学ホームページ
- My KONAN 操作マニュアル**
- 情報教育訓練センター

未読メール

新着件数: 0件 最終更新日時: 2014/08/07 10:37:32

現在、新着メールはありません。

システム情報

My KONANのシステム情報です。

My KONAN一時停止のお知らせ(8/14(木)) [2014/07/17]

全2件 全て表示する

試験・成績に関するお知らせ

My KONANによる成績公開について [2014/07/09]

今後の行事予定 [2014/07/09]

【岡本キャンパス学部】【2014年度前期】「私鉄のストライキ、台風等の場合の試験の取り扱い」について [2014/07/09]

全5件 全て表示する

休講情報

現在、休講情報はありません。

全0件

講義に関するお知らせ

【0725更新】集中講義日程について [2014/04/10]

2014年度履修関係事項のETDについて(学部・大学院) [2014/03/27]

各機能の詳しい操作方法は、こちらを確認してください

「My KONAN」利用上の禁止事項

- ① 推奨環境以外の環境を使用すると、予期せぬエラーが発生することがあります。推奨環境以外の環境で履修登録や課題提出などを行った結果、登録ができていなかったなどのクレームには一切応じませんので注意してください。

※推奨環境は、ログイン画面の下に表示されています。

- ② ブラウザのツールバーの「戻る」ボタンは使用しないこと

「ページの有効期限切れ」と表示され、予期せぬ障害が発生する可能性があります。

- ③ スマートフォンでの登録は行わないこと

※予期せぬエラーが発生する場合があります。

学生生活を送る上で知っておいてほしいことー施設・設備について

□ 甲南大学ポートアイランドキャンパスについて

フロンティアサイエンス学部（FIRST）での教育・研究は、主に、甲南大学ポートアイランドキャンパスにあるF-1号館で実施されます。

F-1号館は、本学部の他に、甲南大学先端生命工学研究所（FIBER）も使用するため、その通称には学部名などを入れず、『甲南 FAME ポートアイランド』という名称になっています。しかし、本書では便宜上、F-1号館内のフロンティアサイエンス学部の学生が主に使用する部屋や施設、さらに共用スペースを総じて、フロンティアサイエンス学部棟（FIRST 棟）と称することとします。なお、同様に先端生命工学研究所が主に使用するスペースと共用スペースを先端生命工学研究所棟（FIBER 棟）と称します。なお、FIRST は、「Frontiers of Innovative Research in Science and Technology」、FIBER は、「Frontier Institute for Biomolecular Engineering Research」、FAME は、「Future Atlas from Molecules to the Earth」（分子から地球への未来地図）をそれぞれ略記したものです。

□ フロンティアサイエンス学部棟（FIRST 棟）

授業では主に FIRST 棟（F-1号館）の2階にある講義室と高大連携実験室を使用します。棟内には、下記のように教室等を配置しています。詳細については、81ページの「ポートアイランドキャンパス F-1号館フロアマップ」を参照してください。

階	講義室等
7階	カフェテリア、売店、レクチャーホール、レクチャールーム
6階	研究室、講義室、実験室、大学院生室、ミーティングルーム、マイラボ
5階	研究室、実験室、大学院生室、ミーティングルーム、マイラボ
4階	研究室、実験室、大学院生室、ミーティングルーム、マイラボ
3階	研究室、実験室、大学院生室、ミーティングルーム、マイラボ
2階	講義室、高大連携実験室、自動販売機コーナー、カフェテラス
1階	事務室、図書室、共通測定室

※ F-1号館 3階から6階の北のウィングは先端生命工学研究所のスペース（FIBER 棟）です。皆さんは許可無く立ち入らないようにしてください。

また、ポートアイランドキャンパスでは分煙ブース（ポートアイランドキャンパス西側サービスエントランス前）以外は、禁煙となっています。喫煙する者は、必ず分煙ブースで喫煙することとし、他の場所での喫煙や歩きタバコは絶対に行わないでください。

□ F-1号館の入館方法とセキュリティについて

F-1号館では高度なセキュリティを維持するため、一部のゾーンに立ち入るためには、そのゾーンへの立入り許可を受けた学生証が必要になります。講義室やカフェテリア等には自由に入出入りできますが、皆さんが頻繁に使用するマイラボや図書室に入室するためには、学生証が必要となります。登校時には学生証を必ず携帯してください。学生証を忘れた場合はポートアイランドキャンパス管理室で仮カードを貸出しています。貸出を希望する場合はポートアイランドキャンパス事務室まで申し出てください。

※学生証の貸与や、立入り許可のない人の入室を手助けする等の行為は処罰の対象になることがあります。万一、学生証を紛失・破損した場合には、速やかにポートアイランドキャンパス事務室に届け出てください。学生証の再発行には手数料として2,000円が必要になりますので、大切に扱ってください。

□ 入館及び退館について

正面玄関の自動扉は月曜日から土曜日の午前8時から午後6時まで開放しています。

F-1号館及びマイラボへは平日・休日とも午前7時から午後8時まで立ち入り可能です。自動扉が開放されていない場合は正面玄関の入口左に設置しているカードリーダーに学生証をかざして自動扉横の通用口から入館してください。

□ 各学年のキャンパス退館時間について

1年次から3年次は午後8時までにキャンパスから退館してください。

※研究室配属後に研究上の理由で午後10時以降も研究室・実験室を使用する場合は、必ず指導教員の許可を得た上で「夜間実験室利用届」をポートアイランドキャンパス管理室まで提出してください。

□ 長期休暇期間中（夏期・冬期）の入館・退館について

長期休暇期間中、ポートアイランドキャンパス事務室が閉室している場合、正面入口から入館することができません。ポートアイランドキャンパスの西側にあるポートアイランド管理室側入口から入館し、入館時及び退館時に管理簿に記帳してください。長期休暇期間中でも退館時間を守るよう、注意してください。

□ マイラボ

FIRST 棟（F-1号館）の3階から6階には、「マイラボ」と呼ばれる研究・学習用スペースが設けられており、皆さんが使用できる机、イス、ロッカーが、各自に1セットずつ用意されています。課題の克服、自主的な発展学習、レポートの作成等、自らの能力向上のために有効に活用してください。また無線 LAN も備えていますので、インターネットを通じた情報収集で学習に役立ててください。

なお、「マイラボ」は研究・学習スペースであるため教員や研究員等の研究エリア内に設置されています。使用に際しては、教職員の指示に従ってください。65ページにある「マイラボでの過ごし方」をよく読み、FIRST での学びの主旨をよく理解した上で使用してください。インターネットの設定及び使用上の注意については、別途説明会を実施します。皆さんが使用するフロア（3階から6階）及び机、イス、ロッカーの割り振りについては、別途指示します。使用するフロアや場所は定期的に変更されますので、机、イス、ロッカー等は大切に扱ってください。

□ 図書室の利用

F-1号館にある図書室は入口のセキュリティゲートに学生証をかざすことによって入室することができます。貸出処理を行った図書を除くすべての図書の持ち出しはできません。学習・研究に資料が必要な場合は、図書室内に設置しているコイン式のコピー機を利用してください。

また、岡本キャンパスにある図書館、雑誌館及びサイバーライブラリを利用することができます。利用方法については4月2日の履修指導後に行われる図書館オリエンテーションで説明します。

□ 講義室の貸出について

自主学習や発表練習などを行う際に、講義室を使用することが可能です。使用する場合はポートアイランドキャンパス事務室に申し出てください。（講義・会議・イベント等での使用を優先します。）

□ 「202講義室」の開放について

キャンパス内の学生の憩いの場・フリースペースとして、2階の202講義室を自由利用教室として開放します。利用可能日時は、次の通りです。

・平日・土曜・授業実施日 8時30分～19時30分

（日曜・祝日（授業実施日を除く）・ポートアイランドキャンパス事務室の閉室日は利用不可とします。）

※ただし、講義・会議・イベント等での使用を優先します。講義室内のAV機器・電話は利用できません。

□ 自転車・遊具の貸出について

ポートアイランドキャンパス事務室では自転車と遊具の貸出を行っています。希望する場合は申し出てください。（貸出時間に制限があります。）

学生生活を送る上で知っておいてほしいことーその他編

□ マイラボ複合機と図書室のコピー機の利用について

マイラボの3階と5階に設置している複合機と、図書室に設置しているコピー機を使用して印刷を行った場合、1人あたり1年間に一定額の補助を受けることが可能です。1年間の補助金額は学部生で1万円となりますが、補助限度額を超えた利用料は自己負担になります。補助費の支払手続きは年3回行います。2015年度の日程詳細は掲示もしくは「My KONAN」で発表を行いますので、各自確認してください。

□ 遺失物について

キャンパス内での忘れ物は一旦ポートアイランドキャンパス事務室に保管されます。それらの遺失物は一定期間後、引き取り手がない場合は破棄します。

□ キャリア支援について

ポートアイランドキャンパスでのキャリアに関する相談はキャリアカウンセラーやキャリア担当の職員が担当します。また、求人情報やキャリア関連書籍・雑誌も充実しています。

なお、岡本キャンパスのキャリアセンターでも、各種キャリアイベントやセミナーなども実施しています。早い段階で将来のキャリアデザインについて意識をもち、積極的な活用を図りましょう。

□ 指導主任

1～3年次の間に主担当及び副担当（2名）の指導主任が割り当てられます。主担当教員は3年次まで同じ教員で、副担当教員は定期的に変更されます。学修上や大学生活上の問題については、これら担当教員が相談に乗ります。科目選択をはじめ、気軽に相談してください。なお、副担当の1名は、皆さんに割り当てられたマイラボと同一フロアにいる教員が担当します。

4年次には皆さんが希望する卒業研究のテーマに応じて、主担当及び副担当の指導主任を新たに決定します。

□ 各種奨学金の申請について

日本学生支援機構・甲南大学独自の奨学金等、様々な奨学金制度を準備しています。新規で申請したい人や申請について不明な点があれば、ポートアイランドキャンパス事務室まで申し出てください。

□ 医務室・学生サロン室の利用について

学内でけがをした場合や体調が悪い場合は1階の医務室を利用することが可能です。開室時間は平日10時から18時（原則、土曜日は閉室）となっています。学生サロン室はちょっと疲れたとき、静かに休憩したいとき、友達とゆっくり話したいとき、医務室の開室時間中は解放していますので、自由に利用してください。湯茶のセルフサービス、図書や雑誌の閲覧と貸し出し、CD・DVDの視聴などができます。

学生生活を送る上で知っておいてほしいことー情報編

□ パーソナルコンピュータとインターネット

皆さんの効果的な学習のため、各自がパーソナルコンピュータ（PC）1台をマイラボに用意しておくことになっています。インターネットでの情報収集や実験のレポート作成に欠かせないものですので、必ず用意して下さい。必要なハードウェアスペックやソフトウェア及び具体的な機種選定についての相談は、入学式後に行われる新入生オリエンテーションもしくは担当教員がお知らせします。またPCは、演習系科目「科学英語コミュニケーション1～4」「プレゼンテーション演習1～4」においても使用することがありますので、必ずノート型PCを用意してください。

また、PCの設定に関して、「科学英語コミュニケーション1～4」「プレゼンテーション演習1～4」等の授業で皆さんのPC上の資料をスクリーンに映す際に、PC名が必要となります。教員がPC名を把握できるように、PC名は【学籍番号_名字（ローマ字）】と設定してください（例：11491099_Hirao）。

インターネットに関する設定や注意事項等は、4月に実施するPC講習会で説明を行います。

□ 自由利用パソコンについて

マイラボの3階と5階の複合機付近に、自由利用パソコンを各1台設置しています。パソコンを忘れてしまった場合はこちらを使用してください。ただし、移動・持ち出しは禁止されています。

※パソコンを忘れてしまっても、事務室で貸出は行っておりません。

□ ユーザID、パスワード及び電子メールアドレス

入学と同時に学内の情報システムを利用するために必要となる、ユーザIDとメールアドレスが付与されます。なお、初期パスワードはガイダンス等で通知します。

学籍情報	ユーザID（8ケタ）	
	1ケタ目	下7ケタ
学部生	s	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">(例) 学籍番号 1 1 5 1 1 9 9 7 ↓ ユーザID s_1 1 5 1 1 9 9 7</div>
大学院生（修士課程）	m	
大学院生（博士課程）	d	
聴講生	a	
科目等履修生	c	
研究生	r	
電子メールアドレス：ユーザID@s.konan-u.ac.jp（平成27年度入学生用） ユーザID@center.konan-u.ac.jp（平成26年度以前入学生用）		

□ パスワードの変更

自身の情報を守るため、必ず初期パスワード通知後、すぐにパスワードを変更してください。また、必ず定期的に変更を行ってください。

(1) パスワード変更方法

デスクトップ上の「パスワード変更画面」をダブルクリックすると変更画面が開きます。

(2) パスワードポリシー

- ・ 6文字以上～20文字以内、半角英数混在
- ・ 使用できる文字種（大小英文字、数字、記号）全てを組み合わせる。
- ・ 辞書に載っているような単語や人名は使用を避ける。
- ・ 自分に覚えやすく、他人に推測されにくい文字列。

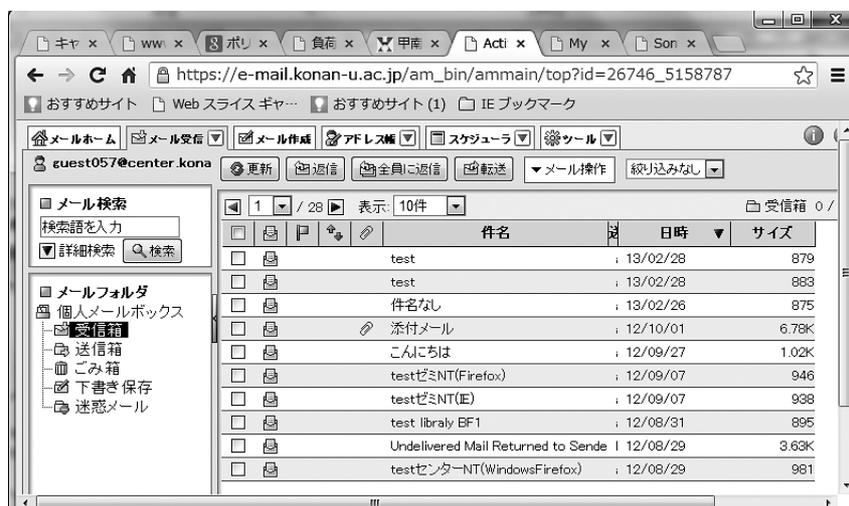
※学籍番号、氏名、電話番号、生年月日等も他人に推測されやすい文字列です。

□ 電子メールの利用

自宅やモバイル環境から、大学の電子メールアドレスで送受信が可能です。（インターネット接続が必要）大学の電子メールアドレスは、教育研究のためのものです。安易な情報発信が招く大きな代償について理解し、全世界に情報発信する自覚と責任を持ってください。

(1) 利用手順

- ① 「My KONAN」ポータル画面よりメールを開く
- ② メール受信画面を開くと、届いたメールを確認することができます。
件名をダブルクリックすると、メールの内容が表示されます。



(2) オプション機能

① 電子メールの転送設定

受信したメールを指定した別のアドレスに自動転送させることができます。

「ツール」→「転送設定」画面を開き、「新規作成」ボタンをクリックして、必要項目を入力。入力終了後、「OK」→「適用」ボタンを押してください。

② モバイル設定

スマートフォンや携帯電話からメールを確認できます。以下の URL よりアクセスしてください。

https://e-mail.konan-u.ac.jp/am_bin/mlogin

□ 無線ネットワーク接続

ポートアイランドキャンパスでは無線 LAN を完備しています。入学後に実施する PC 講習会で接続設定を行いますので、詳細は後日連絡します。

□ VPN 接続 (SSL-VPN)

自宅から外部データベース検索 (図書館のホームページ等)、学内に限定されたブラウザ上のサービスが次の URL より利用できます。<https://vgw.konan-u.ac.jp>

□ 情報システム利用ガイドライン（学生向け）

本学のネットワークや情報サービス利用にあたっては、情報セキュリティポリシー及び情報システム利用内規に基づき、次の事項を遵守しなければなりません。このガイドラインや関連規程等を遵守せず、他者に被害または損害を与えた場合に発生した民事及び刑事上の責任・損害は自己責任となります。また本学の学則等に基づく処分を受ける場合があります。なお、利用者の利用履歴や Web 閲覧履歴が、本人に無断で公開されることはありません。ただし、利用者が第三者に不利益をもたらし、その者から請求があった場合や、裁判所、警察等の公的機関より情報の開示を求められた場合には、これに応じて情報を開示することがあります。

1. 教育、研究目的並びにそれらに関する業務目的以外の利用を行わない。

違反例) 本学園のネットワークに接続された端末で、オンラインのゲームをする。

2. 名誉致損、誹謗中傷、人権侵害、またはハラスメントにあたる行為を行わない。

違反例) インターネットの電子掲示板に、他人を脅すような文言を書き込む。

3. 公序良俗に反する情報の取得及び情報の発信を行わない。

違反例) わいせつな画像や動画をダウンロード・アップロードする。

4. 個人のプライバシー及び肖像権を侵害しない。

違反例) 撮影した写真を当事者の了承を得ないでブログや電子掲示板で公開する。

5. 著作権、特許権等の知的所有権を侵害しない。

違反例) P2P ソフトウェア等を使って、著作権が保護された映画を不正にダウンロードする。

6. 虚偽の情報を提供する行為、詐欺行為、他人を詐称する行為を行わない。

違反例) 他人の名前や住所等を利用して掲示板等へ書き込みを行う。

7. 利用識別番号 (ID) を第三者に譲渡又は貸与しない。

違反例) パソコンにログインできない友人に、自分の ID とパスワードを教えて利用させた。

8. 情報システムの円滑な利用及び運用の支障となる行為を行わない。

違反例) コンピュータウイルスに感染した端末を本学園のネットワークに接続した。

違反例) 電子ジャーナルから、利用契約で禁止されているにもかかわらず大量の資料をダウンロードしたため、大学全体で利用制限をされた。

9. その他法令及び社会的通念に反する行為を行わない。

違反例) 他人に対し、故意にウイルス付のメールを送付して感染させる。

学籍について

□ 学籍番号

学校の在学者としての身分を意味します。入学と同時に発生し、卒業や退学、除籍によって消滅します。また、学生証に記載されている学籍番号は原則として卒業まで変わりません。学籍番号は、次のような意味を持っています。



□ 学生証

学生証とは、あなたが甲南大学の学生であることを証明する唯一の身分証明書です。公的に通用する証明書ですので、大学に登校する時はもちろんのこと、学外でも常時携帯するようにしてください。

(注) 学生証は、FIRST 棟 (F-1号館) の図書室やマイラボに入室するために必要となりますので、登校時は、学生証を必ず携帯してください。また、岡本キャンパスの施設 (図書館、サイバーライブラリ等) を使用する際に必要ですので、必ず携帯するように心がけてください。

□ 学籍異動について

学籍の異動は以下のとおりです。学籍の異動を希望する場合は、ポートアイランドキャンパス事務室で相談してください。

①	休学	疾病その他やむを得ない理由で6箇月以上就学できない者は、休学願 (保証人連署) を提出し、許可を得て休学することができます。休学の期間は、継続して2年以内、通算して4年以内とし、在学期間に含まれません。	休学期間は、在籍料として半期15万円を納付しなければなりません。 ※提出にあたっては、指導主任とよく相談してください。また、半期休学の場合は、通年科目 (集中科目も含む) の履修はできません。卒業に必要な単位が修得できるかどうかよく検討したうえで願い出を提出してください。
②	復学	休学の理由が消滅し、休学期間中に復学を希望する者は、復学願を提出し、許可を得て復学することができます。	一度許可された休学期間を短縮する場合に提出が必要ですが、提出時期によっては、希望の時期に復学できない場合があるので、注意してください。
③	退学	疾病その他やむを得ない理由で退学しようとする者は、退学願 (保証人連署) を提出し、その許可を得なければなりません。	提出にあたっては、指導主任とよく相談してください。
④	再入学	退学者又は学費未納による除籍後1年以上経過した者が再入学を願い出た場合は、審議の上許可することがあります。ただし、再入学の時期は学年又は学期の初めに限ります。	当該年度の入学金および該当年次の学生と同額の学費を納入しなければなりません。
⑤	除籍	1. 授業料その他の学費を定められた期間中に納入しないときは除籍します。 2. 在学期間が8年を越える場合は除籍します。	—
⑥	復籍	授業料その他の学費の納付を怠り、除籍された者が1年以内に復籍を願い出たときは、審議の上許可します。	当該年度の入学金相当額を復籍料として納付しなければならない場合があります。
⑦	留学	外国留学規程により外国の大学に留学した時、留学期間は在学期間に算入します。	—

※上記①～④および⑥の手続きには「所定の用紙」が必要です。用紙の交付および受付はポートアイランドキャンパス事務室で行っています。

なお、提出時期により異動日付が決まります。詳細はポートアイランドキャンパス事務室で確認してください。

学費について

□ 平成27年度納付書発送及び納付期限

	前期学費	後期学費
学費納付書発送時期	平成27年5月8日予定	平成27年10月8日予定
学費納付期限 ※銀行営業日にご注意ください	平成27年5月31日	平成27年10月31日

□ 平成27年度学費一覧

(1) 学費について

(単位：円)

学年		1年次	2年次～4年次
項目	学部	フロンティアサイエンス学部	フロンティアサイエンス学部
	入 学 金		300,000
授 業 料		812,000	1,112,000
施 設 設 備 費		219,000	219,000
設 備 充 実 費		50,000	50,000
教 育 充 実 費		365,000	365,000
合 計		1,746,000	1,746,000

注1) 上表の金額を前期と後期の2期に分けて半額ずつ徴収します。但し、1年次の前期学費は入学
手続時に徴収済みです。

注2) 実験費・実習費は授業料に含まれています。

注3) 在学中の学費は、物価水準の急激な変動により改定する場合があります。

(2) 休学時の学費について

(単位：円)

項目	休学期間	半 期	通 年 ※
	在 籍 料		150,000

※休学期間が通年の場合は、前期と後期の2期に分けて半額ずつ徴収します。

□ 諸費について

下記の諸費は、前期学費納入時に年額一括納入をお願いしています。

諸費名称	納入額	納入時期
学生自治会会費	4,500円 (年額)	前期学費納付時
父母の会会費	6,000円 (年額)	
同窓会費 (平成25～27年度入学生)	* 10,000円 (年額)	
同窓会費 (平成24年度入学生)	* 5,000円 (年額)	

* 大学同窓会終身会費35,000円は、4年間の分割納入になります。

(1年次10,000円、2年次10,000円、3年次10,000円、4年次5,000円)

Ⅲ. ～フロンティアサイエンス学部～
学 修 編

フロンティアサイエンス学部 生命化学科
専門教育科目表

フロンティアサイエンス学部生命化学科専門教育科目表

※開講期別は変更される場合があります。

[2014年度(平成26年度)以降入学生に適用]

授業科目		単位	期別	配当 年次	備考		
必修 科目	教養 科目	フロントランナー講座	2	後	1		
	基礎 科目	科学英語コミュニケーション1	1	前	1		
		科学英語コミュニケーション2	1	前	2		
		科学英語コミュニケーション3	1	前	3		
		科学英語コミュニケーション4	1	前	4		
		プレゼンテーション演習1	1	後	1		
		プレゼンテーション演習2	1	後	2		
		プレゼンテーション演習3	1	後	3		
		プレゼンテーション演習4	1	後	4		
		数学及び演習	3	前	1		
		英語及び演習	3	通	1		
		日本語表現及び演習	3	後	1		
		安全倫理工学	2	後	3		
		基礎体育学演習	2	通	1		
	専門 基礎 科目	バイオサイエンス序論	2	前	1		
		ナノサイエンス序論	2	前	1		
		ナノバイオサイエンス序論	2	前	1		
		ケミカルサイエンス序論	2	前	1		
	専門 科目	ナノバイオラボベーシックA	2	前	1		
		ナノバイオラボベーシックB	2	後	1		
		ナノバイオラボ1A	4	前	2		
		ナノバイオラボ1B	4	後	2		
		ナノバイオラボ2A	6	前	3		
		ナノバイオラボ2B	6	後	3		
ナノバイオ卒業研究		15	通	4			
以上70単位必修							
選択 必修 科目 A群	専門 科目	A1: バイオサイエンスパック					
		ベーシック科目	分子生物学	2	C	1	
			遺伝子工学・バイオテクノロジー	2	D	1	
			生命機能科学	2	A	2	
			細胞工学	2	D	2	
		アドバンスト科目	薬理学	2	B	2	
			発生学	2	B	3	
		A2: ナノサイエンスパック					
		ベーシック科目	無機化学	2	C	1	
			量子物理化学	2	D	1	
		固体光化学	2	A	2		
		電気化学	2	A	3		
	アドバンスト科目	ナノテクノロジー	2	B	2		
		生物無機化学	2	C	2		
	A3: ナノバイオサイエンスパック						
	ベーシック科目	生化学	2	C	1		
		生命分析化学	2	D	1		
		生命物理化学	2	A	2		
		バイオ計測工学	2	B	2		
	アドバンスト科目	高分子化学	2	C	2		
		生体分子工学	2	A	3		
	A4: ケミカルサイエンスパック						
	ベーシック科目	構造有機化学	2	C	1		
		有機電子論	2	D	1		
	有機反応各論	2	A	2			
	有機化学と分光法	2	B	2			
アドバンスト科目	生物有機化学	2	D	2			
	有機合成化学	2	B	3			
以上選択必修科目A群のうち、24単位以上選択必修 ただし、いずれか1パックについてはすべて修得すること							
キ・ ヤ リ ア 目	ベーシック・キャリアデザイン	2	前	1	選択必修科目の単位数 に充てることができな い		
	エリアスタディーズI	2	集中	1			
	エリアスタディーズII	2	集中	1			
	エリアスタディーズIII	2	集中	1			
	エリアスタディーズIV	2	休講	1			
	エリアスタディーズV	2	集中	1			

授業科目		単位数	期別	配当年次	備考	
選択必修科目B群	応用専門科目	B1：先端テクノロジーパック				
		ケミカルバイオロジー	2	B	3	
		バイオセンシングと環境	2	C	2	
		アドバンストマテリアル	2	D	2	
		先端情報テクノロジー	2	集中	3	
		B2：メディカルサイエンスパック（他大学連携科目）				
		メディカルサイエンス概論	2	A・集中	2	
		医療テクノロジー	2	後	3	
		創薬テクノロジー	2	A・集中	3	
		メディカルバイオテクノロジー	2	後	2	
		B3：サイエンスマネジメントパック（企業連携）				
		企業戦略・テクノロジー概論	2	後	2	
		医療関連研究開発論	2	集中	3	
		バイオ・食品関連研究開発論	2	後	2	
ナノ・材料関連研究開発論	2	集中	3			
B4：コーディネーターパック						
知財マネジメント	2	後	3			
シーズ／ニーズマッチング	2	後	3			
国際産学コーディネーター	2	後	3			
インターンシップ	2	集中	2			
以上選択必修科目B群のうち、14単位以上選択必修						
選択必修科目C群	教養科目	科学と健康	2	後	2	
		科学と情報技術	2	前	2	
		科学とエネルギー・環境	2	集中	2	
		科学と芸術・哲学	2	集中	2	
		科学と歴史・文学	2	前	3	
		科学と産業政策	2	集中	3	
以上選択必修科目C群のうち、6単位以上選択必修						

必修科目		選択必修科目	
教養科目	2単位	教養科目	6単位以上
基礎科目	21単位		
基礎専門科目	8単位		
専門科目	39単位	専門科目	24単位以上
		応用専門科目	14単位以上
卒業必要単位数			128単位以上

フロンティアサイエンス学部履修登録科目の単位制限に関する内規

〔平成21年3月26日〕
〔合同教授会制定〕

改正 平成25年3月8日

フロンティアサイエンス学部の学生が履修する授業科目において、登録単位制限を受ける科目及び単位数は次のとおりである。なお、下記表中の「授業科目表」とは、自己の入学年度に適用される授業科目表をいう。また、前期履修登録及び後期履修登録を合わせた単位数に対して登録単位制限を受けるものとする。

	1年次	2年次	3年次	4年次
フロンティアサイエンス学部 授業科目表に記載の科目	通年で合計 41単位以内	通年で合計 40単位以内	通年で合計 40単位以内	通年で合計 40単位以内

ただし、次に掲げる科目の単位については、上記表の制限を受けない。

- ①「インターンシップ」（平成23年度以降入学生に適用）
- ②「エアスタディーズⅠ～Ⅴ」（平成25年度以降入学生に適用）

附 則

この内規は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この内規は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この内規は、平成25年4月1日から施行する。

フロンティアサイエンス学部生命化学科専門教育科目表

※開講期別は変更される場合があります。

[2013年度(平成25年度)入学生に適用]

授業科目		単位	期別	配当 年次	備考	
必修 科目	教養 科目	フロントランナー講座	2	後	1	
	基礎 科目	科学英語コミュニケーション1	1	前	1	
		科学英語コミュニケーション2	1	前	2	
		科学英語コミュニケーション3	1	前	3	
		科学英語コミュニケーション4	1	前	4	
		プレゼンテーション演習1	1	後	1	
		プレゼンテーション演習2	1	後	2	
		プレゼンテーション演習3	1	後	3	
		プレゼンテーション演習4	1	後	4	
		数学及び演習	3	前	1	
		英語及び演習	3	通	1	
		日本語表現及び演習	3	後	1	
		安全倫理工学	2	後	3	
		基礎体育学演習	2	通	1	
	専門 基礎 科目	バイオサイエンス序論	2	前	1	
		ナノサイエンス序論	2	前	1	
		ナノバイオサイエンス序論	2	前	1	
		ケミカルサイエンス序論	2	前	1	
	専門 科目	ナノバイオラボベーシックA	2	前	1	
		ナノバイオラボベーシックB	2	後	1	
		ナノバイオラボ1A	4	前	2	
		ナノバイオラボ1B	4	後	2	
		ナノバイオラボ2A	6	前	3	
		ナノバイオラボ2B	6	後	3	
		ナノバイオ卒業研究	15	通	4	
	以上70単位必修					
	選択 必修 科目 A群	A1: バイオサイエンスパック ベーシック科目	分子生物学	2	C	1
遺伝子工学・バイオテクノロジー			2	D	2	
生化学			2	C	1	
細胞工学			2	D	2	
アドバンスト科目			薬理学	2	B	2
		発生学	2	B	2	
A2: ナノサイエンスパック ベーシック科目		電気化学	2	A	2	
		半導体・デバイス化学	2	A	2	
		無機化学	2	C	1	
		量子物理化学	2	D	1	
		アドバンスト科目	ナノテクノロジー	2	B	2
		生物無機化学	2	C	2	
A3: ナノバイオサイエンスパック ベーシック科目		生命物理化学	2	A	1	
		バイオ高分子化学	2	C	1	
		バイオ計測工学	2	B	2	
		生命分析化学	2	D	2	
		アドバンスト科目	生命化学1	2	A	3
		生命化学2	2	A	3	
A4: ケミカルサイエンスパック ベーシック科目	有機電子論	2	D	1		
	有機反応各論	2	A	1		
	構造有機化学	2	C	1		
	有機化学と分光法	2	B	1		
	アドバンスト科目	生物有機化学	2	D	2	
		有機合成化学	2	B	2	
	以上選択必修科目A群のうち、24単位以上選択必修 ただし、いずれか1パックについてはすべて修得すること					
キ・ 国 際 交 流 科 目	ベーシック・キャリアデザイン	2	前	1	選択必修科目の単位数 に充てることができな い	
	エリアスタディーズI	2	集中	1		
	エリアスタディーズII	2	集中	1		
	エリアスタディーズIII	2	集中	1		
	エリアスタディーズIV	2	休講	1		
	エリアスタディーズV	2	集中	1		

授業科目		単位数	期別	配当年次	備考	
選択必修科目B群	応用専門科目	B1：先端テクノロジーパック				
		ケミカルバイオロジー	2	B	3	
		バイオセンシングと環境	2	C	2	
		アドバンストマテリアル	2	D	2	
		先端情報テクノロジー	2	集中	3	
		B2：メディカルサイエンスパック（他大学連携科目）				
		メディカルサイエンス概論	2	A・集中	2	
		医療テクノロジー	2	後	3	
		創薬テクノロジー	2	A・集中	3	
		メディカルバイオテクノロジー	2	後	2	
		B3：サイエンスマネジメントパック（企業連携）				
		企業戦略・テクノロジー概論	2	後	2	
		医療関連研究開発論	2	集中	3	
		バイオ・食品関連研究開発論	2	後	2	
ナノ・材料関連研究開発論	2	集中	3			
B4：コーディネーターパック						
知財マネジメント	2	後	3			
シーズ／ニーズマッチング	2	後	3			
国際産学コーディネーター	2	後	3			
インターンシップ	2	集中	3			
以上選択必修科目B群のうち、14単位以上選択必修						
選択必修科目C群	教養科目	科学と健康	2	後	2	
		科学と情報技術	2	前	2	
		科学とエネルギー・環境	2	集中	2	
		科学と芸術・哲学	2	集中	2	
		科学と歴史・文学	2	前	3	
		科学と産業政策	2	集中	3	
以上選択必修科目C群のうち、6単位以上選択必修						

必修科目		選択必修科目	
教養科目	2単位	教養科目	6単位以上
基礎科目	21単位		
基礎専門科目	8単位		
専門科目	39単位	専門科目	24単位以上
		応用専門科目	14単位以上
卒業必要単位数			128単位以上

フロンティアサイエンス学部履修登録科目の単位制限に関する内規

〔平成21年3月26日〕
〔合同教授会制定〕

改正 平成25年3月8日

フロンティアサイエンス学部の学生が履修する授業科目において、登録単位制限を受ける科目及び単位数は次のとおりである。なお、下記表中の「授業科目表」とは、自己の入学年度に適用される授業科目表をいう。また、前期履修登録及び後期履修登録を合わせた単位数に対して登録単位制限を受けるものとする。

	1年次	2年次	3年次	4年次
フロンティアサイエンス学部 授業科目表に記載の科目	通年で合計 41単位以内	通年で合計 40単位以内	通年で合計 40単位以内	通年で合計 40単位以内

ただし、次に掲げる科目の単位については、上記表の制限を受けない。

- ①「インターンシップ」（平成23年度以降入学生に適用）
- ②「エアスタディーズⅠ～Ⅴ」（平成25年度以降入学生に適用）

附 則

この内規は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この内規は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この内規は、平成25年4月1日から施行する。

フロンティアサイエンス学部生命化学科専門教育科目表

※開講期別は変更される場合があります。

[2012年度(平成24年度)以前入学生に適用]

授業科目		単位	期別	配当年次	備考	
必修科目	教養科目	フロントランナー講座	2	後	1	
	基礎科目	科学英語コミュニケーション1	1	前	1	
		科学英語コミュニケーション2	1	前	2	
		科学英語コミュニケーション3	1	前	3	
		科学英語コミュニケーション4	1	前	4	
		プレゼンテーション演習1	1	後	1	
		プレゼンテーション演習2	1	後	2	
		プレゼンテーション演習3	1	後	3	
		プレゼンテーション演習4	1	後	4	
		数学及び演習	3	前	1	
		英語及び演習	3	通	1	
		日本語表現及び演習	3	後	1	
		安全倫理工学	2	後	3	
		基礎体育学演習	2	通	1	
	専門基礎科目	バイオサイエンス序論	2	前	1	
		ナノサイエンス序論	2	前	1	
		ナノバイオサイエンス序論	2	前	1	
		ケミカルサイエンス序論	2	前	1	
	専門科目	ナノバイオラボベーシックA	2	前	1	
		ナノバイオラボベーシックB	2	後	1	
ナノバイオラボ1A		4	前	2		
ナノバイオラボ1B		4	後	2		
ナノバイオラボ2A		6	前	3		
ナノバイオラボ2B		6	後	3		
ナノバイオ卒業研究	15	集中	4			
以上70単位必修						
選択必修科目A群	A1: バイオサイエンスパック ベーシック科目	分子生物学	2	C	1	
		遺伝子工学・バイオテクノロジー	2	D	2	
		生化学	2	C	1	
		細胞工学	2	D	2	
		アドバンスト科目	薬理学	2	B	2
		発生学	2	B	2	
	A2: ナノサイエンスパック ベーシック科目	電気化学	2	A	2	
		半導体・デバイス化学	2	A	2	
		無機化学	2	C	1	
		量子物理学	2	D	1	
		アドバンスト科目	ナノテクノロジー	2	B	2
		生物無機化学	2	C	2	
	A3: ナノバイオサイエンスパック ベーシック科目	生命物理化学	2	A	1	
		バイオ高分子化学	2	C	1	
		バイオ計測工学	2	B	2	
		生命分析化学	2	D	2	
		アドバンスト科目	生命化学1	2	A	3
		生命化学2	2	A	3	
	A4: ケミカルサイエンスパック ベーシック科目	有機電子論	2	D	1	
		有機反応各論	2	A	1	
構造有機化学		2	C	1		
有機化学と分光法		2	B	1		
アドバンスト科目		生物有機化学	2	D	2	
		有機合成化学	2	B	2	
以上選択必修科目A群のうち、24単位以上選択必修 ただし、いずれか1パックについてはすべて修得すること						
キャリア	ベーシック・キャリアデザイン	2	前	1	選択必修科目の単位数に充てることができない	

授業科目		単位数	期別	配当年次	備考	
選択必修科目B群	応用専門科目	B1：先端テクノロジーパック				
		ケミカルバイオロジー	2	B	3	
		バイオセンシングと環境	2	C	2	
		アドバンストマテリアル	2	D	2	
		先端情報テクノロジー	2	集中	3	
		B2：メディカルサイエンスパック（他大学連携科目）				
		メディカルサイエンス概論	2	A・集中	2	
		医療テクノロジー	2	後	3	
		創薬テクノロジー	2	A・集中	3	
		メディカルバイオテクノロジー	2	後	2	
		B3：サイエンスマネジメントパック（企業連携）				
		企業戦略・テクノロジー概論	2	後	2	
		医療関連研究開発論	2	集中	3	
		バイオ・食品関連研究開発論	2	後	2	
ナノ・材料関連研究開発論	2	集中	3			
B4：コーディネーターパック						
知財マネジメント	2	後	3			
シーズ／ニーズマッチング	2	後	3			
国際産学コーディネーター	2	後	3			
インターンシップ	2	集中	3			
以上選択必修科目B群のうち、14単位以上選択必修						
選択必修科目C群	教養科目	科学と健康	2	後	2	
		科学と情報技術	2	前	2	
		科学とエネルギー・環境	2	集中	2	
		科学と芸術・哲学	2	集中	2	
		科学と歴史・文学	2	前	3	
		科学と産業政策	2	集中	3	
以上選択必修科目C群のうち、6単位以上選択必修						

必修科目		選択必修科目	
教養科目	2単位	教養科目	6単位以上
基礎科目	21単位		
基礎専門科目	8単位		
専門科目	39単位	専門科目	24単位以上
		応用専門科目	14単位以上
卒業必要単位数			128単位以上

フロンティアサイエンス学部履修登録科目の単位制限に関する内規

〔平成21年3月26日〕
〔合同教授会制定〕

改正 平成25年3月8日

フロンティアサイエンス学部の学生が履修する授業科目において、登録単位制限を受ける科目及び単位数は次のとおりである。なお、下記表中の「授業科目表」とは、自己の入学年度に適用される授業科目表をいう。また、前期履修登録及び後期履修登録を合わせた単位数に対して登録単位制限を受けるものとする。

	1年次	2年次	3年次	4年次
フロンティアサイエンス学部 授業科目表に記載の科目	通年で合計 41単位以内	通年で合計 40単位以内	通年で合計 40単位以内	通年で合計 40単位以内

ただし、次に掲げる科目の単位については、上記表の制限を受けない。

- ①「インターンシップ」（平成23年度以降入学生に適用）
- ②「エアスタディーズⅠ～Ⅴ」（平成25年度以降入学生に適用）

附 則

この内規は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この内規は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この内規は、平成25年4月1日から施行する。

はじめに

履修に関するガイダンスは、皆さんが本学部で学ぶために必要な事項を説明する重要なものですので、新入生は4月2日、在學生は4月1日に行われる履修指導に必ず出席するようにしてください。

カリキュラムについて

カリキュラムは、(1)基礎科目、(2)基礎専門科目、(3)専門科目、(4)応用専門科目、(5)教養科目から成っています。

(1) 〔基礎科目〕

専門分野に関する知識や技能を身につける上で、その前提となる基礎学力や能力を養成します。「数学及び演習」、「英語及び演習」、「日本語表現及び演習」では、高等学校で習得した数学、英語、日本語に関する基礎力を再確認するとともに、専門教育を受けるのに必要なレベルまで引き上げることを目的としています。「安全倫理工学」では、科学者・技術者として身につけておくべき倫理観や、実験を安全に行うための知識を身につけます。また、大学生として必要な基礎体力の養成と体育知識の習得を図る「基礎体育学演習」も基礎科目に含まれます。

また、2種類の演習系科目「科学英語コミュニケーション1～4」「プレゼンテーション演習1～4」では、将来、専門知識や専門技能を活かして社会で活躍する際に必要となる、専門的内容に関する英語のリーディング・ライティング・スピーチ・ヒアリング、及び英語あるいは日本語による表現技法について学びます。

基礎科目は計21単位すべてが必修で、「英語及び演習」及び「基礎体育学演習」は通年科目、他は半期科目となっています。

(2) 〔基礎専門科目〕

4つの序論科目から成っており、無機化学（ナノ）、生物学（バイオ）、物理化学（ナノバイオ）有機化学（ケミカル）等に関する基礎的な知識や考え方、さらに各分野の最新トピックス等を交え、各分野の魅力や全体像を把握できる科目構成になっています。基礎専門科目は計8単位すべてが必修で、いずれの科目も半期科目です。

(3) 〔専門科目〕

必修科目である実験科目と選択必修である講義科目から成っており、本学部での「学び」の根幹となる知識と技能を習得します。

実験科目「ナノバイオラボベーシックA」「ナノバイオラボベーシックB」「ナノバイオラボ1A」「ナノバイオラボ1B」「ナノバイオラボ2A」「ナノバイオラボ2B」は1年次から3年次まで、ナノ、バイオ、ナノバイオに関する実験技能及び関連知識を系統的に身につける構成となっています。また、3年次後期の「ナノバイオラボ2B」では、1つのテーマを選択して重点的に取り組むことに

より、さらに高度な実験技術に加えて、結果の解釈や考察の記述に習熟する等、研究への橋渡しとなる内容になっています。なお、「ナノバイオラボ2 A」および「ナノバイオラボ2 B」の履修には、原則として「ナノバイオラボベーシックA」「ナノバイオラボベーシックB」「ナノバイオラボ1 A」「ナノバイオラボ1 B」を修得していることが必要です。これらはいずれも半期科目です。

さらに4年次には、「ナノバイオ卒業研究」を履修して研究室で卒業研究に取り組みます。「ナノバイオ卒業研究」は通年科目で、年度の終わりには研究内容に関する発表や質疑応答等を通じて成績評価がなされます。なお、配属先の研究室は学生の希望に応じて決定されますが、希望が重複した場合には原則としてGPAをもとに調整が行われます。

講義科目は選択必修科目A群と位置付けられており、A1：バイオサイエンスパック、A2：ナノサイエンスパック、A3：ナノバイオサイエンスパック、A4：ケミカルサイエンスパックという4つのパック（科目群）に分類されています。卒業に際しては、このうち少なくとも1つのパックについては、すべての科目を修得することが求められます。これは、各学生が自らの興味や将来展望に沿って様々な科目選択を行いながらも、軸となる専門分野については深くじっくり学んでもらいたいという本学部のポリシーを反映したものです。履修の考え方として、基礎科学分野を深く学びたいという学生は、この選択必修科目A群を中心に履修し、複数のパックについて完全に修得すればよい、と言えます。逆に、応用分野も含めて広く学びたい学生は、1つのパックを完全に修得した上で残りの必要な単位は他のパックや応用専門科目（選択必修科目B群）から幅広く修得すればよい、と言えます。なお、選択必修科目A群の科目はすべてクォーター科目です。専門科目では、必修39単位、選択必修科目A群から24単位以上、計63単位以上を修得することが必要です。

(4)〔応用専門科目〕

専門科目で身につけたナノ、バイオ、ナノバイオ、ケミカルに関する知識や技能を、社会に活かすという視点から捉える科目群（選択必修科目B群）で構成されています。その視点の違いによって、環境から情報技術まで幅広い最先端科学技術を取り扱うB1：先端テクノロジーパック、医療・創薬系の科学技術を取り扱うB2：メディカルサイエンスパック、企業の研究開発等について取り扱うB3：サイエンスマネジメントパック、知財関連法規や起業について取り扱うB4：コーディネーターパックという4つのパック（科目群）に分類されています。応用専門科目は14単位以上の修得が必要です。

(5)〔教養科目〕

必修科目である「フロントランナー講座」と、選択必修科目C群から構成されており、必修2単位、選択必修科目6単位以上、合計8単位以上を修得しなくてはなりません。「フロントランナー講座」は各界の最先端を切り拓いている“フロントランナー”をゲスト講師としてお招きして、先進的な考え方、困難を乗り越えた経験談、さらには甲南スピリットについて教授いただくという趣旨の、本学部独自の特別な科目です。1年次後期に開講され（後期科目）、早い時期に将来を考え始めるきっかけとするというキャリア教育の役割も担っています。

選択必修科目C群は、科学に関連する幅広い教養知識の涵養を目的とした科目群です。科学を違う角度から見つめ直すことによって、新たな興味や関心を育ててください。

授業について

□ 授業科目の履修について

○ 配当年次

授業科目に「配当年次」があります。これは、履修モデルにもとづいて履修するのにふさわしい年次を表しています。つまり、配当年次が3年次の授業科目を履修するためには、1・2年次の学修による知識・経験が必要だということです。逆に言えば、1年次、2年次の授業科目はより専門的な学修をするうえで履修しておくべき科目だといえます。したがって、自分の年次より高い配当年次の授業科目を履修することはできません。自分の年次以下の科目の中から選択履修してください。

○ 授業科目の選択

授業科目には、必修科目や選択必修科目等の区別があります。必修科目は、卒業するために必ず修得しなければならない科目のため、上記の「配当年次」に記載しているとおり、必ず配当された年次で修得するように努めてください。また、選択必修科目は、区分された授業科目群の中から、決められた単位数以上を修得しなければならない科目です。単位修得の成否は、次年度以降の履修に影響を及ぼすことがありますので、本書を熟読し、履修要件、「ナノバイオ卒業研究」履修要件、卒業要件を理解したうえで、慎重に履修科目を選択してください。

○ 他学部・他学科科目の履修について

他学部および他学科の科目は、2年次から履修することができます。該当する入学年度にある専門教育科目表の配当年次に従って履修してください。該当する入学年度にない専門教育科目は、履修できません。

また、他学部・他学科の履修を認めていない科目や別途申込が必要な科目もあります。登録申請後、許可された科目のみ履修が可能です。登録方法は、通常とは異なりますので、履修を希望する者は、ポートアイランドキャンパス事務室に問い合わせてください。

□ 学期について

本学部では、講義期間を4つに分け、2015年度は4月6日から5月29日までをA期、6月2日から7月21日までをB期、9月19日から11月16日までをC期、11月19日から1月20日までをD期として位置づけ、原則として選択必修科目（A群、B群）等については、各学期8週（週2回、計15回）の授業を実施します。なお、このような形態で実施する科目をクォーター科目と呼びます。同時に、A期、B期、休業期間等を合わせた4月1日から9月16日までを前期、C期、D期、休業期間等を合わせた9月17日から3月31日までを後期として位置付け、基礎科目や選択必修科目（C群）等については、前期あるいは後期各15週（週1回、計15回）の授業を実施します。このような形態で実施する科目をそれぞれ前期科目及び後期科目（総じて半期科目）と呼びます。ただし、クォーター科目及び半期科目は、期間を定めて集中講義として授業を実施することもあります。この他、前・後期を通じて年間30週（週1回、計30回）の授業を実施する科目もあり、これらは通年科目と呼びます。

期 別	学期	期 間
前 期 (4/1-9/16)	A期	4月6日～5月29日
	B期	6月2日～7月21日
後 期 (9/17-3/31)	C期	9月19日～11月16日
	D期	11月19日～1月20日

* 2ページの「平成27年度（2015年度）フロンティアサイエンス学部 学年暦」を参照してください。

□ 授業時間帯について

授業は、下記の時間帯に行い、主に FIRST 棟 (F-1号館) の教室を使用します。1 限90分授業です。

時限時間帯

1 時限	2 時限	3 時限	4 時限	5 時限
9 : 00～10 : 30	10 : 40～12 : 10	13 : 00～14 : 30	14 : 40～16 : 10	16 : 20～17 : 50

□ 休講・補講について

担当教員から休講・補講の連絡があれば、「My KONAN」および掲示板でお知らせします。授業開始前に必ず確認してください。なお「My KONAN」でメールアドレスを設定すると休講・補講情報をメールで受信することもできます。

□ 集中講義について

夏期および冬期休業中または土曜日に集中して授業を行います。授業日程は「My KONAN」および事務室での掲示板で発表します。履修する場合は、前期の履修登録期間に登録しなければなりません。なお、集中講義は通年科目として扱い、成績は後期に発表されます。

※「科学と産業政策（集中）」はポートアイランドキャンパス事務室で事前に履修希望者を受け付けます。詳細は後日「My KONAN」および掲示板で連絡します。

□ 授業の欠席について

本学では、公に認められた欠席制度（公欠制度）はありません。病気やケガ、忌引き等で授業を欠席したときは、次回の授業時に担当教員に連絡してください。ただし、取り扱いは担当教員の判断によります。なお、ポートアイランドキャンパス事務室に欠席の連絡を入れても、担当教員にお伝えすることはできません。

□ 授業に必要な物品について

講義等で必要となる教科書や参考書、演習に必要なパーソナルコンピュータ（PC）やソフトウェア、実験に必要な白衣、保護めがね等は、F-1号館7階の生協にて購入することができます。販売期間等の詳細は、掲示等にて周知されますので注意してください。

□ 交通機関の不通、気象警報発表に伴う授業及び試験の取扱いについて（※93ページも合わせて確認すること。）

ストライキによる交通機関の不通、気象警報の解除時刻	授業（試験）の取り扱い
午前7時までに解除されたとき	平常どおり授業（試験）を行う
午前11時までに解除されたとき	3時限目からの授業（試験）を行う
午前11時を過ぎても解除されないとき	授業（試験）は行わない

※特別警報が授業及び試験期間中に発表されたときは、発表以降授業及び試験は行いません。

※暴風警報が授業時間中に発令されたときは、発令以降授業は行わず、試験時間中に発表されたときは、教務部長の判断により措置します。

「ストライキによる交通機関」の不通とは、西日本旅客鉄道株式会社線の京都・西明石間または阪急電鉄株式会社線において電車の運行が全面的に停止、又はこれに準ずる場合を基準とします。

特別警報及び暴風警報は、下表のいずれかの市町村に発令された場合とします。

地 域	市 町
阪神	神戸市、芦屋市、西宮市、尼崎市、伊丹市、宝塚市、川西市、三田市、猪名川町

※神戸新交通ポートアイランド線の運行が停止した場合、授業及び試験を実施しない場合があります。

□ 単位制及び単位の修得について

授業は1回90分授業とし、計15回（ただし、試験は含みません。）を原則2単位とします。つまり、授業科目2単位は、毎週1回90分授業を前期もしくは後期に15週を基本として実施する、あるいは、毎週2回90分授業を学期中（A、B、C、D期のいずれか）に8週（15回）を基本として実施することを意味しています。ただし、期間を定めて集中講義で授業を実施することもあります。

授業科目を履修し、試験等に合格した場合、単位を修得することができます。成績評価についての詳細は、54ページに記載しています。

□ 学位について

本学部において所定の単位を修得し卒業した者には、学士（理工学）の学位が授与されます。

□ 卒業要件と進級制限について

1. 卒業要件

本学部を卒業するためには、原則として4年以上在学し、かつ、(1)基礎科目（必修21単位）、(2)基礎専門科目（必修8単位）、(3)専門科目（必修39単位、選択必修科目A群より24単位以上）、(4)応用専門科目（選択必修科目B群より14単位以上）、(5)教養科目（必修2単位、選択必修科目C群より6単位以上）を修得し、合計128単位以上を修得しなければなりません。なお、選択必修科目A群に関しては、A1：バイオサイエンスパック、A2：ナノサイエンスパック、A3：ナノバイオサイエンスパック、A4：ケミカルサイエンスパックのうち、1つ以上のパックについて、すべての科目の単位を修得しなくてはなりません。また、各パック内のアドバンスト科目（A1「薬理学」「発生学」A2「ナノテクノロジー」「生物無機化学」A3「生命化学1」・「生命化学2」（2013年度以前入学生）「高

分子化学」・「生体分子工学」(2014年度入学生) A4「生物有機化学」「有機合成化学」を履修するためには、当該パックに対応する基礎専門科目(序論)を修得していることが原則として必要です。

2013年度(平成25年度)以降の入学生はキャリア・国際交流科目の「ベーシック・キャリアデザイン」「エリアスタディーズⅠ」「エリアスタディーズⅡ」「エリアスタディーズⅢ」「エリアスタディーズⅣ」「エリアスタディーズⅤ」を修得した場合、「ベーシック・キャリアデザイン」の2単位及び「エリアスタディーズⅠ～Ⅴ」のうち、いずれか1科目2単位を卒業単位数に充てることができますが、必修科目や選択必修科目の単位数に充てることはできません。

また、2012年度(平成24年度)以前入学生はキャリア科目の「ベーシック・キャリアデザイン」を修得した場合、卒業単位数に充てることができますが、必修科目や選択必修科目の単位数に充てることはできません。

2. ナノバイオ卒業研究の履修要件

以下の条件(1)～(6)をすべて満たしていない場合は、4年次配当科目である「ナノバイオ卒業研究」を原則として履修することができません。「ナノバイオ卒業研究」は必修科目ですので、履修することができない場合、4年間では卒業できないことになります。1年次から計画的な履修を心がけてください。

なお、3年次配当までの全ての実験科目を修得していながら「ナノバイオ卒業研究」の履修要件を満たしていない4年次学生は、いずれかの研究室に仮配属されます。仮配属中の研究室における活動については担当教員とよく相談してください。ただし、仮配属によって「ナノバイオ卒業研究」の単位を修得することはできませんので注意してください。

- (1) 基礎科目については「基礎体育学演習」を含めた17単位以上修得していること。
- (2) 基礎専門科目(必修8単位)をすべて修得していること。
- (3) 専門科目については、必修24単位、選択必修科目A群より24単位以上を修得していること。
- (4) 応用専門科目については、選択必修科目B群より14単位以上を修得していること。
- (5) 教養科目については、必修2単位、選択必修科目C群より6単位以上を修得していること。
- (6) 選択必修科目A群に関しては、A1:バイオサイエンスパック、A2:ナノサイエンスパック、A3:ナノバイオサイエンスパック、A4:ケミカルサイエンスパックのうち、1つ以上のパックについて、すべての科目の単位を修得していること。

※4年次配当科目は最終年度に全て同時に履修すること。(2015年度以降入学生に適用)

3. ナノバイオラボ2Bの履修要件

前期終了時までの単位修得状況から、3年次後期配当科目である「ナノバイオラボ2B」を修得したとしても後述の「ナノバイオ卒業研究」の履修要件を満たさないことが明らかな場合、原則として「ナノバイオラボ2B」を履修することができません。「ナノバイオラボ2B」は必修科目ですので、履修することができない場合、4年間では卒業できないことになります。1年次から計画的な履修を心がけてください。

4. 履修科目の登録の制限について

効果的な学習を行うために、1年間に履修科目として登録することのできる単位数を、1年次は41単位、2年次以降は40単位に制限しています。各年次とも、この単位数を超えて履修科目を登録することはできません。

履修登録について

履修登録や履修確認は「My KONAN」で行うことができますので、履修登録や履修確認のために岡本キャンパスに行く必要はありません。履修登録及び登録確認の方法については、新入生は4月2日、在學生は4月1日の履修指導で詳細を説明します。

履修登録は、前期と後期の年2回実施します。各学期の始めに、履修を希望する授業科目をWEBで登録しなければなりません。期日までに登録を行わなければ、その学期の講義や試験を受けることはできません。各登録方法は、次頁以降の内容、および48ページの『履修登録関係操作マニュアル』を確認してください。

なお、2015年度より、前期には、クォーター科目（A期・B期）、前期科目、集中講義を含む通年科目、クォーター科目（C期・D期）、後期科目のすべてが登録できるようになりました。1年間の履修計画を立てたうえで登録をしてください。クォーター科目（C期・D期）、後期科目については、前期および後期に登録可能です。前期に登録したのもも後期に追加・変更ができますので、前期にまず登録をしてください。

また、「My KONAN」のクラスプロフィール機能や休講、補講、教室変更などの情報を確認するためには履修登録をすることが前提となっています。初回の授業から「My KONAN」を活用できるように、履修登録は早く行いましょう。

□ 履修登録の方法・履修登録期間

前期のはじめにクォーター科目（A期、B期）、前期科目、通年科目、クォーター科目（C期・D期）、後期科目について、後期のはじめにクォーター科目（C期、D期）と後期科目について、履修を希望する科目をWEB「My KONAN」で登録します。登録には、ユーザーIDとパスワードが必要です。操作方法については、48ページに記載してある「□履修登録関係操作マニュアル」を参照してください。期日までに登録を行わなければ、その年度は授業や試験を受けることができません。

なお、「ナノバイオ卒業研究」の履修要件を満たしている4年次学生は、「ナノバイオ卒業研究」（集中講義）があらかじめ登録されています。履修登録画面で確認の上、履修を希望しない場合は、履修登録画面より削除してください。

履修登録期間内は修正登録ができ、時間割はいつでも画面で確認できます。履修登録期間内に学生時間表を印刷したものを指導主任に見せて相談の上、期日までに登録してください。

なお、前期に履修登録を完了した通年科目については、後期に登録の修正や削除をすることはできませんので注意してください。

《履修登録期間》

履修登録期間（※深夜3：00～5：30を除く）		登録対象科目
前期	4月6日（月）9：00～4月17日（金）23：59 ※ただし、4月9日（木）～4月12日（日）を除く	通年（集中を含む）・前期・後期科目 クォーター科目（A期～D期）
後期	9月16日（水）9：00～9月23日（水）23：59	後期科目 クォーター科目（C期・D期）
<p>注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前期は、メンテナンスのため4月9日（木）～4月12日（日）は履修登録機能を利用できません。「My KONAN」のクラスプロフィールや休講情報等の掲示内容を確認するためには、履修登録をする必要があります。初回授業から使用できるよう、4月6日（月）～4月8日（水）にまず履修登録をするようにしてください。一旦登録した科目についても、履修登録期間は修正が可能です。 ・クォーター科目（C期・D期）、後期開講科目についても、前期に登録をしてください。クォーター科目（C期・D期）、後期科目については、後期の履修登録期間に追加・変更・取消などの修正が可能です。ただし、後期に通年科目の削除はできません。 ・年間の履修単位制限に注意しながら登録してください。単位制限の内容は、学部・学科・入学年度によって異なります。『履修要項』で確認してください。単位制限は、履修登録ができる単位の上限を定めたものです。成績の結果は単位制限には関係ありません。 		

□ 履修登録の確認（エラーの確認と修正）

WEBによる履修登録でエラーが出た授業科目は登録されませんので、エラーがない状態で履修登録を完了してください。また、履修登録期間終了後、エラーのある場合は該当者を掲示しますので、対象者は以下の期間内に必ずポートアイランドキャンパス事務室に申し出て指示を受けてください。

《学生別時間割表エラー修正期間》

前期	4月23日（木）、24日（金）9：00～17：00
後期	9月29日（火）、30日（水）9：00～17：00
注意事項	この期間に追加登録したり、削除することはできません。必ず履修登録期間内に間違いのないよう登録してください。

□ 学生別時間割表の確認と提出

履修登録完了後は必ず学生別時間割表を印刷し、登録内容を確認の上、履修登録者本人による署名（サイン）のうえ以下の期間内にポートアイランドキャンパス事務室に提出してください。提出がない場合、後日、登録内容について疑義があっても一切受け付けません。

《学生別時間割表提出期間》

前期	4月23日（木）～4月29日（水）9：00～18：00（土曜日は13：00まで）
後期	9月29日（火）～10月5日（月）9：00～18：00（土曜日は13：00まで） ※後期履修登録期間に修正した場合のみ提出してください。

□ 履修登録関係操作マニュアル

「My KONAN」の履修登録関連の操作方法を説明します。「My KONAN」にログインした後のトップメニューからの操作方法を以下に説明します。

その他の操作方は、メインメニュー画面左下の「お気に入りタイトル」から「WEB 操作マニュアル」を参照してください。

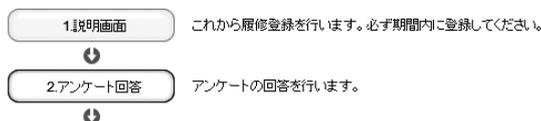
1. 履修登録方法

【1】上部に表示されたメインメニューから「履修登録」をクリックします。

【2】履修登録の流れが表示されます。説明をよく読んで、「次へ」ボタンをクリックします。



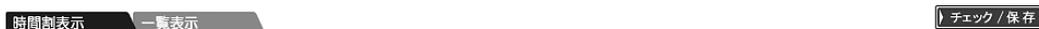
[概要]
履修登録を行います。必ず期間内に登録してください。



【3】①時間割表示シートから、履修登録する曜日・時限の「選択」ボタンをクリックします。選択した曜日・時限に履修できる授業リストがポップアップで表示されます。②授業リストから、履修する授業をチェックし、③「確定」ボタンをクリックします。

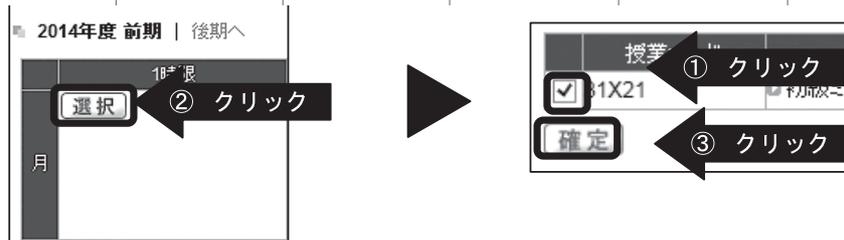


■ 履修登録



■ 2014年度 前期 | 後期へ

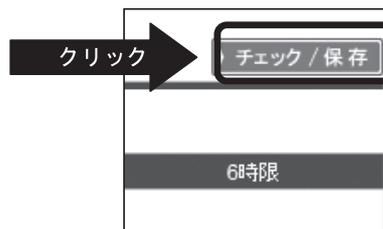
	1時限	2時限	3時限	4時限	5時限	6時限
月	選択	選択	選択	N0060 教育の方法・技術 (2クラス)(前) 先抽 C1002 IT基礎(2クラス)(前) 先抽		
火	選択			選択	選択	



【4】履修する授業を全て選択し終わったら、「チェック／保存」をクリックします。

※「チェック／保存」ボタンをクリックした時点で、登録内容が保存されます。授業を選択しただけでは、登録されないので注意してください。

同様の操作を繰り返して履修する授業を追加します。



登録内容にエラーがある場合は、エラー内容がポップアップで表示されます。

■ 基本、条件エラー

授業コード	開講学期	開講曜日	科目名	単位	メッセージ
51F13	2014年度 後期	月3 月4	経営学総論(B)(後)	4	指定学部・学科にあいません。
C1002	2014年度 前期	月5	IT基礎(2クラス)(前)	2	重複して履修しています。



時間割表示シートに戻ると、エラーとなっている授業の曜日・時限が赤に変わっています。変更または、削除し、もう一度「チェック／保存」ボタンをクリックします。

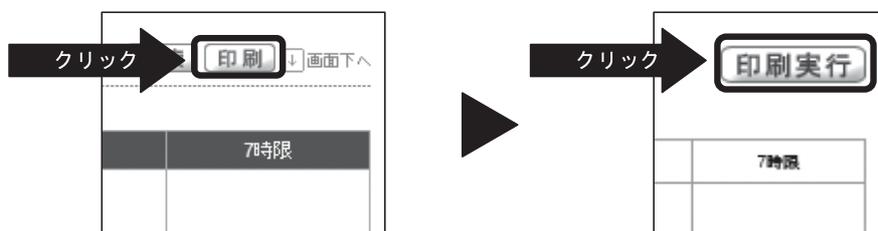
エラーとなっている授業は、履修登録が無効となります。必ず履修登録期間内にエラーを修正してください。

【5】『エラーはありません』と表示されたら、もう一度登録内容に間違いがないか確認し、「完了」ボタンをクリックします。

□ 学生時間割印刷方法

【1】上部に表示されたメインメニューのうち「シラバス・時間割」から「学生時間割」をクリックします。

【2】「印刷」ボタンをクリックすると、ポップアップで時間割の印刷イメージが表示されます。①プリンタにA4用紙をセットし、②「印刷実行」ボタンをクリックします。



□ シラバス検索方法

シラバスとは、授業科目を担当する教員とみなさんとの『契約書』と言えるものです。科目の到達目標や、授業内容、試験の有無、成績評価の方法など、履修をするにあたって確認しなければならない事項が記載されていますので、必ず内容を確認してください。

なお、シラバスの内容は、授業の進行などによって変更される場合があります。履修登録時だけでなく、授業が始まってからも頻繁に確認をしてください。

検索方法は、「学部・研究科・キーワード等の検索」と「カリキュラムからの検索」の二種類があります。「学部・研究科・キーワード等の検索」は、教員氏名から担当する科目を検索したい場合や、キーワードで検索したい場合に適しています。

「カリキュラムからの検索」は、履修したい科目分類（広域副専攻科目や専門教育科目など）から検索したい場合に適していますので、適宜使い分けてください。

また、検索結果は、開講科目順、教員氏名順、開講区分順、開講学期順に並べ替えることもできます。

【学部・研究科・キーワード等の検索(学外・在学生用)】

キャンパス/学部・大学院	ポर्टアイランドキャンパス
開講 <small>必須</small>	2015 年度 全て対象
開講学部・学科	全て対象
曜日時限	全て対象 全て対象 <input type="checkbox"/> 集中講義など
教員氏名	<input type="text"/> (部分一致:カナ、英語含む)
キーワード	<input type="text"/> <input checked="" type="radio"/> 全て含む <input type="radio"/> いずれかを含む

- ① キャンパス/学部・大学院
検索したいものを選択します。
- ② 開講
検索したい開講年度・学期を選択します。通年科目は、前期でも後期でも検索できます。
- ③ キーワード
複数のキーワードで検索する場合は、スペースで区切ります。

【カリキュラムからの検索(在学生用)】

開講 <small>必須</small>	2015 年度 全て対象
入学年度学期 <small>必須</small>	2015 年度 前期
学部・学科組織 <small>必須</small>	学部生 フロンティア 生命化学
授業科目区分	全て対象

□ 基礎体育学演習（必修科目）

「基礎体育学演習」は通年科目ですので、履修登録は前期のはじめに行ってください。授業の内容は、前期は共通の講義・実技（新体力測定、トレーニング講習会、テニス等実技）で、後期はいくつかのメニューから選択する方式になります。選択の方法等については、授業の中で説明します。

なお、身体に障害がある等、やむを得ない理由がある場合には、授業の内容について、個別相談の上で設定しますので、ポर्टアイランドキャンパス事務室に事前に申し出てください。

授業科目	単位	期 別	配当年次
基礎体育学演習	2	通	1

1. 講義の内容

生活の中に定期的に運動を取り入れながら、自分の身体について学び、体力やフィジカル・コンディショニングの知識を深めます。まず、体力測定を実施し、自分の体力の現状を把握します。また、実技を行いながら、身体組成を測定し、身体の変化をみていきます。前期は数種類のスポーツと講義を行い、後期は選択したコースでスポーツを行います。この授業を通して、フィジカル・マネージメントができる姿勢を身に付けるとともに、スポーツを通してコミュニケーション力を高めることを目指します。

2. 履修上の注意

- 1) 1年次開講の必修科目で、卒業までに2単位を修得しなければならない。
- 2) この科目を履修するためには、学内の定期健康診断及び身体検査を受診しなければならない。
- 3) 出席日数が年間の授業実施回数（休講は回数から除く）の3/4以上出席した者を、評価対象者とする。
- 4) この科目は、前期は3・4限の、後期は1・2限の連続科目となる。ポートアイランド校地と六甲アイランド校地との移動時間などが含まれるため、実際の授業時間はオリエンテーションでの指示に従うこと。
- 5) 講義場所は、基本的に六甲アイランド校地で実施する。使用する施設は講義内容によって異なるので、オリエンテーションでの指示に従うこと。
- 6) 病気、不慮の事故、その他やむを得ない理由で授業を受講できない場合は、速やかに担当教員又はポートアイランドキャンパス事務室に相談すること。
- 7) 身体障害、疾病、けが等で通常の受講に支障があると考えられる学生は、事前に担当教員又はポートアイランドキャンパス事務室に相談すること。

□ 学籍情報照会【カリキュラム学科組織・クラス情報】確認方法

【1】上部に表示されたメインメニューのうち「学籍・判定・成績」から「学籍情報照会」をクリックします。

【2】表示内容を確認します。

みなし入学年度	2007
みなし入学期NO	1
所属学科組織	学部生 文 社会
カリキュラム学科組織	学部生 文 社会 リベラルアーツ

■ 所属情報	
所属クラス	日文演習Ⅲ 演習Ⅲ J2 外国語 中国語
指導主任(教員)名	

- ① みなし入学年度・学期…シラバス検索（「カリキュラムからの検索」）で使用します。
- ② カリキュラム学科組織…副専攻コースの結果はここで確認します。
- ③ 所属クラス…クラス分けがされている一覧が表示されます。
- ④ 指導主任名…担当の指導主任の教員名が表示されます。

試験について

試験には、定期試験・臨時試験・追試験があります。なお、再試験は実施されませんので注意してください。

【定期試験】

定期試験とは、各期末に行われる試験をいいます。今年度は、下記の日程で行う予定です。また、定期試験等の試験開始時刻は、授業開始時刻と異なる場合があるので、試験時には試験時間表で確認してください。

クォーター科目	A期	5月30日・31日
	B期	7月23日～8月3日
	C期	11月17日・18日
	D期	1月21日～29日
前期科目		7月23日～8月3日
後期科目		1月21日～29日

【臨時試験】

定期試験以外の時期に行われる試験をいいます。

【追試験】

追試験とは、定期試験を受けることができなかった者を対象に行う試験をいいます。ただし、下表に定めるやむを得ない理由で定期試験及び臨時試験を受けられなかった者に追試験を認めます。

追試験希望者は、受験できなかった授業科目の試験日を含めて3日以内（(4)の大幅な延着に該当する場合は、当日内）に手数料（1科目につき1,000円）を添えてポートアイランドキャンパス事務室に願い出てください。※58ページの「試験・成績・判定のよくある質問（FAQ）」も合わせて確認してください。

- (1) 病気の場合（診断書又はそれに相当する証明書等添付）
- (2) 配偶者及び2親等以内の親族死亡の場合（3日間とするが、遠隔地で死亡の場合は認められた期間）
- (3) 就職試験の場合（キャリアセンター所長の証明書添付）
- (4) 悪天候やストライキ等により、公共交通機関が不通あるいは大幅な延着の場合（延着証明書添付）
- (5) 大学院受験の場合（募集要項及び受験票を呈示）
- (6) 不慮の事故又は災害による場合（証明書添付）
- (7) 教育実習の場合（教職教育センター所長の証明書添付）
- (8) オリンピック及びこれに準ずると認められる国際競技に、選手として出場した場合（証明書添付）
- (9) その他正当な事由（証明書又は理由書添付）によって受験できなかったと教務部長が所属学部長と協議の上認めた場合

※就職試験（筆記試験、面接試験等。会社説明会や企業セミナー、内定者懇親会等は除外）と学内試験が重なり、やむを得ず学内試験を受けることができなかった場合は、追試験を申請することができます。その場合は必ず事前にポートアイランドキャンパス事務室に相談してください。

□ 学内試験における不正行為に対する処置について

次の事項に該当する場合は、直ちに退場を命ずるとともに、当該学期の試験時間割にある履修登録科目を全科目無効として、成績評価を行いません。場合によっては、甲南大学学則による処分をすることがあります。

- (a) 代人として受験すること、又は代人に受験させること。
- (b) 許可されていないノート、テキスト、参考書、六法全書、辞書等を参照すること。
- (c) あらかじめ机等に書き込んだり、カンニングペーパー等を用意すること（六法全書、辞書等に書き込む場合も含む。）
- (d) 他人の答案をのぞき見て写しとったり、故意に写させたりすること。
- (e) 試験内容に関して私語をすること。
- (f) その他、不公正な手段を用いて受験すること。

□ 試験の持込みについて

試験によっては参考資料、ノート等の持込みが認められています。試験場への持込みについては、「全て可」か「一切不可」のいずれかです。ただし「六全書」、「会計監査六法」、「外国語の辞書」、「電卓」、「理科年表」は、指示がある場合に限り、持込みを認めることがあります。パーソナルコンピュータ・電子辞書及び通信機能のあるもの等の電子機械類は特に指定のない限り、これらの持込みを認めません。

□ レポートの提出について

論文またはレポートの提出は、所定の日時を厳守しなければなりません。所定の日時に遅れた場合、理由の如何を問わず受理しません。

□ レポート・出席における不正行為に対する処置について

他人のレポートを写したり、写させたり、書籍やインターネット上の文章を流用したりすることは不正とみなし、当該科目の成績を「不可」とします。また、出席カードの代筆等も同様に取り扱いません。

成績について

□ GPA について

(1) GPA とは

2009年度より、成績評価の方法として、GPA (Grade Point Average) 制度を実施しています。学生のみなさんが履修した科目の成績評価に対して定められた GP (Grade Point) を与え、下記計算式により算出した数値 (小数点第3位を四捨五入) を GPA とし、その GPA を学修に対する一つの指標として提示するものです。みなさんは、自らの単位取得状況と同時に比較可能な「平均的な点数」(GPA) により、自己の勉学の現状を把握することができます。さらにみなさん自身が、定められた「履修制限」のもとで、「シラバス」に基づき、履修登録を自ら管理し、自己の学修を確立し、学修成果がどのレベルに位置するかを把握することにより、さらなる勉学意欲を高めることが期待できます。GPA については、各自の学修簿に記載します。

(2) GP および GPA の算出

成績等の表示及び成績評価基準 (全学部共通)

区分	評価	評点(成績評価基準)	GP	評価内容	
合格	AA 秀	100~90点	4.0	特に優れた成績	
	A 優	89~80点	3.0	優れた成績	
	B 良	79~70点	2.0	妥当と認められる成績	
	C 可	69~60点	1.0	合格と認められる最低限の成績	
不合格	D 不可	59~ 0点	0.0	合格と認められる最低限の成績に達していない	
	K 欠席	欠席	—	授業の出席状況が悪かった者や試験を受験しなかった者について、「欠席」扱いとする場合	
GP 対象外	N —	N —	単位認定科目	—	編入学により「一括認定」された科目
	K 欠席	K 欠席	欠席	—	授業の出席状況が悪かった者や試験を受験しなかった者について、「欠席」扱いとする場合

GPA 算出方式

$$\frac{4.0 \times \text{AA の修得単位数} + 3.0 \times \text{A の修得単位数} + 2.0 \times \text{B の修得単位数} + 1.0 \times \text{C の修得単位数}}{\text{総履修登録単位数 (「K」「N」の単位数を除く、「D」の単位数を含む.)}}$$

(注1) 「N (一括認定科目)」は、計算式に含みません。

(注2) 「総履修登録単位数」には、「K (欠席)」の単位数は含みません。

不合格科目 (D評価) を再履修し、合格の評価を得た場合及び再履修の結果再びD評価であった場合もすべてにおいて、学期ごとの GPA にも、通算の GPA にも算入されます。

(注3) 学修簿には学期ごとの GPA、年度ごとの GPA、通算の GPA を記載する。小数点第3位を四捨五入し、小数点第2位までを表記

□ 成績発表

成績発表は「My KONAN」・「学修簿」で年2回行います。在學生は「My KONAN」を使用して、成績の閲覧が可能です。成績公開の日程は別途掲示等で連絡します。

前期成績：2015年9月（決定次第、掲示等で連絡します。）

後期成績：2016年3月（決定次第、掲示等で連絡します。）

成績発表後一定期間、学修簿を1人1部無料で配付をします。詳細は別途掲示等で連絡します。

※保証人宛に年2回学修簿の郵送を行います。

□ 成績の確認方法について

成績発表は、「My KONAN」と学修簿によって行います。

(1) 「My KONAN」による確認方法

- ① 上部に表示されたメインメニューのうち「学籍・判定・成績」から「成績照会」をクリックします。
- ② 年度学期毎の成績・GPA・科目分類ごとの修得済単位数計・不足単位数が表示されます。

■ 2014年度前期		
科目名	単位	評価
歴史と民族	2	良
地域と文化	2	優
日本語表現法I	2	優
漢文学IIa	2	秀
中世文学講読I	2	可
近世文学講読I	2	優
近代文学講読II	2	良
現代文学講読I	2	秀
近代文学研究	2	可
文学と表現I		不
対照言語学I	2	優
日本の芸能	2	良
日本語表現研究I		欠

■ GPA						
12 前期	12 後期	13 前期	13 後期	14 前期		
1.68	1.93	1.67	1.67	2.33		
■ 単位修得状況						
科目分類	広域	広域a	広域b	広域c	特設	共通
卒業要件単位	16	4	4	4		
修得済単位	12	4	4	4	0	0
不足単位	-4	0	0	0	0	0

(2) 学修簿による確認方法

「学修簿」は、単位履修表と履修科目欄の2つに分かれます。

① 単位履修表

- (a) 授業科目区分：区分階層にしたがってインデントが設定されています。
- (b) 卒業必要数：学則に定められた卒業に必要な科目・単位数をプリントしています。
- (c) 修得数：すでに修得した科目・単位数を授業科目区分ごとに集計しています。
- (d) 不足数：卒業するために取らなければならない残り単位数
卒業必要単位となるのは、いずれの場合も「専門科目」の下位層までです。留意してください。

② 履修科目欄

- (a) *は現在履修中の授業科目をあらわしています。
- (b) 履修年度は、西暦で示しています。

学部・学科・学年により、授業科目区分や卒業必要数は異なります。

単位履修表				
授業科目区分	卒業必要数	修得数		不足数
	単位	科目	単位	単位
㊦ 専門教育	128	55	118	-10
㊦ 必修科目	⑦⑩	23	54	-16
㊦ 教養科目	2	1	2	
㊦ 基礎科目	21	12	20	-1
㊦ 基礎専門	8	4	8	
㊦ 専門科目	39	6	24	-15
㊦ 選必 A		18	36	
㊦ 専門科目	⑫⑭	18	36	
㊦ ㊦ A 1	12			-12
㊦ ㊦ A 2	12	6	12	
㊦ ㊦ A 3	12	6	12	
㊦ ㊦ A 4	12	6	12	
㊦ キャリア		1	2	
㊦ 選必 B	⑮⑰	10	20	
㊦ 選必 C	⑱	3	6	
㊦ 他科目				

【注意】
※参照

①

②

① [卒業に必要な単位数]

各授業区分毎に卒業に必要な単位数以上を修得しなければなりません。

4年間で修得すべき総単位数……○で囲んだもの

㊦の計+㊦の計+㊦の計+㊦の合計=フロンティアサイエンス学部で定められた単位数以上

② [卒業するのに不足している科目と単位数]

㊦欄～㊦欄のマイナス表示のある単位数

卒業に必要な単位数が設定されている授業科目区分毎に不足数を表示してあります。卒業するためには各授業科目区分の不足数がなくならなければなりません。

【注意】不足単位数の見方

不足単位数の合計は下位の授業科目区分のマイナスを集計した数と必ずしも一致する訳ではありません。特に専門科目の不足数の計は、下位のマイナスの合計よりも少ないことがあります。

※卒業するためには、それぞれの授業科目区分のマイナス表示が全てなくなることが必要です。

※ただし、選択必修科目 A 群のうち、いずれかの 1 パックについてはすべて修得する必要があるが、いずれかのうちでパックコンプリートできていれば、単位履修表の不足数にマイナスが表記されていても、問題はありません。(※上の表のとおり)

□ 卒業見込判定について

4年次の前期および後期に卒業見込判定結果を行います。いずれの時期も、『フロンティアサイエンス学部 卒業見込証明書の発行基準』(101ページ)に基づいて判定を行います。前期(4月初旬)は、3年次までの成績に基づいて判定を行います。後期(10月中旬頃)は、後期の履修登録後、履修登録単位数を含めて卒業必要単位を充足しているかどうか、判定を行います。判定結果は、「My KONAN」の『学籍情報照会』画面から確認できます。また、4年次については、後期の履修登録

期間中に履修登録の状況を加味して、「My KONAN」の『卒業見込判定』メニューよりリアルタイムに卒業見込判定を行うことができます。

【卒業見込判定結果確認画面】

■ 卒業見込判定状況	
卒業見込日	2016年03月31日
卒業見込判定結果	卒業見込
卒業見込判定日	2015年10月03日

【卒業見込判定画面】

- ① 卒業見込条件を満たしている場合

卒業見込条件を満たしています。

- ② 卒業見込条件を満たしていない場合不足している内容が表示されます。

卒業見込条件を満たしていません。	
要件不足詳細	不足数
専門教育科目の登録単位数が不足しています。	22.0単位
基礎科目(必修)の登録科目が不足しています。	4.0単位
基礎科目(選択必修)の登録科目が不足しています。	2.0単位

□ 卒業判定について

卒業判定結果は、4年次の3月初旬に「My KONAN」の『学籍情報照会』画面から確認することができます。

3月初旬に、「未判定」から「卒業」または「卒業不可」と表示されます。

■ 卒業判定結果	
卒業予定年月	2016年03月
卒業判定結果	未判定
卒業判定日	

試験・成績・判定のよくある質問（FAQ）

定期試験の時間割や追試験の日程についての案内は、「My KONAN」の「試験・成績に関するお知らせ」に掲載します。掲示内容に注意して間違いのないようにしてください。

● 試験前に関すること

区分	Q. 学生証を紛失してしまったのですが、仮学生証で試験を受けることはできますか？
試験前	A. 仮学生証の発行は試験期間中3回までです。学生証を紛失した場合は、ポートアイランドキャンパス事務室で再発行の手続きを行ってください。（再発行手数料がかかります。）
	Q. 携帯電話で試験時間割を確認することはできますか？
	A. 「My KONAN MOBILE」では試験時間割を参照することはできません。パソコン版の「My KONAN」を利用してください。

● 試験当日に関すること

区分	Q. 交通機関が遅れて試験に間に合いそうにないのですが、どうしたらいいですか？								
試験当日	A. 降車駅で日付・時間の明示された <u>延着証明書（遅延証明書）</u> を取得し、そのまま大学へ向かってください。試験開始後15分以上経過していた場合は、試験場に入場することはできません。直ちにポートアイランドキャンパス事務室に来てください。ポートアイランドキャンパス事務室で大学に到着した時刻の確認を行います。交通機関による延着が認められた場合は、追試験を申し込むことができます。申し込みの際、 <u>学生証</u> が必要です。また、通学証明書を確認する場合がありますので、必ず携帯してください。								
	Q. 特別警報又は暴風警報が出ているのですが、試験はどうなりますか？								
	A. 特別警報又は暴風警報が発令された場合は、授業と同じ時刻の扱いで以下のとおり取り扱います。								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>特別警報及び暴風警報の解除時刻</th> <th>試験の取り扱い</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>午前7時までに解除されたとき</td> <td>平常どおり試験を行う</td> </tr> <tr> <td>午前11時までに解除されたとき</td> <td>3時限目からの試験を行う</td> </tr> <tr> <td>午前11時を過ぎても解除されないとき</td> <td>試験は行わない</td> </tr> </tbody> </table>	特別警報及び暴風警報の解除時刻	試験の取り扱い	午前7時までに解除されたとき	平常どおり試験を行う	午前11時までに解除されたとき	3時限目からの試験を行う	午前11時を過ぎても解除されないとき	試験は行わない
	特別警報及び暴風警報の解除時刻	試験の取り扱い							
午前7時までに解除されたとき	平常どおり試験を行う								
午前11時までに解除されたとき	3時限目からの試験を行う								
午前11時を過ぎても解除されないとき	試験は行わない								
特別警報及び暴風警報は、神戸市、尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市、三田市、猪名川町のいずれかの市町村が発令された場合です。									
Q. 学生証を忘れたことに気がきました。試験を受けることはできますか？									
A. 試験開始前であれば、ポートアイランドキャンパス事務室で仮学生証の発行手続きを行ってください。 試験開始後は、監督者に学生証を忘れたことを伝え、監督者の指示に従ってください。									

● 追試験に関すること

区分	Q. 交通機関が大幅に遅れていたため、大学には行かず自宅に引き返しました。駅で延着証明書（遅延証明書）を発行してもらいましたが、翌日でも追試験を申し込めますか？
追試験	A. いいえ、追試験を申し込むことはできません。交通機関による延着の場合は、交通機関が遅れなければ試験に間に合っていたことを証明できなければなりません。翌日以降に延着証明書（遅延証明書）を持参しても受け付けることができませんので、交通機関が大幅に遅れた場合でも一旦大学へ来てポートアイランドキャンパス事務室で手続きを行ってください。ただし、交通機関が運転を見合わせており、移動できる見込みがない場合は、ポートアイランドキャンパス事務室へ電話で相談してください。

区分	Q. 交通機関の Web 版延着証明書（遅延証明書）で追試験は申し込めますか？
追 試 験	A. はい、申し込めます。交通機関による延着の場合は、交通機関が遅れなければ試験に間に合っていたことを証明できなければなりませんので、直ぐにポートアイランドキャンパス事務室に来てください。大学への到着時間を確認後、Web 版延着証明書（遅延証明書）を印刷し、当日中（窓口開室時間内）にポートアイランドキャンパス事務室へ提出してください。
	Q. 試験当日に風邪をひいてしまい、受験することができませんでした。追試験を申し込めますか？
	A. 病気により受験できない場合は、 <u>診断書またはそれに相当する証明書等（いずれも試験日に受験できなかったことがわかる内容であること）と学生証を持参の上、受験できなかった科目の試験日以降（試験日を含む）3日以内に</u> ポートアイランドキャンパス事務室で手続きを行ってください。3日以内に手続きが見込めない場合は、予めポートアイランドキャンパス事務室へ電話で相談してください。
	Q. インフルエンザなど（学校において予防すべき感染症）にかかってしまい、試験を受けることができません。追試験を申し込みたいのですが、家族に頼んでもいいですか？
	A. 追試験の申し込みは代理の方でも可能です。家族や親しい友人など信頼のできる方に <u>学生証と診断書またはそれに相当する証明書等（いずれも試験日に受験できなかったことがわかる内容であること）、追試験手数料（1科目1,000円）を預け、受験できなかった科目の試験日以降（試験日を含む）3日以内に</u> ポートアイランドキャンパス事務室で手続きを行ってください。3日以内に手続きが見込めない場合は、予めポートアイランドキャンパス事務室へ電話で相談してください。
	Q. インフルエンザなど（学校において予防すべき感染症）にかかってしまい、試験を受けることができません。追試験を申し込みたいのですが、3日以内に完治せず手続きに行くことができません。代わりに頼める人もいないときは、どうしたらよいですか？
	A. 代理人による手続きもできない場合は、 <u>受験できなかった科目の試験日以降（試験日を含む）3日以内に</u> ポートアイランドキャンパス事務室へ電話で相談してください。
	Q. 親戚が亡くなったため、お葬式に出なければならず、試験を受けることができません。追試験を受けることはできますか？
	A. 配偶者及び2親等以内（祖父母、両親、兄弟姉妹）の親族が亡くなり受験できない場合は、お葬式の際の会葬御礼や案内状など <u>試験日に受験できないことが証明できるものと学生証を持参の上、受験できなかった科目の試験日以降（試験日を含む）3日以内に</u> ポートアイランドキャンパス事務室で手続きを行ってください。ただし、遠隔地で亡くなり、3日以内に手続きができない場合は、予めポートアイランドキャンパス事務室へ電話で相談してください。なお、3親等以上（伯叔父母、従兄弟姉妹など）の親族が亡くなり受験できない場合は、追試験の対象とはなりません。
	Q. 試験日と就職説明会の日が重なってしまいました。追試験を受けることはできますか？
	A. いいえ、追試験を受けることはできません。追試験の対象となる就職試験とは採用に関する筆記試験や面接試験に限ります。説明会やセミナー等は対象外ですので、追試験を申し込むことはできません。
	Q. 試験日にクラブの全国大会があります。大会に出場したいので試験を欠席しようと思うのですが、追試験を受けることはできますか？
	A. いいえ、追試験を受けることはできません。追試験の対象となるのは、オリンピック及びこれに準ずると認められる国際競技に選手として出場した場合です。国内の大会は追試験の対象とはなりません。
Q. クラブ活動中に利き腕を骨折してしまい、文字を書くことができません。怪我が治ってから追試験を受けることはできますか？	
A. いいえ、追試験を受けることはできません。追試験の対象となるのは病気の場合で、怪我の場合は対象となりません。怪我などで受験に支障がある場合は、予めポートアイランドキャンパス事務室へ相談してください。	

区分	Q. 試験当日、交通事故に遭ってしまい、試験を受けられませんでした。追試験を受けることはできますか？
追試験	A. 不慮の事故により受験できない場合は、追試験の対象となります。警察に事故の届け出をすることで <u>事故証明書</u> の発行を受け、 <u>学生証</u> を持参の上、 <u>受験できなかった科目の試験日以降（試験日を含む）3日以内</u> にポートアイランドキャンパス事務室で手続きを行ってください。3日以内に手続きが見込めない場合は、予めポートアイランドキャンパス事務室へ電話で相談してください。
	Q. 試験当日、交通事故を起こしてしまい、試験を受けられませんでした。追試験を受けることはできますか？
	A. いいえ、追試験を受けることはできません。自身が加害者である事故または自損事故の場合は、追試験の対象とはなりません。
	Q. 追試験を事前に申し込むことはできますか？
	A. 追試験の申し込みは、 <u>受験できなかった科目の試験日以降（試験日を含む）3日以内</u> に行ってください。事前に申し込むことはできません。なお、特別な事情がある場合は予めポートアイランドキャンパス事務室へ相談してください。
	Q. 追試験の日に体調が悪くなり、追試験を受験することができませんでした。別の日に受験することはできますか？
A. いいえ、できません。追試験に対する追試験はありません。	

● 持ち込みに関すること

区分	Q. 試験に電卓が必要なので貸してほしいのですが、貸してもらえますか？
持ち込み	A. 電卓の貸し出しは行っていません。各自で用意してください。
	Q. 試験に辞書が持込可となっているのですが、電子辞書を使用してもよいですか？
	A. 原則として電子辞書の持ち込みは認めていません。ただし、担当教員が特に認めた場合はその限りではありません。電子辞書を持ち込んでよい場合は、『電子辞書持込可』と明示していますので確認してください。
	Q. 持込可(何でも)という試験に、ノートパソコンやiPadなどを持ち込んでもよいですか？
	A. いいえ、持ち込むことはできません。パーソナルコンピュータ、及び通信機能のある電子機器類は持ち込みを認めていません。
	Q. クリアケース（中身が透けて見えるカバン類）を使用しているのですが、試験室内に持ち込んでもよいですか？
A. 持ち込みは可能ですが、試験中は、中身が見えないようにしてください。不正行為の疑いがかからないようにして各自の足元に置いてください。	

IV. 重要なメッセージ

～ポートアイランドキャンパスでの学びについて～

FIRSTでの学び ～ Hidden Curriculum (第2のカリキュラム) ～

1. はじめに

みなさんが高校卒業後の進路としてFIRSTを選ばれた理由は何でしょうか。生命を学びたい、化学が好き、などの学問分野を理由としてあげる人もいれば、実験設備が整っている、マイラボがある、などの学修環境をあげる人もいるでしょう。いずれにしても、FIRSTを選んだ理由の多くは、突き詰めれば、「なにがしかの分野の専門家としての素養を身につけたい。それには、この学部は合っているのだ。」ということになるでしょう。

では、どうして「専門家としての素養」を身につけたいのでしょうか。もちろん、学ぶこと自体が楽しい、ということもあるでしょうが、やはり、大きな理由は、大学卒業後あるいは大学院修了後に就職するため、さらには、就職先でその力を発揮して就業し続けるためだといえるでしょう。

一方、企業が大学生に求める力は「専門家としての素養」だけではありません。下のグラフは、甲南大学が企業約110社を対象に実施した「最も重要と考える力を3つ選ぶ」という形式のアンケート集計結果です。特に、「行動力・実行力」「バイタリティ・熱意」「協調性」「論理的思考力」「物事に対する理解力」「常識・マナー」「プレゼン能力・表現力」「幅広い一般教養」などが必要とされていることがわかってと思います。

(「高度な専門知識」や「即戦力の技術・技能」の回答数が少ないのは、このアンケートが理系に限定したものではないためだと思います。理系に特化した職種、特に研究職では、「高度な専門知識」や「即戦力の技術・技能」などが強く求められるのは間違いないでしょう。)

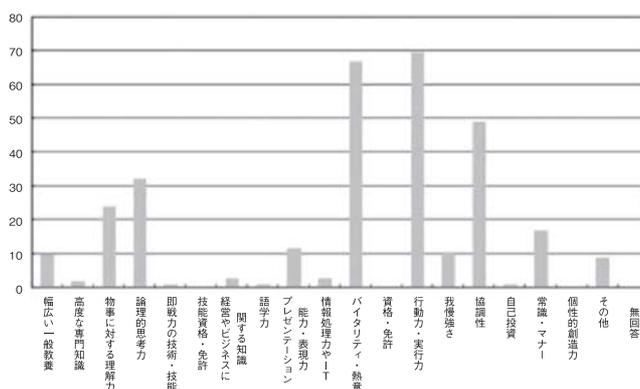


図 企業で必要とされる資質や能力 (各社3つまで回答)

つまり、いつかは就職するであろう皆さんの大学での学びは、「専門的な学び及びそれに付随する学び」と「それ以外の学び」の両輪が揃って、はじめて、完成したものになるのです。両者の間に完全に線を引くことはできませんが、前者は主に「論理的思考力」や「物事に対する理解力」を養います。後者では主に「協調性」や「常識・マナー」などが養われるといえるでしょう。また、「バイタリティ・熱意」や「行動力・実行力」はどちらとも関係があるといえるでしょう。

さて、「専門的な学び及びそれに付随する学び」は講義・演習・実験などの授業と、マイラボや図書室での自主的な学修によって成り立ちます。一方の「それ以外の学び」は、授業とは直接には無関係です。では、どのような機会学び、企業が必要とする力を身につけていけば良いのでしょうか？

実は FIRST は、このような力をカリキュラム以外の部分で身につけていけるようデザインされています。これを Hidden Curriculum（表には出ない第2のカリキュラム）と呼びます。科目表にもシラバスにも表れない Hidden Curriculum。どこに隠されているのかといえば、「オールインワン・キャンパス」であるこのポートアイランドキャンパスでの、みなさんの日常生活です。日常の大学生活を通じて、企業が求める力が身に付けられるようデザインされているのです。

ここには、みなさんが日常の大学生活の中で、いつ、何を意識すれば、Hidden Curriculum を通じて社会で活躍できる力が身につけられるのか、また、そのために、教職員がどのようにサポートする心づもりをしているのか、をまとめてあります。ぜひ、日々の意識を高くもって、FIRST での学びをより有意義なものにしていきたいと思います。

2. FIRST 生らしさ=企業が求める能力や資質

さきほどのグラフからわかるように、企業が大学生に求める力のうち「それ以外の学び」によって身に付けなければならないものは、「協調性」も「常識・マナー」も「バイタリティ・熱意」も、結局は社会人としての基礎力だといえるでしょう。そして、その社会人としての基礎力をもつということは、“みなさんが、教職員とともに生活し学問にチャレンジする、このポートアイランドキャンパスで、互いに気持ちよく過ごせ、互いに刺激し合って向上していく”という姿勢に他なりません。

一言で言えば、FIRST 生らしくあれ、ということになります。

もう少し具体的に書きましょう。FIRST 生らしいというのは、FIRST の教育基本方針や学位授与方針に照らせば、「研究者としての素養がある」ということになります。研究者になりたいかどうか、実際に研究者になるかどうか、は関係ありません。研究者に求められる力を総合的にみると、社会で活躍するために必要な力をすべて含んでいる、だから、研究者としての力は、職種を問わず社会に出てから役立つものなので、研究者の卵として学生を育てる、というのが FIRST の考え方です。したがって、FIRST 生らしさ、というのは、研究者らしさなのです。

日常生活を通じて研究者らしさを身につけることは、将来の就職活動に向けてとても大切なことです。逆に言えば、普段は研究者らしくないふるまいや言動をしていて、就職活動の時期だけ研究者らしくなる、ということではできません。人事担当者には、付け焼き刃のふるまいや言動は、すぐに見抜かれることでしょう。

研究者らしさを身につけるのは、何も就職や就業に必要なだからという理由だけではありません。大学を卒業する者であれば、いや、大学生であれば身に付けて当然のものです。「~のために必要だから」という外的因子だけではなく、自律的に FIRST 生らしさを追求し実践するのが「誇り（プライド）」

というもので、その積み重ねが伝統だといえます。

次に、マイラボと事務室の2箇所を例にとって、FIRST 生らしさをより具体的に考えていきましょう。

3. マイラボでの過ごし方

マイラボは研究ゾーン内にあります。だから「ラボ（研究室）」という名前がついているのです。したがって、マイラボは、実際の研究室と同様に、研究者らしく成長するための場だと考えてください。

マイラボでの過ごし方に関して、ルールを細かく決めたり、細かく指導したりするつもりはありません。マイラボは、みなさんの自主的な活動の場であり、その自主的な雰囲気を尊重したいからです。行動の規範は、FIRST 生らしい（＝研究者らしい）かどうか、この1点です。

自分の行動が FIRST の学生らしいかどうか、うまく判断ができないという人は、このように想像力を働かせてみましょう。

ある企業の方が、あるいは他の大学や研究機関の方が、マイラボを訪れたとします。実際に、訪れる方は大勢いらっしゃると思います。マイラボのような施設は世界的にも珍しいからです。世界初かどうかは確かめようがありませんが、少なくとも、他大学に以前からマイラボのような施設があったという話は、誰も聞いたことがありません。また、単に珍しいだけでなく、最近はラーニングコモンズと呼ばれる自主的な学修スペースが脚光を浴びていて、いろいろな大学が設置し始めています。マイラボはその先取であり、しかも各学生の専用席があるという点では、未だに独創的で進んだ設備といえます。

話がそれましたが、このような背景もあり、ポートアイランドキャンパスを訪れる研究・教育関係者は大勢いらっしゃるわけです。その方々に、見ていただいた時に、研究者として誇らしいか、恥ずかしいか、これが皆さん自身で考えなくてはならない、最も大事な行動規範ではないかと思います。

誇らしいマイラボをつくりあげているみなさんであれば、就職活動などはただの通過点にしか過ぎないでしょう。逆に、恥ずかしいマイラボにしまっている人は、企業の方々のお目に叶うようになるためには、就職活動に際して自らをよく見直す必要があります。ただし、それは日々、誇らしいふるまいを積み重ねて来た人たちに敵うものではありません。

勘違いしないで欲しいのは、就職活動の話はわかりやすく例に挙げているだけで、それは最低限の次元の話だということです。みなさんの FIRST 生らしさ（＝研究者らしさ、社会人らしさ）をはかる尺度の一つと考えてください。

次に、波及効果の話をしていきましょう。学外の方々に見ていただいたときに、誇らしいマイラボであれば、間違いなく高い評価を受けます。みなさんが、FIRST が、そして甲南大学が、です。そのような

一人一人からの小さな評価の積み重ねが、みなさんの、FIRSTの、そして、甲南大学の社会的評価を決めていくのです。FIRSTの新しい伝統を築き、甲南大学の未来の評価を決めるのは、みなさんの誇り（プライド）なのです。

特に、FIRSTは歴史の浅い学部ですので、「FIRSTの学生っていいらしいよ」、というようなたった一言の、うわさ話程度の評判が、FIRSTとみなさんに与える影響が、とても大きいのです。在学中も、そして、社会人になってからも、FIRSTの評価が高ければ、皆さんにとって有形無形のメリットがあることは容易に想像できることと思います。繰り返しになりますが、みなさん一人一人が、FIRSTの伝統を積み上げていってくれることを願っています。

万一、このような話を読んでも、自分にはどうでもよいことだ、自分の就職活動が苦勞の多いものになってもそれはその時のことだ、大学や学部の評価は自分とは無関係だ、と考えている人がいるといけないので、少し補足します。

みなさんは、例えば、就職活動に際して、甲南大学の卒業生たちが築いてきた評価（ブランド力）を、素点としてもっていて社会から一定の評価を受けることができます。これは入試をクリアした見返りといえるかもしれませんが、でも、これからの甲南大学の評価（ブランド力）はみなさんの誇り（プライド）にかかっているのです。未来の甲南大学生、未来のFIRST生の素点は、みなさんの誇り（プライド）にかかっているわけです。自分が受けた以上の恩恵を未来に引き継いでいきませんか。

もう一点。社会人らしさを身につけるということは、ある意味では、集団の中で生きる・活きるということです。一部の極めて尖った才能をもつ人たちは、他人と関わらずとも科学、芸術、文化などに貢献することができます。しかし、それは例外で、普通は、他人とかかわり合い、集団の中で仕事を進めていくのが一般的です。とすれば、社会人としての評価基準のひとつは、その人のふるまいや言動が集団に対してどのように作用するか、ということになります。ある人のふるまいや言動は、必ず、その集団に対してポジティブかネガティブのどちらかの方向に作用します。些細なことであっても、影響がまったくないというものは一つもないんです。もちろん、些細なふるまいや言動は、直ちにその作用について判断できるとは限りません。しかし、そのふるまいや言動を誇大化してみると、そして、そのなりゆきや結末を想像してみると、もたらされる作用がポジティブかネガティブか、すぐに判断がつきます。自らの無責任なふるまいや言動が、マイラボの雰囲気にも悪影響を与えているとしたら、さらには、それがいずれは目に見える大きな結果をもたらし、学外の方々の目に触れるようなことがあるとすれば、各自の言動やふるまいが、「他人には関係ない」とはいえないということがわかんと思います。

これを書くと、FIRSTの高い理念とはかけ離れた話になってしまいますが、念のために書きます。言うまでもなく、「明らかにネガティブな言動やふるまい」、は論外です。一例を挙げると、「マイラボのデスクの上にマンガが置いてある」、また、「見学者がいても、マンガを読み続けている」などは論外でしょう。この見学者に、いくら、マイラボは自主的な学修スペースだと言っても、「うまく機能

しておらず遊び場になっている」と思われることは必至です。たとえ、マンガを読んでいるのがその一時の行動であったとしてもです。そして、この見学者から噂が社会に広まれば、それを打ち消して良い評価を獲得しなおすために、どれだけの時間と努力が必要か、想像できるでしょうか。

ここでは、FIRST の特徴的なスペースであるマイラボを例に書きましたが、もちろん、マイラボ以外の場所も同じです。

図書室、カフェテリア、講義室、実験室。人目に触れる可能性がある場所では、みなさんのプライドが試されていると考えてください。

例えばカフェテリア。みなさんが企業の就職担当者だとしたら、昼食のピーク過ぎに訪れた食堂で、学生たちがトランプをしている大学と、パズドラをしている大学と、ノートや参考書を広げて話をしている大学とがあれば、どの大学から採用したいと思いますか？ 昼休みの雰囲気って、大学によってまったく違うんですよ。学生たちが成長していく大学か、あるいは、その逆か、一目瞭然なんです。皆さんでも、すぐにわかると思います。機会があれば他大学を見学してみるといいでしょう。上智大学なんかは、びんと張った澄み切った雰囲気ですよ。FIRST の雰囲気は悪くはありません。生まれ始めている伝統を、より良く引き継いでいていただきたいと思います。

必ず人目に触れる場所、例えば通学路は、学外であっても、さらに大切な場所といえるかもしれません。皆さんは問題ないと思いますが、ポートライナーの中で騒ぐ、大声でお馬鹿な会話をする、スパコン前の歩道にゴミを捨てる、などの行為は、すぐに FIRST の学生だと周辺の方々に知れるものです。ここでも「恥ずかしい」か「誇らしい」かです。皆さんの、自覚に期待します。

そうはいつでも、プライドは横に置いておいてリラックスしたいときもある。その通りだと思います。ポートアイランドキャンパスでは、講義等のないときは202講義室を自由利用教室として開放しています。詳しくは、21ページをご覧ください。

4. 学びの場としての事務室

事務室は、みなさんの学修や大学生活をサポートする部署です。教員のサポートと比較すると、事務室からのそれは、学修については少し間接的で、大学生活に関してはより直接的といえるでしょうか。ただ、みなさんが理解しなくてはいけないことは、事務室のサポートがなくては、学修も大学生活も成り立たないということです。

ところが、皆さんの中には、教員に対する態度とまったく異なる問題ある態度でのぞむ者もいるようです。

なぜでしょうか。サポートするのが仕事で、感謝する必要はないということでしょうか。それなら、教員も授業や学修のサポートをするのが仕事なので同じです。まさか、教員は成績をつけるけど

も、職員は評価をつけないからということなののでしょうか？ もし、職員も評価簿を付けることになれば、きちんとふるまえるのでしょうか？

上記の問題ある態度というのは、具体的には、締め切りを守らない、約束の日時を守らない、迷惑をかけても謝罪の意を示さない、ため口で依頼する、オフィス時間が終了しているのに押し掛ける（ポートアイランドキャンパス事務室はお役所的に時間を区切っているではありません、Close以降にはその時間の仕事があるのです）、などです。

このようないくつかの例を見るだけで、前述の社会人らしさ（= FIRST 生らしさ）に真っ向反対する行動であることが分かります。と同時に、事務室できちんとふるまうことができれば、社会に通用する人間に近づいているということがわかると思います。

つまり、事務室でのふるまいや言動は、社会人らしくなるためのキャリア活動の一環といえるでしょう。就職活動の時期になって、あわてて言葉遣いなどを直そうとしたり、採用担当者とのやり取りのマナーを身に付けようとしても、難しいですよ。それよりも、普段からきちんと FIRST 生らしくふるまえるよう心がけましょう。

職員さんには、学生対応の際には、キャリア教育の一環ということ踏まえて、みなさんのふるまいや言動について指導をしていただけるよう、今後、「学生部委員会」からお願いします。したがって、未だ FIRST 生らしくなっていない学生は、その都度、繰り返し何度も、細やかに指導を受けることになると思います。ぜひ、自分の将来のためにわざわざ時間と割いて心を砕いて指導していただいていることに感謝の意を示して、次回以降に活かしてください。感謝の気持ちを示せない学生には、学生部委員から追って指導があることと思います。

5. さいごに

以上、ポートアイランドキャンパスでの大学生活そのものが、みなさんがよき大学生ひいては社会人として通用する力を身につける、キャリア教育につながっている、という話を書きました。また、その力を身につけるためには、「こうしなさい」「こうしてはいけない」というようなマニュアルベースの考え方ではなく、FIRST 生として他人の目に触れたときに誇らしいと感じられるようなプライドベースの考え方で、自律的にふるまうことが大切だということを書きました。そして、そのようなふるまいや言動は、最も直接的には自分の成長というかたちで、少し間接的には FIRST 生に対する評価を通じて自分たちの就職活動が左右されるというかたちで、さらに間接的には将来の甲南大学および FIRST の評価というかたちで自分たちに跳ね返ってくるということを書きました。

FIRST を巣立った10年後のことを想像してみましょう。

「後輩たちのおかげで FIRST 卒であることを誇りに感じられる。」

「いまの後輩たちのことは、同じ FIRST 卒だとは思いたくない。」

どちらの未来になるのか？ それを決めるのは、みなさん一人一人のほんの少しのプライドの持ち様です。今日より明日、明日よりもあさって。ほんの僅かでも構いません、ミクロスパーテル一杯のプライドを心に盛っていきましょう！

===学生の皆さんへ「授業を受けるにあたって」===

甲南大学FD委員会資料より（一部改訂）

授業は知識を深めるだけでなく、自分でも気づかない新しい自分の興味に出会える貴重な時間です。折角の機会を逃さないよう、充実した90分の授業になるようみんなで協力しましょう。

そのための約束事が「マナー」です。自律的に学ぶ姿勢があればマナーは自然に守られるものです。ですから、マナーの内容を一つひとつ細かに記すことはここでは控えますが、参考のため、皆さんが陥りやすい「マナー違反」についてまとめておきます。甲南生のほとんどはマナーを意識できる紳士・淑女ではありますが、ときどきこの文章を読み返し、自分自身の受講態度を振り返ることによって、さらに充実した90分を過ごせるよう心がけてください。

私語について

1. 私語は周りの学生達の迷惑になります。

私語は当人たちが思っている以上に大きな音として周りに聞こえています。周囲の人たちには、講義内容が聞き取りにくい、講義に集中しにくいなどのかたちで、迷惑が掛かっているのです。また、授業内容の分からないところ、聞き取れなかったところ、出された課題の内容などを周囲に質問する人がいますが、そのあいだ、話しかけられている人は授業を聴いたり集中して物事を考えたりすることができません。私語の内容が授業に関することであってもなくても、周りの迷惑になるということを肝に銘じてください。

2. 私語は教員の迷惑になります。

教員は皆さんの反応を見ながら授業を進めています。話題が皆さんの興味を引いているか、内容が理解されているか、などを感じ取ろうとしながら話をしているのです。私語は、教員がそういった反応を読み取る上で大変な“雑音”となります。ひどい場合には、授業の進行に支障をきたしかねません。私語を止めるように注意することもあります。それによってさらに授業の流れが中断されてしまいます。つまり、私語は授業の質を下げることにもつながりかねないのです。そうなっては、真剣に授業を受けている周りの人にとっても大変な損失です。

3. 私語は自分にとってもマイナスです。

前述のように、私語はまわりの迷惑になりますが、一番損をしているのは学ぶ機会を放棄してしまっている自分自身だと言えるでしょう。では、どうして私語をしてしまうのでしょうか。「授業がおもしろくないから」という人がいます。しかし、大学での学問には、話を少し聞いただけでは、すぐにはおもしろさは分からない、というものたくさんあります。おもしろく感じられないからといって、私語をしては、ますます学問のおもしろさを発見する機会を遠ざけるだけで、何の解決にもならないことは皆さんもお分かりのことと思います。内容を本当に理解し、考え、おもしろさを感じるためには、はじめから終わりまで授業をじっくり聴くことは大前提です。

4. 正しい学ぶ姿勢からは私語は生まれない。

授業を一生懸命に聴こうと思っているのだけれど、気がつくと隣の友人と話をしてしまっている…。なかにはそんな人もいるのではないのでしょうか。そういう人は、一生懸命に聴こうという「きもち」だけでなく、自然と聴けてしまう「かたち」も身につけてみてはいかがでしょう。「常に話し手の方を見て」「聴き取ったことをメモに取る」姿勢で授業に望めば、ぐんと授業に集中することができ、うっかり私語をしてしまうこともなくなるのではないのでしょうか。

遅刻について

授業が始まる時間になって（ひどいときには過ぎてから）パラパラと学生達が教室に入ってくる…。そのような光景が珍しくありません。しかし、授業開始時刻は、文字通り授業を開始する時刻ですから、その時刻を目指して教室に入ってくるというのではいけません。授業開始時刻には、席について授業を受ける準備を整えておきましょう。

5分や10分くらい遅刻したところで90分授業のうちのほんの1割程度にしか過ぎない。大きな問題ではない…と考えている人もいるかもしれません。しかし、そうではありません。授業の冒頭では、その日の講義内容の概要、要点、意義、背景（前回の授業とのつながりなど）などが話される場合が多く、それらを聞き逃すと、授業内容を理解するのが本当に困難になります。教員は、「遅刻して冒頭の話聞いてなかった学生に、この話は理解できないだろうな…」と残念に思いながら授業を進めることも少なくありません。授業は最初が肝心なのです。遅刻しないようにしましょう。

ときには、やむを得ない理由で遅刻することもあるかもしれません。そのような場合には、できるだけみんなの迷惑にならないように静かに教室に入りましょう。教卓の前を堂々と横切っていくなどは論外です。

欠席について

通常の授業では欠席の連絡をする必要はありませんが、ゼミなどの少人数科目や、演習などで自分の発表がある場合などは、事前に欠席する旨を連絡するのが礼儀です。欠席の連絡は、担当教員に直接とってください。

教室の出入りについて

授業中、何人かの学生が教室から出たり、教室に戻ったりする姿を見かけることがあります。「気分が悪い」「トイレに行きたい」「何となく外の空気が吸いたい」……理由は人それぞれでしょうが、教室内を人が立ち歩いているというのは、教員にとっては大変気になります。また、教室の雰囲気乱します。それに何より本質的なことは、外に出ている間、その人は授業を聞き逃してしまい、すぐにはその内容を取り戻すことはできないということです。ですから、どんな理由であれ（たとえみなさんが正当だと思ふような理由であっても）授業中は外に出るべきではないのです。

もちろん外に出るのを止めることは誰にもできません。病気やトイレなどやむを得ない場合もあるでしょう。しかし、問題は「外に出てもよい」とか「外に出てはだめ」とかいうことではなくて、外に出れば「自分が損をする」ということなのです。ですから、「損をしないよう」「席を外さなくてもよいよう」に、授業に望む準備をできるだけ万全にしてください。

飲食について

ものを食べたり、ガムをかんでいたり、というのが授業を受けるのにふさわしい姿勢だと考える人はほとんどいないでしょう。もしいるのであれば、考えを改め、今後そういう行動は慎んでください。

飲み物については、いろいろな考え方がありそうです。机の上に飲み物を置いているのは失礼にあたる、必要であれば授業前に飲んでおけばよいのであって授業中に飲む必要はない、という考えもあるでしょう。一方、のどの渇きをいやすことで集中して講義が聴けるようになるのであれば飲んでも差し支えない、という考えもあるでしょう。担当教員の考え方の違いだけでなく、授業形態によっても事情が異なってくるでしょう。飲み物については、それぞれの授業の方針を確かめてください。

ただし、言うまでもありませんが、たとえ飲み物が許されている授業であっても、空き容器などは各自で責任をもって廃棄してください。机の上に、ペットボトルやビニール袋が放置されているのは、マナー以前の問題です。

帽子

教室内では帽子は取るというのが一般的にマナーとされています。できるだけ取るようにしましょう。事情により取りたくないという人は、(差し支えない範囲で結構ですから)担当教員に相談すれば理解が得られることと思います。授業毎に教員に説明するのは避けたいという人は、学生相談室でも対応の相談に乗ってもらえます。

V. 時間割

2014年度以降入学生用

【時間割表についての注意事項】

授業コードは、授業個別のコードです。履修登録に必要な場合があります。
 授業科目名の後ろについている(前)、(後)、(前期)、(後期)、(何もついていない)は、通年科目を表しています。(別紙授業科目一覧表に曜日・時間を表記)
 配当年次は、履修できる学年を表し、自分の年次以下の科目を履修できます。
 表中の◆は、受講するクラスが指定されており、あらかじめ自動的に履修登録されている科目を、★は、週に2回以上講義がある科目を表しています。
 クォーター科目は、A期(4月～5月)・B期(6月～7月)・C期(9月～11月)・D期(11月～1月)に分かれており、授業科目名には、(A期)・(B期)・(C期)・(D期)と記載されています。
 集中講義の日程は、別途「My KONAN」や掲示板でお知らせします。

【授業時間帯】

1時限目: 9:00～10:30
 2時限目: 10:40～12:10
 3時限目: 13:00～14:30
 4時限目: 14:40～16:10
 5時限目: 16:20～17:50

	1限 (9:00～10:30)				2限 (10:40～12:10)				3限 (13:00～14:30)				4限 (14:40～16:10)				5限 (16:20～17:50)					
	授業コード	授業科目名	配当年次	担当者	授業コード	授業科目名	配当年次	担当者	授業コード	授業科目名	配当年次	担当者	授業コード	授業科目名	配当年次	担当者	授業コード	授業科目名	配当年次	担当者		
月	9104300	★ 構造有機化学(C期)(後)	1	甲元一也	210	9101100	英語及び演習	1	泉田英智	210	9100200	科学英語コミュニケーション(前)	1	西方敬人	210	5500191	ベーシックキャリアデザイン(FIRST)(前)	1	中野修一、武田佳久	210		
	9104400	★ 有機電子論(D期)(後)	1	村嶋貴之	210	9103900	★ 生命物理化学(A期)(前)	2	中野修一	201	9101200	日本語表現及び演習(後)	1	安井寿枝								
	9104500	★ 有機反応各論(A期)(前)	2	松井 淳	201	9104000	★ バイオ計測工学(B期)(前)	2	中野修一	201	9100300	科学英語コミュニケーション2(前)	2	中野修一	201	9100500	科学英語コミュニケーション4(前)	4	川上純司、西方敬人	201		
	9104600	★ 有機化学と分光法(B期)(前)	2	藤井敏司	201	9105700	企業戦略・テクノロジー概論(後)	2	宇野兵衛	201	9100700	プレゼンテーション演習2(後)	2	甲元一也、臼井健二	601							
	9103600	★ 生物無機化学(C期)(後)	2	藤井敏司	201	9104900	★ ケミカルバイオロジー(B期)(前)	3	三好大輔	202	9100400	科学英語コミュニケーション(前)	3	赤松謙祐	202							
	9102800	★ 細胞工学(D期)(後)	2	西方敬人	201	9106300	国際産学コーディネーター(後)	3	Manoj L. SHRESTHA	202	9100800	プレゼンテーション演習3(後)	3	藤井敏司、川内敬子	602							
	9103400	★ 電気化学(A期)(前)	3	赤松謙祐	202																	
	9103000	★ 発生学(B期)(前)	3	西方敬人	202																	
火	9103100	★ 無機化学(C期)(後)	1	藤井敏司	210	9102500	★ 分子生物学(C期)(後)	1	川内敬子	210	9101800	ナノバイオラボラトリーA(前)	1	甲元一也、村嶋貴之								
	9102200	★ 量子物理化学(D期)(後)	1	鶴岡孝章	210	9102600	★ 遺伝子工学・バイオテクノロジー(D期)(後)	1	川上純司	210											204	
	9103300	★ 固体光化学(A期)(前)	2	鶴岡孝章	201	9102700	★ 生命機能科学(A期)(前)	2	長濱宏治	201											205	
	9103500	★ ナノテクノロジー(B期)(前)	2	高嶋洋平	201	9102900	★ 薬理学(B期)(前)	2	川上純司	201												206
	9104100	★ 高分子化学(C期)(後)	2	長濱宏治	201	9105900	バイオ・食品関連研究開発論(後)	2	岡 茂樹	201	9101900	ナノバイオラボラトリーB(後)	1	西方敬人、川上純司								
	9104700	★ 生物有機化学(D期)(後)	2	甲元一也	201	9106900	科学と歴史・文学(前)	3	大津真作	202												
	9104200	★ 生体分子工学(A期)(前)	3	三好大輔	202	9106100	知財マネジメント(後)	3	藤田典彦	202												
	9104800	★ 有機合成化学(B期)(前)	3	村嶋貴之	202																	
水	9101600	ナノバイオサイエンス序論(前)	1	三好大輔	210	9101700	ケミカルサイエンス序論(前)	1	村嶋貴之	210	9102000	★ ナノバイオラボラトリーA(前)	2	川上純司、村嶋貴之								
	9103700	★ 生化学(C期)(後)	1	臼井健二	210	9104300	★ 構造有機化学(C期)(後)	1	甲元一也	210												
	9103800	★ 生命分析化学(D期)(後)	1	松井 淳、藤井敏司	210	9104400	★ 有機電子論(D期)(後)	1	村嶋貴之	210												
	9103900	★ 生命物理化学(A期)(前)	2	中野修一	201	9104500	★ 有機反応各論(A期)(前)	2	松井 淳	201												
	9104000	★ バイオ計測工学(B期)(前)	2	中野修一	201	9104600	★ 有機化学と分光法(B期)(前)	2	藤井敏司	201	9102100	★ ナノバイオラボラトリーB(後)	2	赤松謙祐、西方敬人								
	9105000	★ バイオセンシングと環境(C期)(後)	2	松井 淳	201	9103600	★ 生物無機化学(C期)(後)	2	藤井敏司	201												
	9105100	★ アドバンスドマテリアル(D期)(後)	2	鶴岡孝章、林 高史	201	9102800	★ 細胞工学(D期)(後)	2	西方敬人	201												
	9105500	★ 創薬テクノロジー(A期)(前)	3	川上純司、二木史朗	202	9103400	★ 電気化学(A期)(前)	3	赤松謙祐	202												
	9106200	シーズ・ニーズマッチング(後)	3	萩野千秋	202	9103000	★ 発生学(B期)(前)	3	西方敬人	202	9102200	★ ナノバイオラボラトリーA(前)	3	川上純司、西方敬人								
木	9101400	バイオサイエンス序論(前)	1	西方敬人	210	9101500	ナノサイエンス序論(前)	1	赤松謙祐	210	9100100	フロントランナー講座(後)	1	西方敬人、宇野兵衛	210							
	9102500	★ 分子生物学(C期)(後)	1	川内敬子	210	9103100	★ 無機化学(C期)(後)	1	藤井敏司	210												
	9102600	★ 遺伝子工学・バイオテクノロジー(D期)(後)	1	川上純司	210	9103200	★ 量子物理化学(D期)(後)	1	鶴岡孝章	210												
	9102700	★ 生命機能科学(A期)(前)	2	長濱宏治	201	9103300	★ 固体光化学(A期)(前)	2	鶴岡孝章	201												
	9102900	★ 薬理学(B期)(前)	2	川上純司	201	9103500	★ ナノテクノロジー(B期)(前)	2	高嶋洋平	201	9102000	★ ナノバイオラボラトリーA(前)	2	川上純司、村嶋貴之								
						9104100	★ 高分子化学(C期)(後)	2	長濱宏治	201												
						9104700	★ 生物有機化学(D期)(後)	2	甲元一也	201												
						9104200	★ 生体分子工学(A期)(前)	3	三好大輔	202	9102100	★ ナノバイオラボラトリーB(後)	2	赤松謙祐、西方敬人								
						9104800	★ 有機合成化学(B期)(前)	3	村嶋貴之	202												
						9105400	医療テクノロジー(後)	3	甲元一也、深瀬浩一	202												
金	F100901	◆ 基礎体育学演習(FIRST)(後)	1	吉本忠弘						F100901	◆ 基礎体育学演習(FIRST)(前)	1	吉本忠弘									
	9101000	数学及び演習(前)	1	臼井健二、川上純司						9100600	プレゼンテーション演習1(後)	1	松井 淳	210	9103700	★ 生化学(C期)(後)	1	臼井健二	210			
	9105300	★ メディカルサイエンス概論(A期)(前)集中	2	藤井敏司、三宅正人	201	9106600	科学と情報技術(前)	2	村井 均	201	9105600	メディカルバイオテクノロジー(後)	2	長濱宏治、水谷健一	201	9103800	★ 生命分析化学(D期)(後)	1	松井 淳、藤井敏司	210		
	9105000	★ バイオセンシングと環境(C期)(後)	2	松井 淳	201	9105100	★ アドバンスドマテリアル(D期)(後)	2	鶴岡孝章、林 高史	201												
						9104900	★ ケミカルバイオロジー(B期)(前)	3	三好大輔	202												
						9101300	安全倫理工学(後)	3	内藤正巳	202												

集中講義

授業コード	授業科目名	配当年次	担当者
9105300	★ メディカルサイエンス概論(A期(前)・集中)	2	藤井敏司、三宅正人
9106700	科学とエネルギー・環境	2	川嶋文人
9106800	科学と芸術・哲学	2	越智裕二郎
9105200	先端情報テクノロジー	3	長門石暁
9105500	★ 創薬テクノロジー(A期(前)・集中)	3	川上純司、二木史朗
9105800	医療関連研究開発論	3	三好大輔、舘二都夫
9106000	ナノ・材料関連研究開発論	3	塚田 裕
9107000	科学と産業政策	3	松井 淳、川上純司
			竜島 靖
9106400	インターンシップ(2014年度以降入学生用)	2	中野修一
9102400	★ ナノバイオ卒業研究	4	川上純司、西方敬人 村嶋貴之、松井 淳 藤井敏司、赤松謙祐 中野修一、三好大輔 甲元一也、長濱宏治 臼井健二、鶴岡孝章 川内敬子、高嶋洋平

※2014年度(平成26年度)以降、2013年度(平成25年)入学生のみ履修できる集中講義

授業コード	授業科目名	配当年次	担当者
Q300100	エリアスタディーズⅠ(集中)	1	小西幸男
Q300200	エリアスタディーズⅡ(集中)	1	西川耕平
Q300300	エリアスタディーズⅢ(2クラス)(集中)	1	小西幸男
Q300500	エリアスタディーズⅤ(集中)	1	三好大輔、川内敬子

2013年度以前入学生用

【時間割表についての注意事項】

授業コードは、授業個別のコードです。履修登録に必要な場合があります。
 授業科目名の後ろについている(前)、(後)、(後)、(後)、(後)は、通年科目を表しています。(別紙授業科目一覧表に曜日・時限を表記)
 配当年次は、履修できる学年を表し、自分の年次以下の科目を履修できます。
 表中の◆は、受講するクラスが指定されており、あらかじめ自動的に履修登録されている科目を、★は、週に2回以上講義がある科目を表しています。
 クォーター科目は、A期(4月～5月)・B期(6月～7月)・C期(9月～11月)・D期(11月～1月)に分かれており、授業科目名には、(A期)・(B期)・(C期)・(D期)と記載されています。
 集中講義の日程は、別途「My KONAN」や掲示板でお知らせします。

【授業時間帯】

1時限目: 9:00～10:30
 2時限目: 10:40～12:10
 3時限目: 13:00～14:30
 4時限目: 14:40～16:10
 5時限目: 16:20～17:50

	1限 (9:00～10:30)				2限 (10:40～12:10)				3限 (13:00～14:30)				4限 (14:40～16:10)				5限 (16:20～17:50)					
	授業コード	授業科目名	配当年次	担当者	授業コード	授業科目名	配当年次	担当者	授業コード	授業科目名	配当年次	担当者	授業コード	授業科目名	配当年次	担当者	授業コード	授業科目名	配当年次	担当者		
月	9104500	★有機反応各論(A期)(前)	1	松井 淳	201	9101100	英語及び演習	1	泉田英智	210	9100200	科学英語コミュニケーション(前)	1	西方敬人	210	5500191	ベーシックキャリアデザイン(FIRST)(前)	1	中野修一、武田佳久	210		
	9104600	★有機化学と分光法(B期)(前)	1	藤井敏司	201	9103900	★生命物理化学(A期)(前)	1	中野修一	201	9101200	日本語表現及び演習(後)	1	安井寿枝	210							
	9104300	★構造有機化学(C期)(後)	1	甲元一也	210	9104000	★バイオ計測工学(B期)(前)	2	中野修一	201	9100300	科学英語コミュニケーション2(前)	2	中野修一	201	9100500	科学英語コミュニケーション4(前)	4	川上純司、西方敬人	201		
	9104400	★有機電子論(D期)(後)	1	村嶋貴之	210	9105700	企業戦略・テクノロジー概論(後)	2	中野修一	201	9100700	プレゼンテーション演習2(後)	2	甲元一也、臼井健二	601							
	9103400	★電気化学(A期)(前)	2	赤松謙祐	202	9104900	★ケミカルバイオロジー(B期)(前)	3	三好大輔	202	9100400	科学英語コミュニケーション3(前)	3	赤松謙祐	202							
	9103000	★発生物学(B期)(前)	2	西方敬人	202	9106300	国際産学コーディネーター(後)	3	Mansi L. SHRESTHA	202	9100800	プレゼンテーション演習3(後)	3	藤井敏司、川内敬子	602							
	9103600	★生物無機化学(C期)(後)	2	藤井敏司	201																	
	9102800	★細胞工学(D期)(後)	2	西方敬人	201													9100900	プレゼンテーション演習4(後)	4	川上純司、西方敬人	
火	9103100	★無機化学(C期)(後)	1	藤井敏司	210	9102500	★分子生物学(C期)(後)	1	川内敬子	210	9101800	ナノバイオラボラトリーA(前)	1	甲元一也、村嶋貴之								
	9104100	★バイオ高分子化学(C期)(後)	1	長濱宏治	201	9102900	★薬理学(B期)(前)	2	川上純司	201												
	9102200	★量子物理化学(D期)(後)	1	鶴岡孝章	210	9102600	★遺伝子工学・バイオテクノロジー(D期)(後)	2	川上純司	210												
	9103300	★半導体・デバイス科学(A期)(前)	2	鶴岡孝章	201	9105900	★バイオ・食品関連研究開発論(後)	2	岡 茂樹	201												
	9103500	★ナノテクノロジー(B期)(前)	2	高嶋洋平	201	9102700	★生命化学2(A期)(前)	3	長濱宏治	201	9101900	ナノバイオラボラトリーB(後)	1	西方敬人、川上純司								
	9104800	★有機合成化学(B期)(前)	2	村嶋貴之	202	9106900	★科学と歴史・文学(前)	3	大津真作	202												
	9104700	★生物有機化学(D期)(後)	2	甲元一也	201	9106100	★知財マネジメント(後)	3	藤田典彦	202												
	9104200	★生命化学1(A期)(前)	3	三好大輔	202																	
水	9101600	ナノバイオサイエンス序論(前)	1	三好大輔	210	9101700	ケミカルサイエンス序論(前)	1	村嶋貴之	210	9102000	★ナノバイオラボラトリーA(前)	2	川上純司、村嶋貴之								
	9103900	★生命物理化学(A期)(前)	1	中野修一	201	9104500	★有機反応各論(A期)(前)	1	松井 淳	201												
	9103700	★生化学(C期)(後)	1	臼井健二	210	9104600	★有機化学と分光法(B期)(前)	1	藤井敏司	201												
	9104000	★バイオ計測工学(B期)(前)	2	中野修一	201	9104300	★構造有機化学(C期)(後)	1	甲元一也	210												
	9105000	★バイオセンシングと環境(C期)(後)	2	松井 淳	201	9104400	★有機電子論(D期)(後)	1	村嶋貴之	210	9102100	★ナノバイオラボラトリーB(後)	2	赤松謙祐、西方敬人								
	9103800	★生命分析化学(D期)(後)	2	松井 淳、藤井敏司	201	9103400	★電気化学(A期)(前)	2	赤松謙祐	202												
	9105100	★アドバンスマテリアル(D期)(後)	2	鶴岡孝章、林 高史	201	9103000	★発生物学(B期)(前)	2	西方敬人	202												
	9105500	★創薬テクノロジー(A期)(前)・集中)	3	川上純司、二本史朗	202	9103600	★生物無機化学(C期)(後)	2	藤井敏司	201												
	9106200	★シーズ・ニーズマッチング(後)	3	萩野千秋	202	9102800	★細胞工学(D期)(後)	2	西方敬人	201	9102200	★ナノバイオラボラトリーA(前)	3	川上純司、西方敬人								
木	9101400	バイオサイエンス序論(前)	1	西方敬人	210	9101500	ナノサイエンス序論(前)	1	赤松謙祐	210	9100100	フロントランナー講座(後)	1	西方敬人、宇野兵衛	210							
	9102500	★分子生物学(C期)(後)	1	川内敬子	210	9103100	★無機化学(C期)(後)	1	藤井敏司	210												
	9102900	★薬理学(B期)(前)	2	川上純司	201	9104100	★バイオ高分子化学(C期)(後)	1	長濱宏治	201												
	9102600	★遺伝子工学・バイオテクノロジー(D期)(後)	2	川上純司	210	9103200	★量子物理化学(D期)(後)	1	鶴岡孝章	210												
	9102700	★生命化学2(A期)(前)	3	長濱宏治	201	9103300	★半導体・デバイス科学(A期)(前)	2	鶴岡孝章	201	9102000	★ナノバイオラボラトリーA(前)	2	川上純司、村嶋貴之								
						9103500	★ナノテクノロジー(B期)(前)	2	高嶋洋平	201												
						9104800	★有機合成化学(B期)(前)	2	村嶋貴之	202												
						9104700	★生物有機化学(D期)(後)	2	甲元一也	201												
						9104200	★生体分子工学(A期)(前)	3	三好大輔	202	9102100	★ナノバイオラボラトリーB(後)	2	赤松謙祐、西方敬人								
						9105400	★医療テクノロジー(後)	3	甲元一也、深瀬浩一	202												
金	F100901	◆基礎体育学演習(FIRST)(後)	1	吉本忠弘						F100901	◆基礎体育学演習(FIRST)(前)	1	吉本忠弘									
	9101000	★数学及び演習(前)	1	臼井健二、川上純司						9100600	★プレゼンテーション演習1(後)	1	松井 淳	210	9103700	★生化学(C期)(後)	1	臼井健二	210			
	9105300	★メカニカルサイエンス概論(A期)(前)集中)	2	藤井敏司、三宅正人	201	9106600	★科学と情報技術(前)	2	村井 均	201	9105600	★メカニカルバイオテクノロジー(後)	2	長濱宏治、水谷健一	201	9103800	★生命分析化学(D期)(後)	2	松井 淳、藤井敏司	210		
	9105000	★バイオセンシングと環境(C期)(後)	2	松井 淳	201	9105100	★アドバンスマテリアル(D期)(後)	2	鶴岡孝章、林 高史	201												
						9104900	★ケミカルバイオロジー(B期)(前)	3	三好大輔	202												
					9101300	★安全倫理工学(後)	3	内藤正巳	202													

集中講義

授業コード	授業科目名	配当年次	担当者
9105300	★メカニカルサイエンス概論(A期(前)・集中)	2	藤井敏司、三宅正人
9106700	★科学とエネルギー・環境	2	川嶋文人
9106800	★科学と芸術・哲学	2	越智裕二郎
9105200	★先端情報テクノロジー	3	長門石曉
9105500	★創薬テクノロジー(A期(前)・集中)	3	川上純司、二本史朗
9105800	★医療関連研究開発論	3	三好大輔、舘二都夫
9106000	★ナノ・材料関連研究開発論	3	塚田 裕
9107000	★科学と産業政策	3	松井 淳、川上純司
			竜島 靖
9106400	★インターンシップ(2013年度以前入学生用)	3	中野修一
9102400	★ナノバイオ卒業研究	4	川上純司、西方敬人
			村嶋貴之、松井 淳
			藤井敏司、赤松謙祐
			中野修一、三好大輔
			甲元一也、長濱宏治
			臼井健二、鶴岡孝章
			川内敬子、高嶋洋平

※2014年度(平成26年度)以降、2013年度(平成25年)入学生のみ履修できる集中講義

授業コード	授業科目名	配当年次	担当者
Q300100	★エリスタディーズⅠ(集中)	1	小西幸男
Q300200	★エリスタディーズⅡ(集中)	1	西川耕平
Q300300	★エリスタディーズⅢ(2クラス)(集中)	1	小西幸男
Q300500	★エリスタディーズⅤ(集中)	1	三好大輔、川内敬子

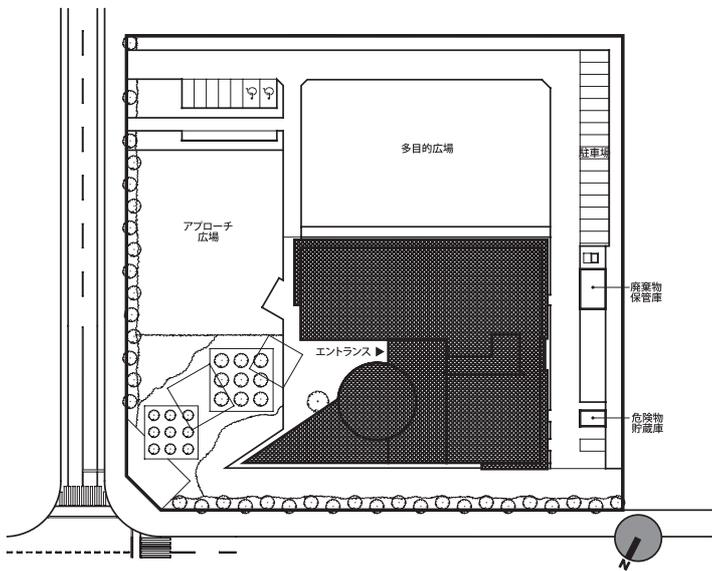
授業科目一覧表【(★) 週に2回以上講義がある科目 (集中講義を含む)】

授業コード	授業科目名	曜日一時限		
9102000	ナノバイオラボ1A (前)	水-3・4・5	木-3・4・5	
9102100	ナノバイオラボ1B (後)	水-3・4・5	木-3・4・5	
9102200	ナノバイオラボ2A (前)	火-3・4・5	水-3・4・5	木-3・4・5
9102300	ナノバイオラボ2B (後)	火-3・4・5	水-3・4・5	木-3・4・5
9102500	分子生物学 (C期) (後)	火-2	木-1	
9102600	遺伝子工学・バイオテクノロジー(D期)(後)	火-2	木-1	
9103700	生化学 (C期) (後)	水-1	金-4	
9102800	細胞工学 (D期) (後)	月-1	水-2	
9102900	薬理学 (B期) (前)	火-2	木-1	
9103000	発生学 (B期) (前)	月-1	水-2	
9103400	電気化学 (A期) (前)	月-1	水-2	
9103300	固体光化学(半導体・デバイス科学)(A期)(前)	火-1	木-2	
9103100	無機化学 (C期) (後)	火-1	木-2	
9103200	量子物理化学 (D期) (後)	火-1	木-2	
9103500	ナノテクノロジー (B期) (前)	火-1	木-2	
9103600	生物無機化学 (C期) (後)	月-1	水-2	
9103900	生命物理化学 (A期) (前)	月-2	水-1	
9104100	高分子化学(バイオ高分子化学)(C期)(後)	火-1	木-2	
9104000	バイオ計測工学 (B期) (前)	月-2	水-1	
9103800	生命分析化学 (D期) (後)	水-1	金-4	
9104200	生体分子工学 (生命化学1) (A期) (前)	火-1	木-2	
9102700	生命機能科学 (生命化学2) (A期) (前)	火-2	木-1	
9104400	有機電子論 (D期) (後)	月-1	水-2	
9104500	有機反応各論 (A期) (前)	月-1	水-2	
9104300	構造有機化学 (C期) (後)	月-1	水-2	
9104600	有機化学と分光法 (B期) (前)	月-1	水-2	
9104700	生物有機化学 (D期) (後)	火-1	木-2	
9104800	有機合成化学 (B期) (前)	火-1	木-2	
9104900	ケミカルバイオロジー (B期) (前)	月-2	金-2	
9105000	バイオセンシングと環境 (C期) (後)	水-1	金-1	
9105100	アドバンストマテリアル (D期) (後)	水-1	金-2	
9105300	メディカルサイエンス概論(A期(前)・集中)	金-1	集中	
9105500	創薬テクノロジー (A期(前)・集中)	水-1	集中	

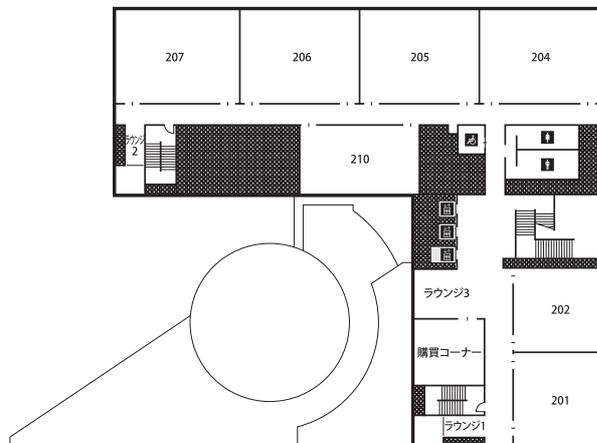
※配当年次また科目名称は入学年度によって異なりますので、33ページの専門教育科目表を確認してください。

VI. ポートアイランドキャンパス
F-1号館フロアマップ
岡本キャンパスマップ

ポートアイランドキャンパス



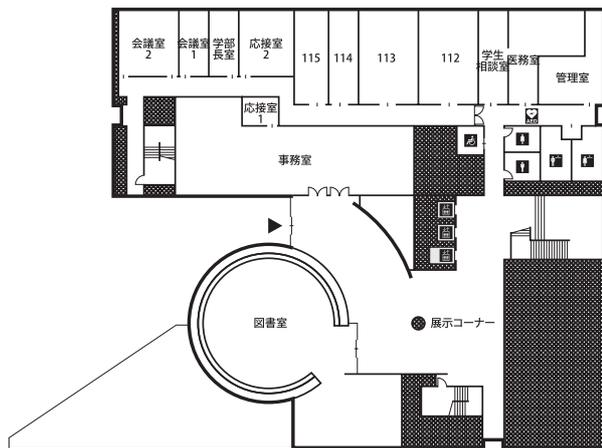
SITE



- 201・202 講義室
- 204-206 高大連携実験室
- 207 共通測定室
- 210 講義室

購買コーナー
ラウンジ 1・2・3

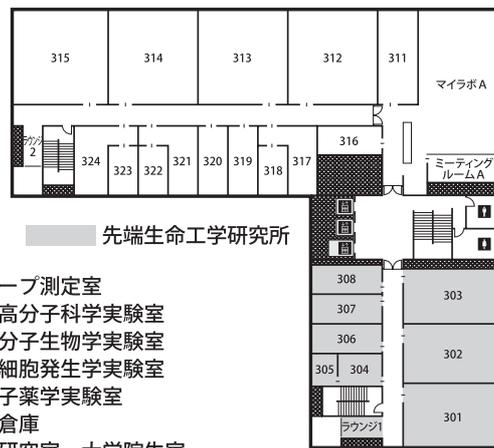
2F



- 図書室
- 学部長室
- 事務室
- 会議室 1・2
- 応接室 1・2

- 医務室
- 学生相談室
- 管理室
- 112-115 共通測定室

1F



- 311 グループ測定室
- 312 生命高分子科学実験室
- 313 腫瘍分子生物学実験室
- 314 分子細胞発生学実験室
- 315 遺伝子薬学実験室
- 316 試薬倉庫
- 317-318 長濱研究室・大学院生室
- 319-320 川内研究室・大学院生室
- 321-322 西方研究室・大学院生室
- 323-324 川上研究室・大学院生室
- マイラボ A
- ミーティングルーム A
- ラウンジ 2

- 301-303 FIBER 実験室
- 304-305 動物実験室
- 306 P2 実験室
- 307 遠藤研究室
- 308 恒温実験室
- ラウンジ 1

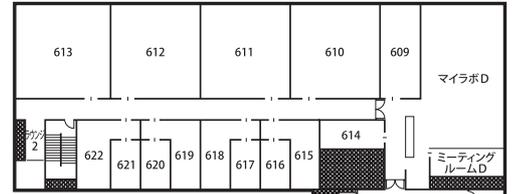
3F



先端生命工学研究所

- 410 グループ測定室
- 411 生命分子化学実験室
- 412 バイオ計測化学実験室
- 413 分子設計化学実験室
- 414 バイオ分子機能実験室
- 415 試薬倉庫
- 416-417 杉本研究室・大学院生室
- 418-419 臼井研究室・大学院生室
- 420-421 三好研究室・大学院生室
- 422-423 中野研究室・大学院生室
- マイラボB
- ミーティングルームB
- ラウンジ2
- 407 低温実験室
- 403 FIBER 実験室
- 402 FIBER 所長室
- 401 応接室
- 400 ラウンジ1

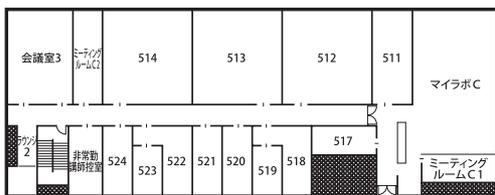
4F



先端生命工学研究所

- 609 グループ測定室
- 610 生物有機化学実験室
- 611 生物無機化学実験室
- 612 有機合成化学実験室
- 613 機能性高分子実験室
- 614 試薬倉庫
- 615-616 甲元研究室・大学院生室
- 617-618 藤井研究室・大学院生室
- 619-620 村嶋研究室・大学院生室
- 621-622 松井研究室・大学院生室
- マイラボD
- ミーティングルームD
- ラウンジ2
- 606 講義室
- 605 特別研究員室
- 604 特別研究員室
- 603 特別研究員室
- 602 特別研究員室
- 601 特別研究員室
- 600 ラウンジ1

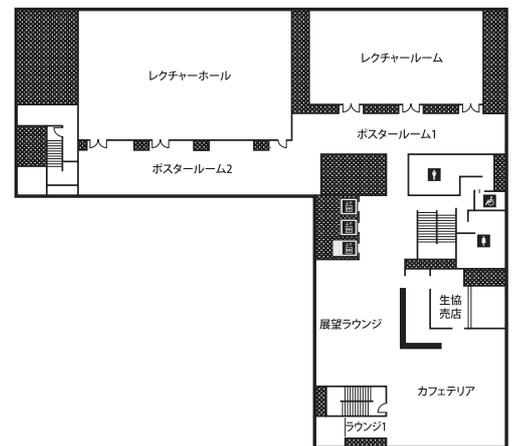
6F



先端生命工学研究所

- 511 グループ測定室
- 512 ナノ材料化学実験室
- 513 機能システム化学実験室
- 514 無機光化学実験室
- 517 試薬倉庫
- 518-519 高嶋研究室・大学院生室
- 520-521 赤松研究室・大学院生室
- 522-523 鶴岡研究室・大学院生室
- 524 研究室
- 非常勤講師控室
- マイラボC
- ミーティングルームC1・C2
- 会議室3
- ラウンジ2
- 508 FIBER 実験室
- 507 特別研究員実験室
- 506 特別研究室
- 505 特別研究室
- 504 特別研究室
- 503 特別研究室
- 502 特別研究室
- 501 特別研究室
- 500 ラウンジ1

5F

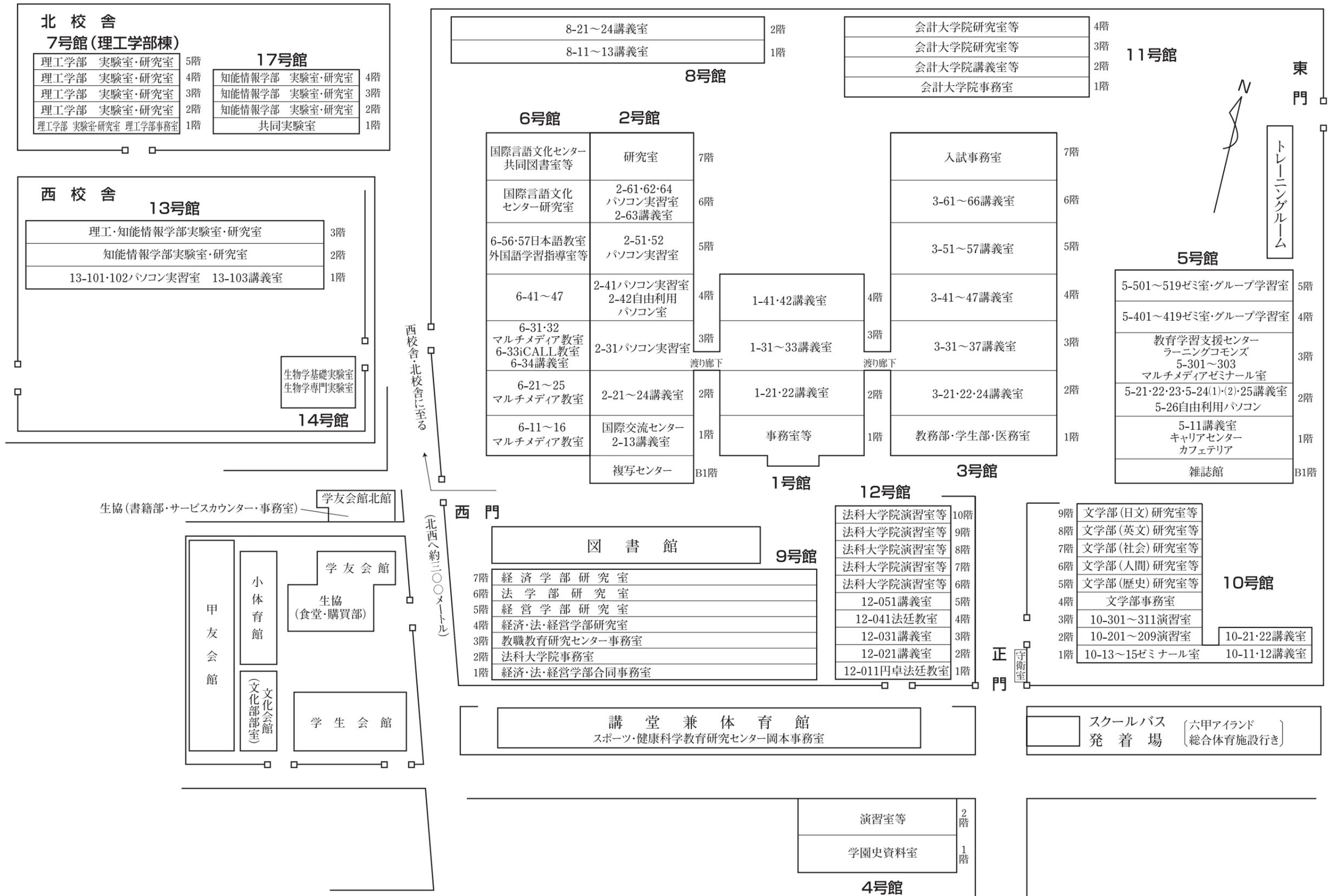


- レクチャーホール
- レクチャールーム
- ポスタールーム1・2

- カフェテリア
- 展望ラウンジ
- 生協売店

7F

岡本キャンパス



VII. 関連諸規程

学修に関する取扱い

平成27年3月26日 合同教授会改正

(授業科目の履修)

- 1 学生は、毎学期初めの指定された日に、履修する授業科目を登録し承認を得なければならない。指定日以後の変更は、これを認めない。
- 2 履修登録をしていない授業科目については、試験を受けることができない。試験を受けた場合でも単位を与えない。
- 3 同一授業科目を再履修することはできない。ただし、不合格となった授業科目は、履修登録すれば再履修することができる。

(学内試験及び成績)

- 4 学内試験を定期試験、臨時試験及び追試験に分ける。
- 5 定期試験とは、学期末又は学年末に行う試験をいう。
- 6 臨時試験とは、集中講義等による授業科目で、定期試験以外の時期に行う試験をいう。
- 7 追試験とは、定期及び臨時試験を受けることができなかった者で、次の各号のいずれかに該当する場合に願い出た者について行う試験をいう。なお、追試験は、各科目の試験終了後、定められた期間内に実施するものとする。
 - (1) 病気の場合（診断書又はそれに相当する証明書等添付）
 - (2) 配偶者及び2親等以内の親族死亡の場合（3日間とするが、遠隔地で死亡の場合は認められた期間）
 - (3) 就職試験の場合（キャリアセンター所長の証明書添付）
 - (4) 悪天候やストライキ等により、公共交通機関が不通あるいは大幅な延着の場合（延着証明書等添付）
 - (5) 大学院受験の場合（募集要項及び受験票を呈示）
 - (6) 不慮の事故又は災害による場合（証明書添付）
 - (7) 教育実習の場合（教職教育センター所長の証明書添付）
 - (8) オリンピック及びこれに準ずると認められる国際競技に、選手として出場した場合（証明書添付）
 - (9) その他正当な事由（証明書又は理由書添付）によって受験できなかったと教務部長が所属学部長と協議の上認めた場合
- 7の2 前項の追試験の希望者は、受験できなかった授業科目の試験日を含めて3日以内（第7条第4号の大幅な延着に該当する場合は、当日内）に手数料1科目につき1,000円を添えて教務部（西宮・ポートアイランドキャンパスは各事務室）に願い出なければならない。なお、受験できなかった授業科目の試験日を含めて3日以内に願い出ができない場合は、当該期間内に教務部（西宮・ポートアイランドキャンパスは各事務室）に申し出ること。
- 8 学費未納者は、学内試験を受けることができない。
- 9 学内試験において、不正行為のあった者は、別に定める「学内試験（定期試験、臨時試験及び追試験）における不正行為に対する処置」を適用する。

- 10 学内試験に際しては「学内試験（定期試験、臨時試験及び追試験）の受験に関する注意事項」を守らなければならない。
- 11 履修を承認された授業科目の成績の評価は、次のとおりとする。
- 合格 秀 (AA) 優 (A) 良 (B) 可 (C)
- 不合格 不可 (D) 欠席 (K)
- 12 各授業科目につき一度修得した単位（成績）を取り消すことはできない。
- 13 成績の発表は、定期試験については前期分を9月に（通年の授業科目を除く。）、後期又は学年末分を3月に学修簿及び学生ポータルサイトによって行う。
- 14 成績についての問い合わせは、成績発表日を含めて5日以内とし、必ず学修簿を提示して教務部（西宮・ポートアイランドキャンパスは各事務室）に申し出ること。
- （卒業資格及び在学年数）
- 15 本大学に4年以上在学して所定の単位を修得した者には、卒業の資格が与えられる。ただし、学士入学又は転学部した者については、以後2年以上、再入学した者については、4年から再入学前の在学年数を控除した年数以上、編入学した者については、4年から本大学で在学したとみなした年数を控除した年数以上在学することを要する。
- 16 本大学に在学できる年数は、8年を超えることはできない。ただし、学士入学した者については8年から2年を控除した年数とし、転学部又は再入学した者については、転学部又は再入学前の在学年数を、編入学した者については、本大学で在学したとみなした年数を8年から控除した年数とする。
- （補則）
- 17 「授業科目の履修」第1項の履修登録の承認は、教務部長が与えるものとする。
- 18 「卒業資格及び在学年数」の再入学前の在学年数及び編入学した者の本大学で在学したとみなした年数とは、学部教授会で在学したものと認めた年数とする。
- 19 「学内試験及び成績」第7項の2の「3日以内」及び第14項の「5日以内」には、教務部（西宮・ポートアイランドキャンパスは各事務室）休室日を除く。
- （改廃）
- 20 この規程の改廃は、合同教授会の審議を経て、学長が決定する。
- 附 則
- この取扱いは、平成19年4月1日から施行する。ただし、第11項の「秀（AA）」の評価については、平成19年度入学生から適用する。
- 附 則
- この取扱いは、平成27年4月1日から施行する。

学内試験（定期試験、臨時試験及び追試験）の受験に関する注意事項

平成27年3月26日 合同教授会改正

1 受験資格

履修登録を提出していない科目は受験できない。

2 学生証

- (1) 学生証は、試験中、机上に呈示しておくこと。
- (2) 学生証のない者は、受験できない。(注を参照のこと。)

3 入退場

- (1) 試験場では、監督者の提示に従うこと。
- (2) 15分以上遅刻した者は、入場できない。
- (3) 場内では、一机に2人宛、机の両端に座ること。特に指示があれば、その指示に従うこと。
- (4) 所定の座席調査票の自分の座席欄に学部、学年、学籍番号及び氏名を記入しなければならない。
- (5) 退場は、試験開始後30分経ち、かつ、監督者の指示があった後でなければならない。
- (6) 試験終了時刻の10分前からは、退場できない。
- (7) 入退場には、指定の出入口を使うこと。
- (8) 一旦退場した者は、再入場できない。
- (9) 試験終了後も、答案の回収が完了するまで入場してはならない。

4 所持品

- (1) 机の上に置ける所持品は、特に持込みを認められた教科書等を除いては、学生証、仮学生証のほか鉛筆、ペン、消しゴム、鉛筆削り、時計（計時機能だけのもの）及び眼鏡である。それ以外の所持品は、内容が見えないようにして各自の足下に置くこと。
- (2) 持込みを認められたものには、あらかじめ自分の氏名を記入しておくこと。
- (3) 下敷及び筆箱の使用は、認めない。
- (4) 携帯電話等は試験開始前に電源を切って鞆等にしまいこみ、机上に置かないこと。

5 持込み

持込みについては別に定め、掲示等により周知する。

6 答案

- (1) 試験開始後直ちに答案用紙に学部、学年、学籍番号、氏名等を必ずペンで記入すること。
- (2) 答案の提出方法及び別刷の問題用紙の取扱いについては、監督者の指示に従うこと。
- (3) 答案は、試験場外へ持ち出してはならない。

7 この規程の改廃は、合同教授会の審議を経て、学長が決定する。

[注]

- 1 学生証を忘れた者には、学生部（西宮・ポートアイランドキャンパスは各事務室）で仮学生証を交付する。
- 2 仮学生証の交付は、本人の試験の開始15分前から行い、交付日のみ有効とする。
- 3 仮学生証には、写真登録カードが添付されているから、これは試験終了後直ちに学生部（西宮・ポートアイランドキャンパスは各事務室）へ返却しなければならない。
- 4 写真登録カードを返却していない者又はその提出を怠っている者には、いかなる理由があっても仮学生証を発行しない。

附 則

この注意事項は、平成27年4月1日から施行する。

**学内試験（定期試験、臨時試験及び追試験）
における不正行為に対する処置**

平成27年3月26日 合同教授会改正

- 1 次の事項に該当する場合は、監督者において受験停止（当該試験無効）のうえ退場を命ずる。
 - (1) 監督者の指示に従わないこと。
 - (2) ノート、テキスト、参考書、六法全書、辞書等を試験時間中に貸借すること。
- 2 次の事項に該当する場合は、直ちに退場を命ずるとともに、当該学期の試験時間割にある履修登録授業科目を全科目無効とし、その成績評価は行わない。場合によっては、甲南大学学則による処分をすることがある。
 - (1) 代人として受験すること、又は代人に受験させること。
 - (2) 許可されていないノート、テキスト、参考書、六法全書、辞書等を参照すること。
 - (3) あらかじめ机等に書き込んだり、カンニングペーパー等を用意すること（六法全書、辞書等に書き込む場合も含む。）。
 - (4) 他人の答案をのぞき見て写しとったり、故意に写させたりすること。
 - (5) 試験内容に関して私語をすること。
 - (6) その他、不公正な手段を用いて受験すること。
- 3 前項の不正行為に関する処置は、学生部長と教務部長が学生部及び教務部両委員会の構成員と協議のうえ決定し、学生部長及び教務部長の連名で公示する。なお、特に必要な場合には、学生の属する学部の長及び指導主任の参加を求めて意見を聴くことができる。
- 4 この規程の改廃は、合同教授会の審議を経て、学長が決定する。

附 則

この処置は、平成27年4月1日から施行する。

交通機関の不通、気象警報発表に伴う授業及び試験の取扱い

平成27年3月26日 合同教授会改正

- 1 ストライキによる交通機関の不通、気象警報発表に伴う場合の授業及び試験の取扱いは、次のとおりとする。
 - (1) 午前7時までに、ストライキが解決されたとき、又は特別警報及び暴風警報が解除されたときは、平常どおり授業及び試験を行う。
 - (2) 午前11時までに、ストライキが解決されたとき、又は特別警報及び暴風警報が解除されたときは、3時限目（西宮キャンパスは4時限目）から、試験にあつては4時限目（ポートアイランドキャンパスは3時限目）から行い、午前11時を過ぎても、解決又は解除されないときは、授業及び試験を行わない。
 - (3) 特別警報が授業及び試験時間中に発表されたときは、発表以降授業及び試験を行わない。
 - (4) 暴風警報が授業時間中に発表されたときは、発表以降授業を行わず、試験時間中に発表されたときは、教務部長の判断により措置する。
 - (5) 本項の「ストライキによる交通機関の不通」とは、西日本旅客鉄道株式会社線の京都・西明石間又は阪急電鉄株式会社線において、電車の運行が全面的に停止、又はこれに準ずる場合を基準とする。
- 2 ストライキ以外による交通機関の不通により前項第5号と同様の状況が発生した場合は、教務部長の判断により措置する。
- 3 前2項に準ずる不測の事態の発生により授業及び試験の実施について判断を必要とする場合は、教務部長の判断により措置する。
- 4 ポートアイランドキャンパスにあつては本取扱いによるが、神戸市新交通株式会社のポートライナーの運行状況により、授業及び試験の実施について判断を必要とする場合は、フロンティアサイエンス学部長が教務部長と協議の上、決定する。
- 5 この規程の改廃は、合同教授会の審議を経て、学長が決定する。

[注]

特別警報及び暴風警報は、別表にあるいずれかの市町に発表された場合とする。

附 則

この取扱いは、平成27年4月1日から施行する。

別 表

	地 域	市 町
兵庫県	阪 神	神戸市、尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市、三田市、猪名川町

学籍関係の取扱方

平成27年3月26日 合同教授会改正

(除籍)

- 1 授業料その他の学費を学費納付規程に定められた期限内に納入しないときは、除籍の処分を受け、本大学学生の身分を失う。
- 2 在学期間が8年を超える者は、除籍する。

(復籍)

- 3 授業料その他の学費の納付を怠り、除籍された者が除籍の日付から1年以内に復籍を願い出たときは、学長は、審議の上許可する。

(休学)

- 4 疾病その他やむを得ない理由で6箇月以上就学できない者は、所定の様式により休学願を提出し、学長の許可を得て休学することができる。休学の期間は、引き続き2年以内、通算して4年以内とし、休学の期間は、これを在学期間に算入しない。

(復学)

- 5 休学の理由が消滅し、休学期間中に復学を希望する者は、所定の様式により復学願を提出し、学長の許可を得て復学することができる。

(退学)

- 6 疾病その他やむを得ない理由で退学しようとする者は、所定の様式により退学願（保証人連署）を提出し、学長の許可を得なければならない。

(再入学)

- 7 疾病その他やむを得ない理由で退学した者又は授業料その他の学費の未納による除籍後1年以上経過した者が再入学を願い出た場合は、学長は、審議の上許可することがある。ただし、再入学の時期は、学年又は学期の初めに限る。

(停学)

- 8 甲南大学学則第37条に規定する停学期間が3箇月以上にわたるときは、甲南大学学則第16条及び第29条に規定する在学期間に算入しない。

(留学)

- 9 外国留学規程により外国の大学への留学又は留学の延長を希望する者は、所定の期間内に所定の様式により留学願又は留学延長願を提出し、学長の許可を得て留学し、又は留学を延長することができる。留学期間は、甲南大学学則第16条及び第29条に規定する在学期間に算入する。
- 10 外国留学規程第8条により留学又は留学の延長を辞退した者及び同規程第13条により留学又は留学の延長を取り消された者は、別段の事情がない限り、当初から留学又は留学の延長がなかったものとして取り扱う。
- 11 4年次において外国留学規程に基づいて留学した者の卒業期日は、帰国年度の学期末又は学年末のいずれか早い時期とする。ただし、上記の者のうち、外国語留学規程第3条第3項に該当する場合は、この限りでない。

(改廃)

- 12 この取扱方の改廃は、合同教授会の審議を経て、学長が決定する。

附 則

この取扱方は、平成27年4月1日から施行する。

様式 略

外国留学規程

平成27年3月19日 大学会議改正

第1条 甲南大学学則、甲南大学大学院学則又は甲南大学法科大学院規則（以下「学則等」という。）に基づく外国の大学への留学（以下「留学」という。）に関しては、学則等に定めるもののほか、この規程の定めるところによる。

2 この規程にいう外国の大学とは、外国における正規の高等教育機関で学位授与権を有するもの、又はこれに相当する教育研究機関をいう。

第2条 留学期間は、1年以内とする。

2 前項にかかわらず特別の事情がある場合は、1回かつ1年以内に限り留学の延長を許可することができる。

第3条 留学は、次の学生に許可する。

- (1) 2年次以上の学部学生
- (2) 大学院学生

2 前項第1号の規定にかかわらず、1年次の学部学生であつても、留学先の学期の開始時期により、本大学の後期試験の終了日以降に留学する場合であれば、留学を許可することができる。

3 本大学院に入学を許可されている本大学学部学生については、大学院の入学に支障がないときは、学部と大学院にまたがる留学の許可をすることができる。

4 留学は、所定の留学願により指定の期間内に願い出なければならない。

5 留学延長の場合は、留学期間終了の2箇月前までに留学延長願を提出しなければならない。

第4条 留学の出願者が所属する学部の学部長、法科大学院の院長又は研究科の科長（以下「所属学部長等」という。）は、当該留学を教育上有益と認めるときは、学部教授会、法科大学院教授会又は研究科委員会（以下「教授会等」という。）において審議する。

2 前条第3項に定める場合においては、留学の出願者が所属する学部及び大学院入学後に所属する研究科の教授会等の審議を経て、学長がこれを許可する。

3 所属学部長等は、留学を許可するか否かの審議に際しては、出願者の指導主任又は研究指導教員に諮り、その意見及び協力を求めることができる。

4 所属学部長等は教授会等の審議結果を学長に報告し、学長はこれを許可する。

5 前3項の規定は、留学延長の場合に準用する。

第5条 学生がこの規程により外国の大学において履修することができる授業科目は、原則として学則等に定める外国語科目、当該学部の専門教育科目、法科大学院の授業科目又は当該研究科の授業科目に相当する科目とする。

第6条 留学期間（留学延長の場合は全留学期間。以下同じ。）が終了したときは、1箇月以内に帰学して留学報告書を提出しなければならない。

2 単位の換算を受けようとする学生は、留学報告書に添えて、換算に必要な証明書その他の書類を提出しなければならない。留学期間終了後1箇月以内にこれらの提出のないときは、単位の換算は行わない。

3 病気その他やむを得ない理由があるときは、その旨を証明する書類を添えて、前項の留学報告

書及び単位の換算に必要な書類を郵送、代人による持参等により提出することができる。

4 単位の換算は、学生が外国の大学において修得した授業科目の単位数及び成績を、学則等に基づき、学部学生については60単位を限度とし各学部が定める当該年次に受講できる授業科目の単位数の範囲内において行う。また大学院学生については10単位を限度とする。ただし、法科大学院学生については、30単位を限度とする。

第7条 単位の換算は、所属学部長等が行う。

2 所属学部長等は、単位の換算に際しては留学報告書及び換算に必要な書類を審査するほか、必要と認めるときは外国の大学に照会してこれを行う。

3 所属学部長等が単位の換算を行つたときは、その結果を学長に報告するとともに教務部及び国際交流センターに通知する。

第8条 学生が外国の大学において、留学又は留学の延長を受け入れられないとき、その受入れを取り消されたとき、又は病気その他の理由により留学の辞退を認められたときは、1箇月以内に帰学して留学辞退届を提出しなければならない。ただし、留学辞退届は、病気その他やむを得ない理由があるときは、郵送、代人による持参等により提出することができる。

第9条 留学開始の学年に学則等の規定に従い受講届を提出して承認を得た授業科目で、留学により履修できなくなるものについては、受講届を無効とする。ただし、留学開始年度において、所属学部長等の承認を得た授業科目については、帰学後、継続履修することができる。

2 帰学後、その年度において履修（継続履修を含む。）を希望する授業科目については、指定の期日までに、本人が教務部に届け出て承認を得なければならない。

第10条 この規程に定めるもののほか、外国の大学において履修することができる授業科目の種類、単位数及び履修方法の細目等については、教授会等の定めるところによる。

第11条 留学願、留学延長願、留学辞退届、留学報告書その他留学に関して学生が提出する書類は、国際交流センターに提出し、国際交流センターからこれを所属学部長等に送付する。

2 所属学部長等は、留学又は留学の延長を許可したとき及び留学辞退届その他の書類を受理したときは、必要な事項を関係部局に通知する。

第12条 外国の大学における学費の納付については、当該大学との協定による。

第13条 留学又は留学延長の許可を受けた学生が次の各号のいずれかに該当するときは、所属学部長等は、外国の大学との協議及び当該教授会等の審議を経て、学長は、その許可を取り消すことがある。

- (1) 留学の成果をあげる見込みがなくなったとき。
- (2) 本大学学生の本分に反する行為があつたと認められるとき。
- (3) 前条の学費の納付を怠ったとき。

第14条 この規程の改廃は、大学会議の審議を経て、学長が決定する。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

様式 略

継続履修に関する取扱い

平成16年7月13日 教務部委員会承認

- I. 継続履修をする場合は、次の各号のすべての要件を備えておかなければならない。
- (1) 甲南大学学則第12条の2又は甲南大学大学院学則第9条の2に基づき、留学する者であること。
 - (2) 前期履修後、留学し、次年度前期まで留学期間が連続すること。
 - (3) 通年科目であり、留学開始年度に受講届を提出し、認められていること。
 - (4) 同一授業科目であること。
 - (5) 留学前に、所属学部長又は所属研究科長に継続履修願を提出し、承認を得ていること。
 - (6) 帰学後、指定の期日までに、あらためて所属学部長又は所属研究科長の承認を経て、受講届を提出すること。
- II. 留学前に継続履修が認められた科目であっても、開講科目、カリキュラム、講義内容等の変更により、継続履修できない場合がある。
- III. 2年間連続の科目の継続履修については、上記I-(2)の要件に関わらず、所属学部長又は所属研究科長と教務部長が協議の上、認めることができる。

附 則

この取扱いは、平成17年4月1日から施行する。

外国留学に伴う履修登録の取扱い

平成26年7月20日 教務部委員会改正

甲南大学学則第12条の2に基づき、外国の大学へ留学した者の帰学後の履修登録について次のとおり取り扱う。

- 1 前期科目の登録期限は4月30日とする。
- 2 通年科目の登録期限は6月15日とする。ただし、授業担当者の都合等により履修登録ができない場合がある。
- 3 継続履修を認められている授業科目については、「継続履修に関する取り扱い」による。
- 4 別表に定める授業科目について、留学期間が6月15日を超える場合は次のとおり取扱う。
 - ① 留学前に、授業科目担当者の指導を受け、所属学部長の承認を得ていること
 - ② 帰学後にあらためて所属学部長の承認を得ること
- 5 別表に定めない通年開講の演習科目について、留学期間が6月15日を超える場合は、所属学部長と教務部長が協議の上、4と同様に取り扱うことができる。

別 表

学部	学 科	授業科目
文 学 部	卒業研究・演習Ⅱ	卒業研究・演習Ⅱ
	卒業研究・セミナーⅡ	卒業研究・セミナーⅡ
	卒業研究	卒業研究
	卒業研究・演習Ⅱ	卒業研究・演習Ⅱ
	卒業研究	卒業研究
理 工 学 部	物理学卒業研究	物理学卒業研究
	生物学卒業実験	生物学卒業実験
	機能分子化学卒業研究	機能分子化学卒業研究
経 済 学 部		該当科目なし
法 学 部		該当科目なし
経 営 学 部		演習Ⅱ
知 能 情 報 学 部		卒業研究及び演習
マネジメント創造学部		卒業研究プロジェクト
フロンティアサイエンス学部		ナノバイオ卒業研究

附 則

この取扱いは、平成26年7月20日から施行する。

転学部規程

平成27年3月19日 大学会議改正

第1条 この規程は、甲南大学学則に基づき、転学部について必要な事項を定める。

第2条 転学部の願い出は、1学部1学科に限る。

第3条 転学部を願い出ることができる者は、当該年度を含めて2年以上在学し、所属する学部の卒業に要する単位数のうち、次の各号に定める単位数を修得又は修得する見込みの者とする。

(1) 基礎共通科目又は国際言語文化科目8単位、外国語科目の基礎外国語8単位、保健体育科目の基礎体育学演習2単位、計18単位以上

(2) 専門教育科目32単位以上

2 転学部を願い出た者が、前項に定める単位数を修得できなかった場合は、その願い出は無効とする。

第4条 転学部を許可する時期は、学年の初めとする。

第5条 転学部を願い出る者は、所定の出願書類に学業成績証明書を添え、所属する学部の学部長を経て願い出なければならない。

第6条 転学部の許可は、所属する学部の教授会、転学部を願い出た学部の教授会及び合同教授会の審議を経て、学長がこれを決定する。

第7条 転学部を許可された者が、卒業資格を得るには、転学部以後2年以上在学しなければならない。

第8条 この規程に関する事務は、教務部において行う。

第9条 この規程の改廃は、大学会議の審議を経て、学長が決定する。

附 則

1 この規程は、平成27年4月1日から施行する。

2 広域副専攻科目が開講されている間は、「基礎共通科目」を「基礎共通科目及び広域副専攻科目」と読み替える。

学 士 入 学 取 扱 内 規

平成19年1月18日 部局長会議改正

第1条 本大学を卒業又は卒業見込みの者で、学士入学を希望するものは、1学部に限り願い出ることができる。

第2条 出願期間は、2月19日から28日までとし、選考は、当該学部教授会において行う。

第3条 学士入学を許可された者は、7日以内に当該年度の入学金及び当該年次の学生と同額の学費を納付しなければならない。ただし、卒業と同時に入学する者の入学金は、半額とする。

第4条 入学後、前学部における専門教育科目の単位認定を希望する者は、単位認定願を提出しなければならない。この単位認定については各学部の定めた基準に基づき卒業単位に計算することができる。

第5条 考查料その他出願手続については、当該年度の大学入学生の入学受験料その他出願手続に準ずる。

附 則

この内規は、平成19年1月18日から施行する。

甲南大学フロンティアサイエンス学部卒業見込証明書の発行基準

平成24年7月12日 部局長会議承認

- 1 フロンティアサイエンス学部学生の卒業見込証明書は、次の各号の条件をすべて充足している者について、発行することができる。
 - (1) 前期に発行する場合
 - (ア) 当該年度を含めて、在学期間が4年以上の者
 - (イ) ナノバイオ卒業研究の履修要件を満たしている者
 - (2) 後期に発行する場合
 - (ア) 後期の履修登録単位数を含めて、卒業に必要な単位数を充足している者
- 2 前項各号の条件を充足していない者及び前項第1号の条件をすべて充足しているが前期履修登録終了時において卒業に支障があると認められる者については、卒業見込証明書の発行を停止する。

附 則

この基準は、平成25年4月1日から施行する。

甲南大学学費納付規程

平成27年2月27日 理事会改正

(趣旨)

第1条 甲南大学（以下「本大学」という。）の学費の納付に関しては、甲南大学学則によるほか、この規程の定めるところによる。

2 前項の学費とは、入学金、授業料、施設設備費、設備充実費、教育充実費、研究資料費、実験費、実習費、復籍料、在籍料、科目等履修料、聴講料、登録料、研修料をいう。

(新入学生)

第2条 新入学生の入学時における学費の納付については、別に定める。

(納付期日)

第3条 学費は、所定の金額を前期分及び後期分に分け、毎年前期分は、5月16日から同月31日までの間に、後期分は、10月16日から同月31日までの間に納付するものとする。

(延納)

第4条 特別の事情がある者は、本大学の承認を受けて、前条に規定する各期の納付額を次の期日まで延納することができる。

前期分 7月31日まで

後期分 1月20日まで

2 前項の承認を受けようとする者は、毎学年の初め本大学が指定する期限までに、事情を具して本大学（学生部経由）に願い出なければならない。

(納付期日告示及び学費納付告知書再交付)

第5条 本大学は、前2条に規定する各納付期日開始の1週間前までに掲示をもって学費の納付を告示する。

2 学費納付告知書は、前項の掲示と同時に本大学から各学生の保証人へ郵送する。

3 前項の規定にかかわらず、第1項の掲示後1週間が過ぎても学費納付告知書が保証人に到着しなかった場合は、各自財務部において学費納付告知書の再交付を受けなければならない。これを怠ったことによって学費納付遅滞の責めを免れることはできない。

(除籍)

第6条 第3条及び第4条並びに第8条第2項に規定する期間内に学費を完納しない者は、除籍する。

(復籍)

第7条 前条の規定により除籍された者が除籍の日から1年以内に復籍を願い出て（教務部経由）許可された場合は、7日以内に当該年度の入学金相当額を復籍料として納付しなければならない。ただし、除籍日と同日付の復籍を許可された者（第3条及び第4条並びに第8条第2項学費最終納付期日から1箇月以内に所定の復籍手続をした者）については、復籍料を免除する。

2 復籍を許可された者は、復籍日の属する月から期間計算した学費（100円未満の端数は、切上げ）を納付しなければならない。ただし、施設設備費、設備充実費及び教育充実費については、この限りでない。

3 復籍を許可された者の施設設備費、設備充実費及び教育充実費については、その者の入学年度の

学生が納付すべき額とそれぞれの既納額との差額とし、その納付時期については手続時一括とする。

(休学)

第8条 休学を許可された者は、休学期間中の在籍料を納付しなければならない。ただし、その他の学費については、免除する。

2 前項の在籍料の納付は、第3条の納付期日に係わらず、前期分は7月31日まで、後期分は1月20日までとする。

(停学)

第9条 停学中の者は、学費を全額納付しなければならない。

(復学)

第10条 復学を許可された者は、その者の入学年度の学生と同額の学費を納付しなければならない。

(再入学)

第11条 再入学を許可された者は、7日以内に当該年度の入学金及び当該年次の学生と同額の学費を納付しなければならない。

2 次年度以降の学費については、当該年次の学生と同額とする。

(編入学)

第12条 編入学を許可された者は、所定の期日に当該年度の入学金及び当該年次の学生と同額の学費を納付しなければならない。

2 次年度以降の学費については、当該年次の学生と同額とする。

(学士入学)

第13条 学士入学を許可された者は、7日以内に当該年度の入学金及び当該年次の学生と同額の学費を納付しなければならない。ただし、卒業と同時に学士入学する者の入学金は、半額免除する。

2 次年度以降の学費については、当該年次の学生と同額とする。

(転学部)

第14条 転学部を許可された者は、転学部先の学費を納付しなければならない。

(学期途中の卒業)

第15条 学期の途中に卒業する者は、学期の初めの月から卒業日の属する月までの期間計算した授業料(100円未満の端数は、切上げ)を納付しなければならない。

(科目等履修料)

第16条 科目等履修生として許可された者は、所定の期日までに科目等履修料を納付しなければならない。

(聴講料)

第17条 聴講生として許可された者は、所定の期日までに聴講料を納付しなければならない。

(登録料)

第18条 研究生として許可された者は、所定の期日までに登録料を納付しなければならない。

(規程の改廃)

第19条 この規程の改廃は、大学会議の議を経て、理事会が行う。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

科目等履修生規程

平成27年3月19日 大学会議改正

第1条 この規程は、甲南大学学則に基づき、科目等履修生について必要な事項を定める。

第2条 科目等履修生を願い出ることのできる者は、高等学校卒業者又はこれと同等以上の学力があると認められる者とする。

第3条 科目等履修生を願い出る者は、次の出願書類に科目等履修生検定料を添えて願い出なければならない。

(1) 科目等履修生出願票（写真添付）

(2) 最終学校における卒業証明書（ただし、教育職員免許等の資格取得を希望する者は、成績証明書添付）

(3) 健康診断書

2 本大学院学生が、科目等履修生を願い出る場合は、出願書類に指導教員の承諾書を添えなければならない。

第4条 科目等履修生を許可する時期は、学年又は学期の初めとする。

第5条 科目等履修生の許可は、当該科目を開設する教授会（共通教育センター、教育学習支援センター、国際交流センター及び教職教育センターにあつては運営委員会）の審議に基づき、学長がこれを決定する。

第6条 科目等履修生を許可された者は、所定の期間以内に科目等履修料を納付しなければならない。

2 本大学院学生の科目等履修料は、1学年度16単位を限度とし免除することができる。

3 科目等履修料及び科目等履修生検定料は別に定める。

4 既納の科目等履修料及び科目等履修生検定料は、いかなる事情があつても返付しない。

第7条 科目等履修生が1学年度に履修することができる単位数は、32単位以内とする。

2 実験、実習、演習及び基礎外国語科目の履修は、原則として許可しない。その他の科目についても、許可しないことがある。

第8条 科目等履修生を許可された者には、科目等履修生証を交付する。

2 科目等履修生は、科目等履修生証を携帯しなければならない。

第9条 単位の認定は、試験その他適当な方法による。

2 願い出により単位修得証明書を交付する。

第10条 科目等履修生として、不適当な行為があつたときは、科目等履修生の許可を取り消すことがある。

第11条 他大学との単位互換協定に基づく科目等履修生については、この規程に定める必要事項のほか、当該協定に基づくものとする。

第12条 この規程の改廃は、大学会議の審議を経て、学長が決定する。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

研 究 生 規 程

平成27年3月19日 大学会議改正

第1条 甲南大学学則に規定する研究生については、この規程の定めるところによる。

第2条 研究生は、本大学専任教員の指導（以下「指導教員」という。）のもとに研究を行うものとする。

第3条 研究生は、指導教員及び担当教員の許可を得て研究に関連のある開講科目の授業に出席することができる。ただし、単位は、与えないものとする。

2 在留資格の取得又は更新を要する研究生は、科目等履修生又は聴講生として、研究に関連のある開講科目の授業を、研究期間を通して週に7科目以上受講しなければならない。

第4条 研究生の研究期間は、1年以内（学年度の途中で研究生となった者は、その学年度末まで）とし、引き続き研究を行うことを希望する者は、1年以内に限り更新を出願することができる。ただし、修士の学位を有する者については、1年以内に限らない。

2 更新の出願手続については、第5条第2項第1号、第2号及び第6号の規定を準用する。

3 更新の出願の許可については、第6条第1項の規定を準用する。

第5条 研究生となることを出願する者は、大学の卒業生又はこれと同等以上の学力があると認められる者とする。

2 出願者は、指導教員の所属する学部等の学部長、国際言語文化センター所長又はスポーツ・健康科学教育研究センター所長（以下「学部長等」という。）に、次の書類を提出しなければならない。

- (1) 願書（本大学所定のもの）
- (2) 研究計画書（本大学所定のもの）
- (3) 履歴書（写真添付）
- (4) 最終学校における成績証明書及び卒業証明書
- (5) 健康診断書
- (6) 勤務先を有する者は、その所属長の承諾書

第5条の2 研究生の選考は、指導教員との面接、提出された研究計画書及び最終学校における成績証明書等に基づいて、指導教員の所属する当該教授会の審議により行うものとする。

第6条 研究生の許可は、学年又は学期の初めとし、当該教授会の審議に基づき、学長がこれを決定する。

2 研究生を辞退しようとするときは、辞退願を学部長等を経て、学長に提出しなければならない。

3 辞退願の提出を受けた場合は、学長は当該教授会の審議に基づき、辞退を許可する。

第6条の2 在留資格の取得又は更新を要する研究生は、受講届を提出しなければならない。

第7条 研究生は、許可を受けた日から7日以内に、別に定める登録料を納付しなければならない。ただし、研究期間が半年の者は、半額とする。

2 在留資格の取得又は更新を要する研究生は、前項に定める登録料及び受講する科目の単位数に相当する科目等履修料又は聴講料を納付しなければならない。

3 既納の登録料・科目等履修料及び聴講料については、いかなる事情があっても返付しない。

第8条 研究生には、研究生証を交付する。

2 研究生は、研究生証を携帯しなければならない。

第9条 指導教員は、毎年学年度末（年度途中で研究期間が終了する者においてはその終了時まで）に研究生に研究報告書を作成させ、学部長等に提出するものとする。

第10条 研究生の身分は、別段の定めがない限り、本大学科目等履修生に準ずるものとし、懲戒処分についても同様とする。

第11条 この規程の改廃は、大学会議の審議を経て、学長が決定する。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

甲南大学聴講生規程

平成27年3月19日 大学会議改正

第1条 この規程は、甲南大学学則に基づき、聴講生について必要な事項を定める。

第2条 聴講生を願い出ることができる者は、満18才以上の者とする。

第3条 聴講生を願い出る者は、次の書類に聴講生検定料を添えて願い出なければならない。

(1) 聴講生出願票（写真添付）

(2) 健康診断書

第4条 聴講生を許可する時期は、学年又は学期の初めとする。

第5条 聴講生の許可は、当該科目を開設する学部教授会（共通教育センター、教育学習支援センター、国際交流センター及び教職教育センターにあつては運営委員会）の審議に基づき、学長がこれを決定する。

第6条 聴講生を許可された者は、所定の期間内に聴講料を納付しなければならない。

2 聴講料及び聴講生検定料は別に定める。ただし、本大学の卒業生（旧制甲南高等学校卒業生を含む。）については、聴講生検定料は免除することができる。

3 既納の聴講料及び聴講生検定料は、いかなる事情があつても返付しない。

第7条 聴講生が1学年度に聴講することができる単位数は、20単位以内とする。ただし、在留資格の取得又は更新を要する場合は、この限りではない。

2 実験、実習、演習及び基礎外国語科目の聴講は、原則として許可しない。その他の科目についても、許可しないことがある。

第8条 聴講生を許可された者には、聴講生証を交付する。

2 聴講生は、聴講生証を携帯しなければならない。

第9条 聴講生は、聴講した授業科目の試験を受けることができる。ただし、単位は付与しない。

第10条 聴講生として、不適当な行為があつたときは、聴講生の許可を取り消すことがある。

第11条 この規程の改廃は、大学会議の審議を経て、学長が決定する。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

甲南大学大学院科目等履修生規程

平成27年3月19日 大学会議制定

(趣旨)

第1条 この規程は、甲南大学大学院学則に基づき、甲南大学大学院における大学院科目等履修生(以下「科目等履修生」という。)について必要な事項を定める。

(資格)

第2条 科目等履修生を願い出ることができる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 大学を卒業した者又はこれと同等以上の学力があると認められる者
- (2) 履修しようとする授業科目について、各研究科の定めるところにより、当該授業科目を履修するに十分な学力を有すると認められる者

(入学時期)

第3条 科目等履修生を許可する時期は、学年又は学期の初めとする。

(履修許可科目及び単位数)

第4条 科目等履修生として履修を許可する授業科目は、修士課程及び会計専門職専攻(専門職学位課程)開講科目のうち、教育研究に支障のない範囲で各研究科が定めるものとし、1学年度に履修することができる単位数は、12単位以内とする。

- 2 実験、実習及び演習科目の履修は、原則として許可しない。その他の授業科目についても、許可しないことがある。
- 3 正規の大学院生の履修登録がなかった授業科目については、履修を一旦許可された授業科目でも、許可を取り消すことがある。

(出願手続)

第5条 科目等履修生を願い出る者は、次の出願書類に科目等履修生検定料を添えて、学長に願い出なければならない。

- (1) 科目等履修生出願票(本大学所定用紙)
 - (2) 最終学校における成績証明書及び卒業(卒業見込み)証明書
 - (3) 健康診断書
- 2 本大学学部学生が、科目等履修生を願い出る場合は、前項第2号及び第3号に掲げる出願書類の提出を要しない。

(選考)

第6条 科目等履修生の許可は、当該授業科目を開設する研究科委員会の審議に基づき、学長がこれを決定する。

(納付金)

第7条 科目等履修生を許可された者は、所定の期間内に科目等履修料を納付しなければならない。

- 2 本大学学部学生の科目等履修料は、1学年度10単位を限度とし免除することができる。
- 3 科目等履修生検定料及び科目等履修料は別に定める。
- 4 既納の科目等履修生検定料及び科目等履修料は、いかなる事情があつても返付しない。

(科目等履修生証)

第8条 科目等履修生を許可された者には、科目等履修生証を交付する。

2 科目等履修生は、科目等履修生証を携帯しなければならない。

(単位認定)

第9条 単位の認定は、試験その他適当な方法による。

2 願い出により単位修得証明書を交付する。

(科目等履修生の取り消し)

第10条 科目等履修生として、不適当な行為があつたときは、科目等履修生の許可を取り消すことがある。

(改廃)

第11条 この規程の改廃は、大学会議の審議を経て、学長が決定する。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

VIII. 諸願、届、証明書の事務取扱一覧

諸願、届、証明書の事務取扱一覧

諸願等は、すべてポートアイランドキャンパス事務室に提出してください。なお、岡本キャンパスでの取扱部局は下記のとおりです。

種 別	取扱部局	交付または提出期	備 考
学籍に関するもの			
休 学 願	教 務 部		保証人連署、病気の場合診断書添付
退 学 願	”		” 学生証添付
復 籍 願	”		”
復 学 願	”		”
再 入 学 願	”		”
学 士 入 学 志 願 票	”		1月上旬に掲示
転 学 部 願	”		12月上旬に掲示
外 国 留 学 願	国際交流センター		窓口で配付
在 学 証 明 書	教 務 部	邦文 当日 英文 約3日後	証明書自動発行機にて発行（邦文のみ） 無 料
学業に関するもの			
学 修 簿	教 務 部	当 日	証明書自動発行機にて発行 再発行手数料 100 円
追 試 験 願	”	当該試験日を 含めて3日以内	受験手数料 1 科目 1,000 円
各種資格取得見込証明書	”	(後期から)当日	証明書自動発行機にて発行(司書教諭は除く) 手数料 100 円
各種資格単位修得証明書	”	3 日 後	手数料 100 円
学業成績証明書(卒業・修了見込)	”	邦文 当日 英文 約3日後	証明書自動発行機にて発行（邦文のみ） 手数料 邦文 100 円 英文 200 円
調 査 書	”		手数料 100 円
卒 業 ・ 修 了 証 明 書	”	邦文 当日	手数料 邦文 100 円 英文 200 円
学籍・学業に関する 上記以外の証明書	”	邦文3日後 英文約5日後	手数料 邦文 100 円 英文 200 円
身上異動に関するもの			
改 氏 名 届	学 生 部	その都度	証明書類の添付
住 所 変 更 届	”	”	証明書類の呈示
保証人に関する変更届	”	”	

種 別	取扱部局	交付または 提出期	備 考
学生証等に関するもの			
学 生 証 再 発 行	学 生 部	当 日	手数料 1,000 円
通 学 証 明 書	〃	当 日	毎年 3 月の指定日に前年度通学証明書と交換
仮 学 生 証	〃		無料（定期試験期間中のみ）
学 生 割 引 証 明 書	〃	当 日	証明書自動発行機にて発行
学 生 団 体 旅 行 証 明 書	〃	当 日	合宿・旅行届を先に提出、学生 8 名以上が職員 の引率で旅行する場合に所定用紙に証明印 を押印
健 康 診 断 証 明 書	医 務 室	当 日	定期健康診断を受けた 4 年次生に限り、 受診 1 箇月経過後証明書自動発行機にて 発行（手数料 100 円）
学費に関するもの			
学 費 延 納 願	学 生 部	前期 5 月 後期 10 月	
日 本 学 生 支 援 機 構 ほ か 各 種 奨 学 金 申 込 書	〃	――	募集日程については掲示する
そ の 他			
学 生 教 育 研 究 災 害 傷 害 保 険 申 請 書	医 務 室	その都度	事故発生後すみやかに学生部医務室に報告 正課中・学校行事中（通院 1 日以上） 通学中・施設間移動中（通院 4 日以上） 課外活動中（通院 14 日以上）
父 母 の 会 課 外 活 動 傷 害 見 舞 金 申 請 書	〃	〃	課外活動中（通院 14 日未満）
盗 難 被 害 届	学 生 部	〃	

(注) ・上記諸願・届は取扱部局の所定用紙を使用すること。
・各種証明書の交付には日時を要するので必ず余裕をもって申し込むこと。

各部局事務取扱時間等

キャンパス	窓 口 等	場 所	事務取扱・開館・開室時間
ポートアイランド	ポートアイランド キャンパス事務室	F-1号館 1 階	
岡 本	教 務 部	3 号館 1 階（南側）	〈平 日〉 9 : 00～18 : 00 （講義および定期試験以外の期間は17 : 00まで） 〈土曜日〉 9 : 00～13 : 00 〈夏期授業休止期間〉 10 : 00～16 : 00
	学 生 部	3 号館 1 階（北側）	
	証明書自動発行機	1・3号館 1 階	
	国際交流センター	3 号館 2 階	
	図 書 館	—	〈平 日〉 9 : 00～21 : 00 （講義および定期試験以外の期間は17 : 00まで） 〈土曜日〉 9 : 00～18 : 00 （講義および定期試験以外の期間は13 : 00まで） 〈夏期授業休止期間〉 10 : 00～16 : 00
	サイバーライブラリ	5 号館 3 階	〈平日・土曜日〉 9 : 00～21 : 00 〈日曜日・祝日〉 9 : 00～17 : 00